

14.1-50



\*1200502042606\*

14.1

50



始



160-5

凡例

- 一 本編ハ明治二十八年一月一日現在調査ニ係ル北海道廳府縣高等官及判任官其他重要ノ職ニ依リ班列スルモノハ其職名ヲ官名ト齊シク排置ス
- 一 監獄書記ニシテ看守長ヲ兼ネ教諭ニシテ舍監ヲ兼ヌル者ノ如キハ之ヲ兩出セス然レトモ間々便宜此例ニ據ラザルモノアリ
- 一 位勳爵官等俸給ハ左ノ例ニ據リ掲載ス
- 一 從四位勳三等子爵ハ從四位勳三子、等
- 一 高等官一等ハ一等、五級俸ハ五級判任官ハ單ニ一ト記スト記ス其相當俸給額竝ニ判任官ノ官等ハ官職等級俸給制ニ詳記セルヲ以テ之ヲ省略ス
- 一 參事官年俸千圓下賜ノ者ニ限リ其俸給額ハ之ヲ省略ス
- 一 市參事會ハ東京、京都、大阪ノ三市ニ限リ特ニ之ヲ掲載ス
- 一 町村長ノ給料及報酬額ハ總テ之ヲ掲載セス



凡例



○愛媛縣	二九九
○高知縣	三〇七
○福岡縣	三一三
○大分縣	三二三
○佐賀縣	三三一
○熊本縣	三三七
○宮崎縣	三四五
○鹿兒島縣	三五二
○沖繩縣	三九九

○官制及府縣郡市町村制  
○北海道廳官制

第十一(抄)  
一北海道廳ニ左ノ職員ヲ置ク  
長官  
書記官  
警部長  
警務長  
財務長  
參事官  
技師  
典獄  
監獄  
看守長  
監獄醫  
一長官一人勅任トス  
一書記官二人警部長一人財務長一人參事官二人典獄一人奏任トス  
一警務部長書記官看守長監獄醫ハ判任トス郡區書記ヲ通シテ五百五十七人ヲ以テ定員トス  
前項各官ノ定員ハ內務大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム  
一技師技師ハ道廳ノ須要ニ依リ判任官豫算定額内ニ於テ本年勅令第八十四號技術官俸給令ニ依リ之ヲ置クコトヲ得  
一長官ハ內務大臣ノ指揮監督ニ屬シ各省ノ主

官制及府縣郡市町村制

務ニ就テハ各省大臣ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ執行シ北海道ノ拓地殖民並部内ノ行政事務ヲ總理ス  
一長官ハ屯田兵ノ開墾授産ノ事ヲ監督シ並北海道集治監ヲ管理ス  
一長官ハ北海道ノ事務ニ付其職權若クハ特別ノ委任ニ依リ法律命令ノ範圍内ニ於テ管内一般又ハ其一部ニ關令ヲ發スルコトヲ得  
一長官ハ非常急變ノ場合ニ臨ミ兵力ヲ要シ又ハ警備ノ爲メ兵備ヲ要スルトキハ師團長旅團長及屯田兵司令官ニ移讓シ出兵ヲ請フコトヲ得

一長官ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏任官ノ進退ハ內務大臣ニ具狀シ判任官以下ハ之ヲ專行ス  
一長官ハ法律命令ノ定ムル所ニ從ヒ所部ノ官吏ヲ懲戒ス其奏任官ニ係ルモノハ之ヲ內務大臣ニ具狀シ判任官以下ハ之ヲ專行ス  
一長官ハ廳中及其所轄官廳ノ處務細則ヲ定ムルコトヲ得  
一北海道廳ニ長官官房ヲ置ク  
一長官官房ニ書記若干名ヲ置ク屬ヲ以テ之ニ充ツ  
一官吏ノ進退身分ニ關スル事項  
二、文書ノ往復  
三、官印印ノ管守  
四、記録編輯統計報告ニ關スル事項  
五、外國人ニ關スル事項  
一長官事故アルトキハ上席書記官其職務ヲ代理ス

一、道廳ノ事務ヲ分掌セシムル爲メニ左ノ三部署ヲ置ク  
一、學務衛生社寺ニ關スル事項  
二、兵事戶籍養實賑恤及區町村費ニ關スル事項  
三、農工商務ニ關スル事項  
四、地理山林ニ關スル事項  
五、水陸運輸ニ關スル事項  
六、漁獵ニ關スル事項  
七、河港堤防道路鐵道橋樑排水溝渠ニ關スル事項  
八、官衙ノ建築修繕ニ關スル事項  
九、他部ノ主掌ニ屬セサル事項

警察部  
一、高等警察及行政警察ニ關スル事項  
財務部  
一、金錢物品ノ管理出納ニ關スル事項  
二、豫算決算ニ關スル事項  
三、租稅ノ賦課徵收ニ關スル事項  
監獄署 道廳監獄ニ關スル事項  
一書記官ハ內務部長、警部長、典獄、監獄署長ト爲リ各長官ノ指揮ヲ承ケ部下ノ官吏ヲ監督シ所部ノ事務ヲ掌理ス  
一參事官ハ長官ノ諮詢ニ應ジ意見ヲ具ヘ及審議立案ヲ掌ル  
一參事官ハ長官ノ命ヲ承ケ內務部各課長トナリ又ハ臨時各部課ノ事務ヲ助ケタルコトアルヘシ

官制及府縣都市町村制

一技師ハ長官又ハ部長ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス
一各部署中便宜課ヲ設ケ各課ニ課長一人ヲ置キ...

一郡長ハ每郡若クハ數郡ニ一人、區長ハ每區ニ一人ヲ置ク...

一指揮監督ヲ承ケ分監ノ事務ヲ掌理ス
本監及分監ノ廢設其位置ハ內務大臣之ヲ定ム...

官制及府縣都市町村制

一學校長ハ北海道廳長官ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ...

一本令ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス
一明治二十四年勅令第四百四十二號、同年勅令第四百四十三號...

一知事ハ廳中職務ノ細則ヲ設ケルコトヲ得
一知事事故アルトキハ書記官其ノ職務ヲ代理ス...

官制及府縣都市町村制

第三課

ノ職務ヲ代理セシム  
 知事ハ府縣ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ  
 臨時代理セシムルコトヲ得  
 一知事ハ其ノ職權ニ關スル事務ノ一部ヲ郡長  
 又ハ島司ニ委任スルコトヲ得  
 一各府縣ニ知事官房ヲ置キ左ノ事務ヲ掌ラシ  
 ム  
 一、官吏ノ進退及身分ニ關スル事項  
 二、文書ノ往復ニ關スル事項  
 三、官印府縣印ノ管守ニ關スル事項  
 一各府縣ニ左ノ部署ヲ置ク  
 內務部  
 警察部  
 收稅部  
 監獄署  
 一內務部ニ四課ヲ置キ事務ヲ分掌セシムルコ  
 ト左ノ如シ但知事ハ地方事務ノ情況ニ依リ  
 內務大臣ノ認可ヲ經テ課ヲ増減スルコトヲ  
 得  
 第一課  
 一、議員選舉及府縣會、郡會、市町村會其ノ  
 他公共組合等ノ會議ニ關スル事項  
 二、府縣稅、備荒儲蓄並都市町村ノ經濟ニ  
 關スル事項  
 三、右ノ外他課ノ主務ニ關セサル事項  
 第二課  
 一、土木ニ關スル事項  
 二、官有地及土地收用ニ關スル事項

四

トヲ要スルトキハ知事之ヲ定メ主務大臣ニ  
 報告スヘシ  
 一內務部各課長ハ圖ヲ以テ之ニ充テ但技師又  
 ハ技手ヲ以テ之ニ充テフルコトヲ得  
 一課長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ課務ヲ處理ス  
 一圖ハ內務部各課及知事官房ニ分屬シ上官ノ  
 指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス  
 一警部ハ警察部又ハ警察署若クハ警察分署ニ  
 屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ分掌シ部下ノ  
 巡查ヲ指揮監督ス  
 一收稅部ハ收稅部又ハ收稅署ニ屬シ上官ノ指  
 揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス  
 一監獄署ハ監獄署又ハ監獄支署ニ屬シ上官  
 ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス  
 一看守長ハ監獄署又ハ監獄支署ニ屬シ上官ノ  
 指揮ヲ承ケ監獄ノ戒護ヲ掌リ看守ヲ指揮監  
 督ス  
 一各都市ニ警察署ヲ置ク但都市ノ區域ニ依ラ  
 スシテ警察署ヲ置クノ必要アル場合ニ於テ  
 ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 一知事ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ警察署  
 ノ下ニ警察分署ヲ置クコトヲ得  
 一沖繩縣ノ警察區域ハ舊ニ依ル  
 一警察署長及警察分署長ハ警部ヲ以テ之ニ充  
 ツ  
 一警察署長及警察分署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ  
 其ノ課主務ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監  
 督ス

命令ヲ部内ニ執行シ部内ノ行政事務ヲ掌理  
 シ部下ノ官吏ヲ監督ス  
 一郡長ハ行政事務ニ就テ其ノ部内ノ町村長ヲ  
 指揮監督ス  
 一郡長ハ郡書記ノ任免ヲ知事ニ具申スルコト  
 ヲ得  
 一郡長ハ法律命令ニ依リ若クハ知事ヨリ委任  
 セラレタル事件ニ付郡令ヲ發スルコトヲ得  
 一郡長事故アルトキハ上席郡書記其ノ職務ヲ  
 代理ス  
 一郡長ハ郡ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨  
 時代理セシムルコトヲ得  
 一郡書記ハ判任トス其ノ定員ハ內務大臣ノ認  
 可ヲ經テ知事之ヲ定ム  
 一郡書記ハ郡長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス  
 一勅令ヲ以テ指定スル所ノ島地ニ特ニ島書記  
 ヲ置ク  
 一各島書記ニ左ノ職員ヲ置ク  
 島司  
 島書記  
 一島司ハ一人委任トス知事ノ指揮監督ヲ承ケ  
 法律命令ヲ部内ニ執行シ部内ノ行政事務ヲ  
 掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス  
 一島司ハ法律命令ニ依リ若クハ知事ヨリ委任  
 セラレタル事件ニ付島令ヲ發スルコトヲ  
 得  
 一島司ハ島書記ノ任免ヲ知事ニ具申スルコ  
 トヲ得

一巡查及看守ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ  
 依ル  
 一府縣內須要ノ地ニ收稅署ヲ配置ス其ノ配置  
 及管轄區域ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 一收稅署長ハ收稅圖ヲ以テ之ニ充ツ  
 一收稅署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ課主務ノ  
 事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス  
 一知事ハ內務大臣ノ認可ヲ經テ須要ノ地ニ監  
 獄支署ヲ置クコトヲ得  
 一監獄支署長ハ監獄書記ヲ以テ之ニ充ツ  
 一監獄支署長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ支署主  
 務ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ監督ス  
 一府縣職員ノ外監獄署ヲ置ク判任官ノ待遇ト  
 ス

一東京府ノ警察及監獄ニ關スル事項ハ警視廳  
 官制ニ依ル  
 一郡職員ヲ置クコト左ノ如シ  
 郡長  
 郡書記

一明治十一年第十七號布告郡區町村編制法第  
 五條ニ依リ郡長一人ヲ置キタル地方  
 ニ於テ之ヲ廢止スルコトヲ要スルトキ及同  
 條ニ依リ新ニ郡長一人ヲ置クコトヲ  
 要スルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 一郡制ヲ施行シタル地方ニ於テハ每郡ニ郡長  
 一人ヲ置ク  
 一郡長ハ委任トス知事ノ指揮監督ヲ承ケ法律

官制及府縣都市町村制

五

一赤阪郡及磐梨郡 郡長一人  
 一都宇郡及窪屋郡 郡長一人  
 一川上郡及上房郡 郡長一人  
 一阿賀郡及野多郡 郡長一人  
 一真島郡及大庭郡 郡長一人  
 一西條郡、西北條郡、  
 一東南條郡及東北條郡 郡長一人  
 一勝南郡及勝北郡 郡長一人  
 一吉野郡及英田郡 郡長一人  
 一久米南條郡及  
 一久米北條郡 郡長一人  
 一邑久郡及上道郡 郡長一人

○奈良岡山兩縣管下郡長廢置  
 七年三月二十七日勅令第三十一號  
 七年九月二十七日勅令第五十八號  
 一奈良縣管下式上郡、式下郡、宇陀郡、十市郡ニ  
 郡長一人、鉦三智郡、吉野郡ニ郡長一人ヲ  
 置クコトヲ廢止シ式上郡、式下郡、十市郡ニ  
 郡長一人ヲ置ク

トヲ得  
 一島司ハ行政事務ニ就テ其ノ部内町村ノ吏員  
 ヲ指揮監督ス  
 一島司事故アルトキハ上席島書記其ノ職務  
 ヲ代理ス  
 一島司ハ島書記ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ  
 臨時代理セシムルコトヲ得  
 一島書記ハ判任トス其ノ定員ハ其ノ府縣判  
 任官ノ定員内ニ於テ知事之ヲ定ム  
 一島書記ハ島司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス  
 一島書記ハ島司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス



官制及府縣郡市町村制

Table of administrative divisions for various prefectures including 島 (Shima), 石 (Ishikawa), 青 (Aomori), 森 (Morioka), 手 (Teikoku), 櫻 (Sakura), 花 (Hanayama), 水 (Mizushima), 一 (Ichikawa), 遠 (Toyouke), 盛 (Seiwa), 中 (Nakanishi), 富 (Tomiyama), 平 (Hirayama), 三 (Sanjima), 石 (Ishikawa), 川 (Kawajima), 春 (Haruyama), 田 (Tanaka), 多 (Tadokoro), 前 (Maekawa), 橋 (Hashizume), 本 (Honjima), 郡 (Guns), 市 (Shi), 町 (Chou), 村 (Mura).

官制及府縣郡市町村制

Table of administrative divisions for various prefectures including 香 (Kagawa), 川 (Kawajima), 愛 (Aichi), 高 (Takayama), 知 (Chikuzen), 大 (Oki), 島 (Shima), 石 (Ishikawa), 富 (Tomiyama), 山 (Yamanashi), 青 (Aomori), 森 (Morioka), 手 (Teikoku), 櫻 (Sakura), 花 (Hanayama), 水 (Mizushima), 一 (Ichikawa), 遠 (Toyouke), 盛 (Seiwa), 中 (Nakanishi), 富 (Tomiyama), 平 (Hirayama), 三 (Sanjima), 石 (Ishikawa), 川 (Kawajima), 春 (Haruyama), 田 (Tanaka), 多 (Tadokoro), 前 (Maekawa), 橋 (Hashizume), 本 (Honjima), 郡 (Guns), 市 (Shi), 町 (Chou), 村 (Mura).

○師範學校令 明治十九年四月十日(抄)
一 師範學校ハ教員トナルヘキモノヲ養成スル所トス
一 生徒ヲシテ順良信愛威重ノ氣質ヲ備ヘシムルコトニ注目スヘキモノトス
一 師範學校ヲ分チテ高等尋常ノ二等トス高等師範學校ハ文部大臣ノ管理ニ屬ス
一 高等師範學校ハ東京ニ一箇所尋常師範學校

○尋常師範學校官制 明治二十四年七月十七日(抄)
一 尋常師範學校ニ左ノ職員ヲ置ク
一 尋常師範學校長ハ其府縣ノ學務課長ヲ兼ヌルコトヲ得
一 尋常師範學校長及教員ノ任期ハ五箇年トス滿期ノ後猶ホ繼續スルコトアルヘシ

一 教諭助教諭會監訓導及書記ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ク但教諭ノ中一人ハ特ニ兼任ス



官制及府縣部市町村制

文官ト同一ノ待遇ヲ受ケシムルコトアルヘシ

- 一 學校長ハ府縣知事ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ
一 所屬職員ヲ統督ス
一 助教諭ハ生徒ノ教育ヲ掌ル
一 助教諭ハ教諭ノ職掌ヲ助ク
一 舍監ハ教諭助教諭ノ中ヨリ之ニ兼任ス
一 舍監ハ學校長ノ命ヲ承ケ寄宿舎ニ關スル事ヲ掌ル
一 訓導ハ附屬小學校兒童ノ教育ヲ掌ル
一 書記ハ學校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス
一 教諭助教諭會監訓導及書記ノ人員及俸額ハ文部大臣之ヲ定ム
一 府縣知事ハ教諭ノ中ヨリ附屬小學校主事ヲ命シ校務ヲ掌ラシム

○中學校令

- 第一條 中學校ハ實業ニ就カント欲シ又ハ高等ノ學校ニ入ラント欲スルモノニ須要ナル教育ヲ爲ス所トス
第二條 中學校ヲ分チテ高等尋常ノ二等トス高等中學校ハ文部大臣ノ管理ニ屬ス
第六條 尋常中學校ハ各府縣ニ於テ一校ヲ設置スヘキモノトス但土地ノ情況ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ數校ヲ設置シ又ハ本文ノ一校ヲ設置セサルコトヲ得
第九條 郡市町村ニ於テハ土地ノ情況ニ依リ

○公立中學校高等女學校專門學校技藝學校職員名稱待遇及任免

- 一 公立中學校高等女學校專門學校技藝學校職員ノ名稱左ノ如シ
一 校長
一 助教諭
一 舍監
一 寄宿舎ノ設アル學校ニ限ル
第九條中ニ掲タル郡ハ郡制ヲ施行シタルモノニ限ル

○府縣農事試驗場規程

- 一 學校長教諭助教諭會監書記ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケシムルコトアルヘシ
一 學校長及教諭一名ハ特ニ委任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケシムルコトアルヘシ
一 委任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケタル職員ノ任免ハ文部大臣之ヲ奏請宣行シ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受ケタル者ハ府縣知事之ヲ專行ス
一 此規程ニ府縣農事試驗場ト稱スルハ府縣稅(又ハ地方稅)若クハ之カ補助ヲ以テ設立スル府縣農事試驗場ヲ謂フ
一 府縣農事試驗場ハ總テ何府縣農事試驗場ト稱スヘシ但農事以外ノ事項ニ係ル試驗ヲ併行スルトキハ便宜之カ名稱ヲ定ムルコトヲ得
一 府縣農事試驗場ハ農事試驗場本支場ノ試驗成績ヲ參照シ其府縣內農產ノ增殖改良ニ係ル事項ニ就キ試驗ヲ舉行スヘシ
一 府縣農事試驗場ハ有益ナル試驗成績ヲ普及セシムルカ爲メ左ノ事業ヲ行フコトヲ得
一 講話
二 種苗ノ配付
三 報告ノ刊行
四 模範圃ノ設置
其他必要ト認ムル事業
一 府縣農事試驗場ハ試驗用地ニ充フル爲メ相當ノ田畑ヲ備フヘシ
一 府縣農事試驗場ハ必要ナル場合ニ於テハ分場ヲ設クルコトヲ得

- 一 地方長官ニ於テ府縣農事試驗場ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ各種ノ豫定事業、各種ノ豫定設備及經費概算額ヲ具シ豫メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
一 地方長官ハ前條ノ認可ヲ經テ農事試驗場ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ速ニ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ
但第二項ハ毎年三月三十一日マテニ其他ノ各項ハ變更ノ都度本條ノ手續ヲナスヘシ

- 一、名稱及位置
二、經費ノ種別及其豫算金額
三、試驗地ノ種別及其面積
四、建物ノ種別及其坪數
五、職員ノ名簿

一 府縣農事試驗場ハ農事試驗場若クハ農事試驗場支場ト稱シ上毎年施行スヘキ試驗ノ項目及其方法ヲ定ムヘシ
一 府縣農事試驗場ハ毎年試驗成績及第四條ニ掲ケタル事業ノ功程ヲ農事試驗場若クハ農事試驗場支場ニ報告スヘシ
但重要ト認ムル講話ノ要領ハ其時々報告スヘシ

○農事講習所規程

- 一 此規程ニ農事講習所ト稱スルハ地方勸業費若クハ之カ補助ヲ以テ設立スル普通農事講習所ヲ謂フ
一 農事講習所ハ地方產業ノ改良進步ヲ圖ルルヲ目的トスヘシ
一 農事講習所ノ教科目ハ農事ニ係ルモノヲ主トシ地方ノ情況ニ應ジ補助教科トシテ數學、度量、氣象、物理、化學、博物、地理、圖畫ノ類ヲ加フルコトヲ得
一 農事講習所ハ實習ヲ主トシ授業時間ノ過半ヲ之ニ充ツヘシ
一 農事講習所ノ修業年限ハ二箇年以内トス
一 地方長官ニ於テ農事講習所ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ講習所規程各種ノ豫定設備及經費概算額ヲ具シ豫メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
一 地方長官ハ前條ノ認可ヲ經テ農事講習所ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ速ニ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ但第二項ハ毎年三月三十一日マテニ其他ノ各項ハ變更ノ都度本條ノ手續ヲ爲スヘシ

- 一、名稱及位置
二、經費ノ種別及其豫算金額
三、實習設備ノ種別及其數又ハ其面積
四、建物ノ種別及其坪數
五、職員ノ名簿及教師ノ擔任教科目

- 一 地方長官ハ前條ノ認可ヲ經テ農事講習所ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ速ニ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ但第二項ハ毎年三月三十一日マテニ其他ノ各項ハ變更ノ都度本條ノ手續ヲ爲スヘシ

一 地方長官ハ前條ノ認可ヲ經テ農事講習所ヲ設立シ若クハ補助セントスルトキハ速ニ左ノ事項ヲ農商務大臣ニ届出ヘシ但第二項ハ毎年三月三十一日マテニ其他ノ各項ハ變更ノ都度本條ノ手續ヲ爲スヘシ

○農事講習所設置心得

- 一 農事講習所ハ地方慣行ノ技藝ノ外學理ノ應用ヲ授ケ地方農事ノ改良進步ヲ圖ルルヲ以テ主眼トナスヘキモノナルカ故ニ成ルヘク當業者及其子弟ヲ養成スルコトヲ勉ムヘシ
一 農事講習所ハ校舍ヲ常設シテ講習ヲ爲スト適宜ノ季節場所ヲ撰シテ講習ヲ爲ストハ一ニ地方ノ便宜ニ任ズ
一 農事講習所ニ於ケル授業ハ勉メテ平易ナル講話體ヲ用ヒ教科目ハ濫ニ其數ヲ増サス補助教科ハ成ルヘク農事專門教科ヲ講スルニ方リ之ヲ引據教授スルヲ可トス然レトモ地方ノ情況ニヨリ特ニ補助教科目ヲ設置スルトキハ其講習ハ可成農事ニ關係アル事項以外ニ涉ラサルヲ要ス

○農事及水産巡迴教師設置心得

- 一 農事及水産巡迴教師ノ業務ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ定ムヘシ
一、巡迴講話實驗指導及質問應答ニ關スルコト

官制及府縣部市町村制

官制及府縣郡市町村制 (府縣制)

二、公費若クハ公費ノ補助ヲ以テ設立セ  
ル試験事業ニ關スルコト  
三、府縣内ノ共進會若クハ品評會ノ出品  
審査ニ關スルコト  
其他必要ト認ムル事項

一、農事及水産巡迴教師ヲ設置シタルトキハ速  
ニ其履歴及擔任事業ヲ届出ヘシ  
一、農事及水産巡迴教師ニ關スル經費ノ種別及  
豫算金額ハ毎年三月三十一日マテニ其業務  
ノ功程ハ前年度分取纏メ毎年四月三十日マ  
テニ届出ヘシ  
一、地方長官ニ於テ重要ト認ムル農事及水産巡  
迴教師講話ノ要領ハ其時々報告スヘシ

○府縣農事試験場農事講  
習所及水産講習所職員  
並農事巡迴教師及水産  
巡迴教師ノ名稱待遇及  
任免

一、府縣農事試験場長ハ農科大學農學科、農藝  
化學科、札幌農學校農學科、舊駒場農學校農  
學科、農藝化學科、舊東京農林學校農學部ヲ  
卒業シタル者若クハ之ト相當スル學力技能  
ヲ有スル者ヨリ任用スヘシ  
一、府縣知事ニ於テ前條ノ卒業者ニアラザル者  
ヲ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受タル府縣農事  
試験場長ニ任用セントスルトキハ農商務大  
臣ノ認可ヲ受クヘシ

○府縣制

七明治二十三年五月十  
七日法律第三十五號

第一章 總則

第一條 府縣ノ廢置分合及府縣境界ノ變更ハ  
法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣境界ニ當ル郡市町村ノ境界ヲ變更スル  
トキハ府縣境界モ亦自ラ變更スルモノト  
ス

本條ノ處分ニ付其財產處分ヲ要スルトキハ  
內務大臣之ヲ定ム但特ニ法律ノ規定アルモ  
ノハ此限ニ在ラス

第二章 府縣會

第二條 府縣會ハ府縣内郡市ニ於テ選舉シタ  
ル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

郡市ニ於テ選舉スヘキ府縣會議員ノ定數ハ  
勅令ヲ以テ之ヲ定ム但各郡市ヲシテ少クハ  
モ一人ノ議員ヲ選舉セシムヘシ

第三條 府縣會議員ノ選舉ハ市ニ在テハ市會  
及市參事會同シ市長ヲ會長トシ郡ニ在テ  
ハ郡會及郡參事會同シ郡長ヲ會長トシ左  
ノ規定ニ依リ之ヲ行フヘシ但會長ハ投票ニ  
加ハラサルモノトス

一、投票ハ選舉人自ラ會長ノ面前ニ於テ之  
ヲ投票函ニ投入ス  
投票ハ匿名トス

二、左ノ投票ハ之ヲ無効トス  
一、記載セル人名ノ讀ミ難キモノ  
二、被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三、被選舉人ノ姓名ヲ記載スルモノ  
四、被選人ノ姓名ノ外他ノ文字ヲ記入スル  
モノ但爵位職名身分住所又ハ敬稱ハ  
此限ニ在ラス

本項一ヨリ三ニ至ルノ場合ニ於テ票中他  
ニ列記ノ被選人ニ付テハ仍其效アリトス  
三、有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選  
トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取  
リ年長者同キトキハ會長自ラ抽籤シテ  
其當選ヲ定ム

第四條 府縣内市町村ノ公民中選舉權ヲ有シ  
其府縣ニ於テ一年以來直接國稅十圓以上ヲ  
納ムル者ハ府縣會ノ被選舉權ヲ有ス  
住居ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失ヒタ  
ル者其住居同府縣内ニ在リ且他ノ要件ヲ失  
ハサルトキハ仍府縣會ノ被選舉權ヲ有ス  
其府縣會ハ府縣ノ官吏及有給吏員神官諸  
宗ノ僧侶又ハ教師ハ府縣會議員タルコトヲ  
得ス

第五條 府縣會議員ハ名譽職トス其任期ハ四  
年トシ毎二年其半數ヲ改選ス若其員數二分  
シ難キトキハ初會ニ於テ多數ノ一半ヲ解任  
セシム初會ニ於テ解任スヘキ者ハ府縣會議  
長府縣會ニ於テ自ラ抽籤シテ之ヲ定ム

解任ノ議員ハ再選セラル、コトヲ得  
第六條 議員中關員アルトキハ選クトモ六箇  
月以内ニ補選選舉ヲ行フヘシ  
補選議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモ  
ノトス

第七條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示  
ニ依リ之ヲ行フヘシ其告示ハ選クトモ選舉  
ノ日ヨリ十四日前ニ之ヲ發スヘシ  
第八條 選舉ヲ終リ當選人ノ定マリタルトキ  
ハ郡市長ハ直ニ當選人ニ通知シ及府縣知  
事ニ報告スヘシ

當選人其當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日  
以内ニ其當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ  
届出ヘシ  
一人ニシテ數箇所ノ選舉ニ當リタルトキハ  
同期限内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ府  
縣知事ニ届出ヘシ  
前二項ノ届出ヲ其期限内ニ爲サ、ルトキハ  
總テ選舉ヲ辭スル者ト視做スヘシ

第九條 當選人其當選ヲ辭シ又ハ承諾ノ届出  
ヲ爲サ、ルトキハ府縣知事ハ其郡市ヲシテ  
十日以内ニ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ  
第十條 當選人確定シタルトキハ府縣知事ハ  
直ニ當選證書ヲ付與シ及管内ニ告示スヘ  
シ  
第十一條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セ  
ントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ  
之ヲ府縣知事ニ申立ルコトヲ得

第十二條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有  
セザリシコト發覺スルトキハ其當選ヲ無効  
トス

當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員  
ノ職ヲ失フモノトス  
第十三條 府縣會ニ於テ其議員中議員ノ資格  
ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其  
議決ヲ以テ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ  
第十四條 府縣會議員被選舉權ノ有無及選舉ノ  
效力ハ府縣參事會之ヲ裁決ス

府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判  
所ニ出訴スルコトヲ得  
第十五條 府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ  
一、府縣ノ歲入出豫算ヲ定ムル事  
二、決算報告ヲ認定スル事  
三、府縣稅ノ賦課徵收方法ヲ定ムル事  
四、府縣有不動産ノ賣買交換讓渡讓受並ニ  
買入賣入ノ事  
五、歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外  
新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ  
爲ス事  
六、府縣有財產ノ管理及發造物ノ維持方法  
ヲ定ムル事

其他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ關スル  
事項ヲ議決ス  
第十六條 府縣會ハ其權限ニ關スル事件ヲ府  
縣參事會ニ委任スルコトヲ得  
第十七條 府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意

官制及府縣郡市町村制 (府縣制)

見ヲ陳述スヘシ  
 府縣會ハ其府縣ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付府縣知事又ハ内務大臣ニ建議スルコトヲ得  
 第十八條 府縣會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受テヘカラサルモノトス  
 第十九條 府縣會ハ改選後ノ初會ニ於テ議長及副議長各一名ヲ互選スヘシ其任期ハ議員ノ任期ニ從フ  
 議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時議長ヲ互選スヘシ  
 第二十條 府縣知事若ハ特ニ知事ノ委任ヲ受ケタル府縣ノ官吏若ハ吏員ハ府縣會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但決議ニ加ハルコトヲ得ス  
 前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ  
 第二十一條 府縣會ハ毎年一回秋季ニ於テ通常會ヲ開ク通常會ノ會期ハ三十日以内トス其他必要アルトキハ其事件ニ限リ七日以内ヲ會期トシテ臨時會ヲ開クコトヲ得  
 府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス其招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告示スヘシ但急務ヲ要スル場合ハ此限ニ在ラス  
 府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス  
 第二十二條 府縣會ハ議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 府縣會ノ議決ハ過半數ニ依ル可  
 否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル  
 第二十四條 議員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ府縣會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス  
 第二十五條 府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ第三條ノ規定ニ依ルヘシ  
 第二十六條 府縣會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニ在ラス  
 一、府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ  
 二、議長又ハ議員五名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ  
 議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井スシテ其可否ヲ決スヘシ  
 第二十七條 東京府京都府大阪府府會ノ職權ニ關スル事件ニシテ東京府京都府大阪府市ニ關スルモノトシテ專ラ東京府京都府大阪府市ノ部分ニ關スルモノト分別スルコトヲ要スルモノアルトキハ府會ノ議決ニ依リ之ヲ分別スルコトヲ得  
 前項ノ分別ニ依リ專ラ東京府京都府大阪府市ニ關スルモノハ其部議員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其他ノ部分ニ關スルモノハ市部議員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス此場合ニ於テハ都部議員市部議員ニ於テ各臨時議長ヲ互選スヘシ  
 此法律中東京府京都府大阪府府會ノ市部議員トアルハ東京府京都府大阪府市會ニ於テ選舉シタル議員ヲ云ヒ都部議員トアルハ東京府京都府大阪府市ヲ除キ其他ノ部分ニ於テ選舉シタル議員ヲ云フ  
 市部會部會ヲ置キタル縣ニ於テ府縣會ノ職權ニ關スル事件ニシテ專ラ市ニ關スルモノトシテ專ラ其他ノ部分ニ關スルモノト分別スルコトヲ要スルモノアルトキハ府縣會ノ議決ニ依リ之ヲ分別スルコトヲ得但分別シタル縣ニ於テハ此法律中特ニ東京府京都府大阪府ニ關シ定メタル各條項ハ之ヲ適用ス  
 第二十八條 議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ其日ノ會議ヲ開閉シ並ニ延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス  
 第二十九條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井及他人ノ身上ニ汚リ言論スルコトヲ得ス  
 第三十條 會議中此法律若ハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシムヘシ若強抗ニ汚リ者アルトキハ警察官ニ命シテ之ヲ退去セシムルコトヲ得  
 議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ルコトヲ得

第三十一條 議員中議場ノ秩序ヲ紊ルコトニ同以上ニ及フ者アルトキハ議長又ハ議員ノ發議ニ依リ議會ノ議決ヲ以テ七日以内其出席ヲ停止スルコトヲ得  
 第三十二條 會議ノ傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧嘩ニ涉リ其他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若命ニ從ハサルトキハ警察官ニ命シテ之ヲ退場セシムルコトヲ得  
 傍聽人騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得  
 第三十三條 府縣知事若ハ特ニ其委任ヲ受ケタル官吏若ハ吏員及議員ハ議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得  
 第三十四條 第三十條第三十二條ニ依リ議長ノ命ニ應ジシムル爲府縣知事若ハ吏員ハ毎會期警察官ニ議場掛事務ヲ命スヘシ  
 第三十五條 府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ懸屬シテ庶務ヲ掌理セシム  
 書記ハ議長之ヲ選任ス  
 第三十六條 府縣會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シ議決及選舉ノ額未定ニ出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ議事録ハ議長及議員二名以上之ニ署名スヘシ其議員ハ會議ノ前議會ニ於テ豫メ之ヲ定メ議事録中ニ其氏名ヲ記載シ置タヘシ  
 第三十七條 府縣會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ内務大臣ノ認可ヲ受テ之ヲ施行スヘシ

第三章 府縣參事會吏員及委員  
 第三十八條 府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣知事高等官二名及名譽參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス  
 府ノ名譽參事會員ハ八名トス都部議員ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選ス市部議員ニ於テ其議員中ヨリ四名ヲ互選スヘシ  
 縣ノ名譽參事會員ハ四名トス縣會ニ於テ其議員中ヨリ之ヲ互選スヘシ  
 第三十九條 府縣參事會員タル高等官ハ府縣廳ニ奉職ノ高等官中ヨリ内務大臣之ヲ命ス  
 第四十條 府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ高等官會員之ヲ代理ス  
 第四十一條 府縣會ハ每通常會ニ於テ名譽參事會員ノ補充員府ハ八名縣ハ四名ヲ互選シ其名譽參事會員ノ間員アルトキハ府縣知事ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在籍スルモノトス  
 第四十二條 名譽參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖後任者就職ノ日マテ在籍スルモノトス  
 名譽參事會員ハ補充員ヲ以テ其間員ヲ補充シ仍間員ヲ生シタル場合ニ於テハ二箇月

以內ニ臨時其選舉ヲ行フヘシ  
 第四十三條 府縣參事會ノ職權權限左ノ如シ  
 一、府縣會ノ權限ニ關スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事  
 二、府縣會ノ權限ニ關スル事件ニシテ臨時急務ヲ要シ府縣知事ニ於テ府縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ニ代テ議決ヲ爲ス事  
 三、府縣會ノ定メタル方法ノ範圍內ニ於テ府縣有財產ノ管理又ハ營造物ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事  
 四、府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事  
 五、府縣知事及其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フル事  
 六、府縣知事ヨリ發スル府縣會議案ニ付府縣知事ニ意見ヲ述ヘ及會議ニ報告スル事  
 七、臨時必要アルトキ府縣ノ出納ヲ檢査スル事  
 其他法律命令ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ關スル事務ヲ處理ス  
 第四十四條 府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集會員半數以上ノ請求アルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ヲ招集スヘシ  
 第四十五條 府縣參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サ

第四十六條 府縣參事會ハ議長又ハ其代理者及名譽職員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得但第四十三條第二ノ議決ヲ爲ストキハ高等官會員ハ其議決ニ加ハラサルモノトス

府縣參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事録ニ登記シ議長及名譽職員參事會員二名以上之ニ署名スヘシ

第四十七條 府縣參事會員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付府縣參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項規定ノ爲出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其數ヲ得サルトキハ府縣會議員ニシテ該事件ニ關係ナキ者ノ内ヨリ臨時ニ指名シ名譽職員參事會員ノ不足ヲ補充シテ第三十八條ノ定數ニ滿タシムヘシ

第四十八條 市制町村制ノ規定ニ依リ府縣參事會ノ權限ニ關スル事件ニシテ二府縣以上ノ部市町村ニ交渉スルモノアルトキハ其府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其事件ヲ管轄スヘキ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第四十九條 東京府京都府大阪府參事會ノ職權ニ關スル事件ニシテ專ラ東京市京都市大

阪市ニ關スルモノハ其部名譽職員參事會員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其東京市京都市大阪市外ノ市町村若ハ郡ニ關スルモノハ市部名譽職員參事會員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

此法律中東京府京都府大阪府府會ノ市部名譽職員參事會員トアルハ市部議員ニ於テ選舉シタル名譽職員參事會員ヲ云フ

第五十條 府縣知事ハ府縣會及府縣參事會ノ議決ヲ施行シ及府縣有財產及營造物ヲ管理シ且ニ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス

府縣ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ知事ノ外名譽職員參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ文書中府縣會又ハ參事會ノ職權ニ關スル事件ニシテ其議決ヲ經タルモノハ總テ其旨ヲ記入スヘシ

第五十一條 府縣會ニ於テ名譽職員參事會員ヲ選舉セス又ハ參事會成立セシ又ハ召集ニ應セサルトキハ參事會成立シ又ハ召集ニ應スル迄府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ關スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

非常事變ニ際シ府縣參事會ヲ召集スルノ暇ナク又ハ名譽職員參事會員ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ權限ニ關スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ府縣會會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第五十二條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ府縣ノ費用ヲ以テ府縣有財產又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要ナル有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得但府縣吏員ハ府縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス

府縣吏員ノ給料手當退職料等ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル其身元保證金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十三條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ府縣事務ノ一部ヲ調査セシメ又ハ府縣有財產及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ得其選舉又ハ選任ノ方法及任期ハ府縣會ノ議決スル所ニ依ル

委員ハ名譽職員トス

第四章 府縣ノ會計

第五十四條 府縣有財產及營造物管理ノ費用府縣會府縣參事會及委員ノ費用府縣吏員ノ給料退職料其他諸給與及從來法律命令若ハ慣例ニ依リ且ニ將來法律命令ニ依リ府縣ノ負擔ト定ムル事件ノ費用ハ府縣ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第五十五條 名譽職員參事會員及委員ニハ旅費滞在手當及出務日當ヲ給スルコトヲ得府縣

會議員ニハ旅費及滞在手當ニ限リ之ヲ給スルコトヲ得但滞在手當出務日當ヲ併セ一日一圓五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十六條 府縣ノ支出ハ府縣其他府縣ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第五十七條 府縣稅目及其賦課徵收方法ニ關スル規定ハ此法律ニ依リ變更シタルモノヲ除ク外從前地方稅ニ關スル規定ニ依ル

第五十八條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ニ依リ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケ其府縣ノ全部若ハ市制施行ノ地ニ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得但家屋稅賦課ノ地ニ於テハ戶數割ヲ賦課スルコトヲ得ス

第五十九條 府縣内ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ店舗ヲ定メテ營業ヲ爲ス者ハ其土地家屋營業ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

府縣内ニ一月ヲ構ヘ三箇月以上ニ及フ者ハ其戶數ニ對シテ府縣稅ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ一月ヲ構ヘタル初ニ週リ徵收スヘシ

第六十條 府縣稅ノ賦課ニ付テハ納稅者其府縣外ニ於テ店舗ニ定メタル營業ノ收入ヲ其標準ニ算入スルコトヲ得ス

第六十一條 府縣會ハ各市町村内ニ於テ徵收スル府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ヲ關係市

町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項市町村會ノ議決ハ法律命令又ハ府縣會ノ議決ニ抵觸スルコトヲ得ス

市町村會ニ於テ府縣會ノ指定シタル期限内ニ其議決ヲ爲サルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

第六十二條 營業ノ狀況又ハ收入ノ標準トシテ賦課スル府縣稅ニ付テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ賦課額調査ノ爲其府縣内郡市ニ調査委員ヲ置クコトヲ得

第六十三條 府縣稅ノ免除ハ市町村稅免除ノ規定ニ依ル

第六十四條 府縣會ハ府縣内郡市町村ノ土木工事業又ハ府縣内ノ教育衛生勸業及慈善ノ事業若ハ營造物ニ對シ補助金ヲ與フルコトヲ得

第六十五條 府縣會ハ家屋稅又ハ戶數割ノ全部又ハ一部ノ代納トシテ府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニ對シ夫役又ハ現品ヲ出スヲ許スコトヲ得

第六十六條 府縣稅ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタル月ノ終迄月割ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但日割ヲ以テ徵收スルモノハ此限ニ在ラス

納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ當該官廳ニ届出ヘシ其届出ヲ爲シタル月ノ終迄ハ從前ノ稅ヲ徵收スヘシ

物件ヲ目的トシ納期ヲ定メテ一定ノ額ヲ賦課スル府縣稅ハ其納期ニ於テ納稅義務ヲ負フ者其額ヲ納ムヘシ

府縣稅ノ前納ニ係ルモノハ其義務ノ消滅シ又ハ他人ニ移轉シタル場合ト雖之ヲ還付セス但其義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其前納期限ノ終迄納稅セサルモノトス

第六十七條 府縣稅ハ法律命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設タルモノヲ除ク外各市町村長ニ於テ市町村稅徵收ノ手續ニ依リ之ヲ徵收スヘシ

第六十八條 府縣稅ノ賦課ニ對シ錯誤アルコトヲ發見シタル者ハ徵稅傳令書ノ交付後三箇月以内ニ之ヲ其傳令書ヲ發シタル廳ニ申立ルコトヲ得但申立ノ爲其納稅ヲ拒ムコトヲ得ス

第六十九條 前條ノ申立ヲ爲シタル後二十一日以内ニ其更正ヲ得サルトキ又ハ其更正ヲ得ルモ之ニ不服ナルトキハ十四日以内ニ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ其裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但市ニ在テハ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十條 府縣稅ノ免稅若ハ納稅延期ハ特

別ノ事情アルモノニ限リ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得ル  
府縣稅ノ滯納處分ハ國稅滯納處分法ニ依ル

第七十一條 東京府京都府大阪府ニ在テハ府ノ支出ニ充テヘキ府稅ヲ市部及郡部ニ分賦ス其分賦ノ割合ハ府會ニ於テ之ヲ議決シ內務大臣ノ認可ヲ受ケテ施行スヘシ  
前項市部ノ分賦額ハ市ニ於テ之ヲ市ノ豫算ニ編入シ市稅トシテ徵收シ其總額ヲ府金庫ニ納ムヘシ郡部ノ分賦額ハ此法律ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス但市部議員ハ其徵收ニ關スル議事ニ參與シ及議決ニ加ハラサルモノトス此場合ニ於テ若議長副議長市部議員ナルトキハ郡部議員ニ於テ臨時議長ヲ互選スヘシ

第七十二條 市制施行ノ府縣ニ在テハ郡廳會建修繕費郡吏員給料旅費及運費ハ市ヲ除キ其他ノ部分ノミヲシテ其負擔ニ任セシムヘシ  
前項ノ府縣ニ在テハ其府縣ノ支出費目中市ト其他ノ部分ト利害ノ厚薄ヲ異ニシ均一ノ負擔ニ任セシムルコトヲ得サルモノアルトキハ其費目ニ限リ其一方ノ負擔ヲ增加スルコトヲ得但負擔ノ割合ハ府縣會ニ於テ之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ受ケヘシ若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ內務大臣之ヲ確定ス

第七十三條 府縣內ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ府縣會ノ議決ニ依リ該部分ニ對シ通常府縣稅賦課ノ外其利益ノ厚薄ニ應ジ特ニ夫役現品ヲ増課スルコトヲ得

第七十四條 府縣ハ其舊債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災事變ノ爲メ已ムヲ得サル支出又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ增加スルコトキハ府縣ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ府縣會ノ議決ヲ以テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ  
府縣債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々ノ償還率合テ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還スヘシ  
歳入出豫算內ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度內ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルコトヲ限ラズ但府縣參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第七十五條 府縣知事ハ毎年其翌年度ニ係ル歳入出豫算ヲ調製スヘシ但府縣會ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ  
豫算ハ府縣會ノ議決ニ付スルノ前府縣參事會ノ審査ニ付スヘシ若府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ知事ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ  
內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ且ニ費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第七十六條 豫算ハ毎年府縣會ノ議決ヲ取リ之ヲ內務大臣ニ報告シ且ニ府縣會ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合ニ於テモ亦同シ  
府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ以テ其期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ其府縣有財產表ヲ提出スヘシ  
第七十七條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設ケヘシ豫備費ハ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ已ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第七十八條 府縣ノ收支命令ハ府縣知事之ヲ發スヘシ  
第七十九條 會計事務ヲ管理スル官吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十條 決算ハ會計事務ヲ管理スル官吏ニ於テ會計年度後三箇月以内ニ之ヲ府縣知事ニ提出シ府縣知事ハ府縣參事會ヲシテ之ヲ検査セシメ大同ノ通常府縣會ノ認定ニ付スヘシ  
決算報告書並ニ之ニ關スル府縣會ノ議決ハ府縣知事ヨリ之ヲ內務大臣ニ報告シ且ニ決算ハ府縣會ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五節 監督

第八十一條 府縣ノ行政ハ內務大臣之ヲ監督ス

第八十二條 府縣ノ行政ニ關スル訴訟ハ其事ノ件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ其理由ヲ具シテ內務大臣ニ提出スヘシ  
此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴スヘシ  
行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第八十三條 內務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背反セサルヤ其事務錯亂滯滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ內務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類經テ報告シ且ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第八十四條 府縣會又ハ府縣參事會ノ議決公認シテ審スト認ムルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ

猶其議決ヲ改メサルトキハ直ニ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ  
府縣會又ハ府縣參事會ノ議決其權限ヲ超エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ其議決ヲ取消スヘシ此場合ニ於テ府縣知事ノ處分ニ不服ナルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ府縣ノ負擔ニ關スル行政上又ハ公益上必要ノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖必要ノ給需ヲ缺クトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但內務大臣ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第八十六條 府縣會召集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ內務大臣ノ指揮ヲ請ヒ處分スルコトヲ得

第八十七條 府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セシメ又ハ府縣會ニ於テ召集前正當ノ手續ヲ以テ告知セラレタル議案ヲ第二十一條第一項ニ定メタル期限内ニ議決セサル場合ニ於テ其事務緊急ヲ要スルトキハ府縣知事ハ內務大臣ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但其議決セシメ又ハ議決セサル議案歳入出豫算ニ係リ內務大臣ニ於テ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ

會ノ審査ニ付スヘシ若府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ知事ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ  
內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ且ニ費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第七十六條 豫算ハ毎年府縣會ノ議決ヲ取リ之ヲ內務大臣ニ報告シ且ニ府縣會ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合ニ於テモ亦同シ  
府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ以テ其期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ其府縣有財產表ヲ提出スヘシ  
第七十七條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設ケヘシ豫備費ハ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ已ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ズ

第七十八條 府縣ノ收支命令ハ府縣知事之ヲ發スヘシ  
第七十九條 會計事務ヲ管理スル官吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

指揮スルコトヲ得

第八十八條 內務大臣ハ府縣ノ歳入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削減シ及其府縣ノ實力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削減若ハ減殺スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第八十九條 府縣會ノ解散ハ勅令ヲ以テス此場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ改選スヘシ  
前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解散スルモノトス  
府縣會解散ノ後改選終了ニ至ル迄ノ間急務ヲ要スル事件アルトキハ府縣知事ハ專決處分スルコトヲ得

第九十條 左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタルコトヲ要ス  
一 新ニ府縣債ヲ起シ又ハ其額ヲ增加シ若ハ償還ノ方法ヲ變更スル事  
二 地租四分ノ一ヲ超過スル府縣稅ヲ土地ニ賦課スル事  
三 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ下渡スル歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

第九十一條 左ノ事件ニ關スル府縣會ノ議決ハ內務大臣ノ認可ヲ受ケタルコトヲ要ス  
一 府縣有不動産ノ賣却讓渡並ニ買入書入ノ事

官制及府縣都市町村制 (府縣制) (郡制)

二第七十二條 第二項ニ依リ市若ハ其他ノ

部分ノ負擔ヲ增加スル事

三第七十三條ニ依リ府縣内ノ或ル部分ニ

對シ特ニ夫沙現品ヲ増課スル事

四第七十六條 第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ

及其年期内ニ議決ヲ變更スル事

第六章 附則

第九十二條 行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此

法律ニ依リ行政裁判所ニ屬スル職務ハ現行

ノ行政裁判手續ニ從ヒ控訴院ニ於テ之ヲ行

フヘシ

第九十三條 市制町村制施行ノ爲定ムル直接

稅ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦之ヲ適

用ス

市制町村制郡制及此法律施行ノ爲將來ノ諸

稅ニ付直接稅ト爲スヘキモノハ内務大臣及

大藏大臣之ヲ告示スヘシ

第九十四條 此法律ハ郡制市制ヲ施行シタル

各府縣ニ施行スルモノトス其施行ノ時期ハ

府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第九十五條 此法律施行ノ後ハ市制百二十

二條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ東京

市京都市大阪市ニ在テハ地租七分ノ三、二

五(二十八分ノ十三)其他ノ市ニ在テハ其七

分ノ一、五(十四分ノ三)ヲ超過スルトキ之

ヲ要スルモノトス

第九十六條 府縣内ニ在ル島嶼ノ其本地ニ對

スル關係ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設ク

郡制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣

會議員ノ選舉ニ關シテハ別ニ勅令ヲ以テ其

制ヲ定ム

第九十七條 明治十三年四月第十五號布告府

縣會規則明治十四年二月第八號布告區部

會規則明治二十二年二月法律第六號府縣

會議員選舉規則其他此法律ニ抵觸スル成規ハ

此法律施行ノ府縣ニ於テ其施行ノ時期ヨリ

總テ之ヲ廢止ス

第九十八條 內務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任

シ之カ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

○郡制 明治二十三年五月十

七日法律第三十六號

第一章 總則

第一條 郡ノ設置分合及郡界ノ變更ハ法律ヲ

以テ之ヲ定ム

郡界ニ當ル市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ

郡界モ亦自ラ變更スルモノトス

第二條 郡内ノ町村ヲ變更シタル市ト爲シ若ハ市

ヲ變更シタル郡内ノ町村ト爲スハ其市會町村會

ノ申請ニ依リ內務大臣之ヲ定ム

第三條 第一條第二條ノ處分ニ付其財產處分

ヲ要スルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニ在ラ

ス

第二章 郡會

第四條 郡會ハ郡内町村ニ於テ選舉シタル議

員及大地主ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之

ヲ組織ス

第五條 町村ニ於テ選舉スヘキ郡會議員ノ數

ハ每町村各二名トス

郡會議員ノ數二十名以上ニ及フトキハ二十

名ヲ以テ制限トス此場合ニ於テ議員配當法

ハ首トシテ人口ヲ標準トシ郡會ニ於テ議決

シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

郡會議員ノ數十名ニ滿タサルトキハ郡會ノ

議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經其數ヲ増シ

テ十名ニ至ルコトヲ得其配當法ハ首トシテ

人口ヲ標準トシ郡會ニ於テ議決シ府縣知事

ノ認可ヲ受クヘシ

本條議員配當法ハ郡内ノ町村數ニ増減アリ

タル場合ノ外初同ハ三年間爾後十二年以

上ニ至リ町村ノ人口ニ著シキ増減アルニ非

サレハ改正セサルモノトス

議員配當法ヲ改正スルトキハ議員全數ヲ改

選スヘシ

第六條 一町村ニ於テ一名以上ノ議員ヲ選舉

スルハ其町村會之ヲ行ヒ數町村ニ於テ一名

若ハ一名以上ノ議員ヲ選舉スルハ其各町村

會會同シテ之ヲ行フヘシ

第七條 町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其町村

一切ノ事務ヲ共同處分スルモノハ第四條乃

至第六條ノ規定ニ關シテハ之ヲ一町村ト同

視シ其組合會ニ於テ議員選舉ヲ行フヘシ

第八條 大地主ハ町村ニ於テ選舉スヘキ議員

定數ノ外其定數ノ三分ノ一ヲ互選スルモノ

トス若端數ヲ生スルトキハ之ヲ棄却スヘシ

選舉ヲ行フコトヲ得ヘキ大地主ニシテ其員

數町村ニ於テ選舉スヘキ議員定數ノ三分ノ

一以下ナルトキハ其大地主ハ選舉ニ依ラス

シテ郡會議員タルモノトス但定期改選ノ期

限内ニ於テハ大地主ノ員數減シテ三分ノ一

以下ニ至ルト雖解散ノ爲改選スル場合ヲ除

ク

立テ其郡長ノ裁決ニ不服ナル者ハ府縣參事

會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル

者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

大地主名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉ニ參

與シ及第八條第二項ニ依リ郡會議員タルコ

トヲ得ス

大地主名簿ハ次ノ定期改選前ニ行フヘキ補

關選舉ニモ亦適用スルモノトス但大地主ノ

資格ヲ失ヒ又ハ選舉權ノ要件ヲ失ヒタル者

ハ之ヲ削除シ其氏名ヲ告示スヘシ其處分

ニ對シ異議アルトキハ本條第二項ノ例ニ依

ル

定期改選ノ期限内新ニ選舉權ヲ得又ハ選舉

ニ依ラスシテ郡會議員タルノ權利ヲ得タル

者ハ解散ノ爲改選スル場合ヲ除ク外期限内

ニ於テ其名簿ニ登錄セサルモノトス

第十六條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依

リ之ヲ行フヘシ其告示ハ選クトモ選舉ノ日

ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第十七條 選舉ノ順序ハ先ツ町村之ヲ行ヒ次

ニ大地主之ヲ行フヘシ

町村ニ於テ行フ選舉ハ町村制第四十六條ノ

規定ニ從フヘシ但數町村會同シテ行フ選

舉ハ郡長又ハ郡長ノ指定スル町村長ヲ選舉

會長トシテ之ヲ行フヘシ

大地主ニ於テ行フ選舉ハ郡長ヲ選舉會長ト

シテ之ヲ行フヘシ

第十八條 大地主ニ於テ選舉ヲ行フトキハ左

ノ規定ニ依ルヘシ

一、郡長ハ選クトモ選舉ノ日ヨリ七日前選

舉

ク

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

官制及府縣都市町村制 (郡制)

クノ外ハ本項ヲ適用スルノ限ニ在ラス

第九條 大地主トハ郡内ニ於テ町村稅ノ賦課

ヲ受タル所有地ニシテ地價總計一萬圓以上

ヲ有スル地主ヲ云フ

第十條 郡内町村公民ニシテ町村會ノ選舉ニ

參與スルコトヲ得ヘキ者及大地主中自ら選

舉ニ加ハルコトヲ得ヘキ者ハ總テ郡會ノ被

選舉權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル

者其住居同郡内ニ在リ且他ノ要件ヲ失ハサ

ルトキハ仍郡會ノ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲タル者ハ選舉ニ係ルト否ト問ハス

第十二條 選舉權ヲ有スル大地主ハ代人ヲ以

テ選舉ヲ行フコトヲ得

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ代人ヲ以テスル

ニ非サレハ選舉ヲ行フコトヲ得ス

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ町村制ニ

定メタル獨立ノ男子ニ限リ但一人ニシテ數

人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀

ヲ以テ代理ノ證トスヘシ

本條ノ規定ハ第八條第二項ノ權利ヲ行フ場

合ニモ適用スルモノトス但其人ハ郡會ニ

被選舉權ヲ有スル者ニシテ郡會議員タラサル

者ニ限ル

第十三條 郡會議員ハ名譽職トス

町村ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ六年ト

シ毎三年其半數ヲ改選ス若其員數二分シ難

キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシ

ム初回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會

ニ於テ自ら抽籤シテ之ヲ定ム

第十四條 議員中議員アルトキハ選クトモ六

箇月以内ニ補選ヲ行フヘシ

補選議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモ

ノトス

第十五條 郡長ハ郡會議員改選前選舉權アル

大地主ノ名簿ヲ製シ之ニ其資格ヲ記載シ其

氏名ヲ告示スヘシ

關係者ニ於テ大地主名簿ノ正否ニ關シ異議

アルトキハ告示後二十一日以内ニ郡長ニ申

出

ス

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

ル

官制及府縣都市町村制 (郡制)

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存ス

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會同シテ行フ選舉ニ在テハ町村長及町村會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス

第二十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其議員ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知ス

第二十五條 郡會議員被選舉ノ有無及選舉ノ效力ハ郡參事會之ヲ裁決ス

第二十六條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ一、郡ノ歳入出豫算ヲ定ムル事

二、決算報告ヲ認定スル事

三、郡有不動産ノ賣買交換讓渡讓受或ニ質入借入ノ事

四、歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

五、郡有財産ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムル事

其他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ關スル事

第二十七條 郡會ハ其權限ニ關スル事件ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第二十八條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス

署名スヘシ

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存ス

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會同シテ行フ選舉ニ在テハ町村長及町村會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス

第二十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其議員ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知ス

第二十五條 郡會議員被選舉ノ有無及選舉ノ效力ハ郡參事會之ヲ裁決ス

第二十六條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ一、郡ノ歳入出豫算ヲ定ムル事

二、決算報告ヲ認定スル事

三、郡有不動産ノ賣買交換讓渡讓受或ニ質入借入ノ事

四、歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

五、郡有財産ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムル事

其他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ關スル事

第二十七條 郡會ハ其權限ニ關スル事件ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第二十八條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス

署名スヘシ

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存ス

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會同シテ行フ選舉ニ在テハ町村長及町村會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス

第二十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其議員ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知ス

第二十五條 郡會議員被選舉ノ有無及選舉ノ效力ハ郡參事會之ヲ裁決ス

第二十六條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ一、郡ノ歳入出豫算ヲ定ムル事

二、決算報告ヲ認定スル事

三、郡有不動産ノ賣買交換讓渡讓受或ニ質入借入ノ事

官制及府縣都市町村制 (郡制)

署名スヘシ

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存ス

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會同シテ行フ選舉ニ在テハ町村長及町村會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス

第二十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其議員ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知ス

官制及府縣都市町村制 (郡制)

署名スヘシ

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存ス

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會同シテ行フ選舉ニ在テハ町村長及町村會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス

第二十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其議員ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知ス

官制及府縣都市町村制 (郡制)

署名スヘシ

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存ス

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會同シテ行フ選舉ニ在テハ町村長及町村會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス

第二十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其議員ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知ス

官制及府縣都市町村制 (郡制)

署名スヘシ

八、投票ハ選舉ノ效力確定スル迄之ヲ保存ス

第十九條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會同シテ行フ選舉ニ在テハ町村長及町村會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス

第二十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十三條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

第二十四條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セザル者アルコトヲ發見スルトキハ其議員ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知ス

理事互選スヘシ  
 第四十八條 郡會ハ毎通常會ニ於テ郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ノ補充員三名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ補充員アルトキハ郡長ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但其既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スルモノトス  
 第四十九條 名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖後任者就職ノ日迄在職スルモノトス  
 郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ハ補充員ヲ以テ其議員ヲ補充シ仍舊議員ヲ生シタル場合ニ於テハ二箇月以内ニ臨時其選舉ヲ行フヘシ  
 第五十條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ  
 一、郡會ノ權限ニ關スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事  
 二、郡會ノ權限ニ關スル事件ニシテ臨時急務ヲ要シ郡長ニ於テ郡會ヲ招集スルノ暇ナシト認レルトキ郡會ニ代テ議決ヲ爲ス事  
 三、郡會ノ定メタル方法ノ範圍内ニ於テ郡有財産ノ管理又ハ營造物ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事  
 四、郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事  
 五、郡長其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ達フル事  
 六、郡長ヨリ發スル郡會議案ニ付郡長ニ意見ヲ達ヘ及會議ニ報告スル事  
 七、臨時必要アルトキ郡ノ出納ヲ検査スル事  
 其他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ關スル事務ヲ處理ス  
 第五十一條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集スル會員半數以上ノ請求アルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ  
 第五十二條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス會員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス  
 郡參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル  
 議決ノ事件ハ之ヲ議事録ニ登記シ議長及名譽職參事會員二名以上之ニ署名スヘシ  
 第五十四條 郡參事會員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付郡參事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス  
 前項ノ規定ノ爲出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍舊其數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ該事件ニ關係ナキ者ノ内ヨリ臨時ニ指名シ名譽職參事會員ノ不足ヲ補充シテ第四十六條ノ規定ニ滿タシムヘシ  
 第五十五條 町村制ノ規定ニ依リ郡參事會ノ權限ニ關スル事件ニシテ郡長以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其府縣知事ノ具狀ニ依リ內務大臣ニ於テ之ヲ指定スヘシ  
 第五十六條 郡長ハ郡會及郡參事會ノ議決ヲ施行シ及郡有ノ財産及營造物ヲ管理シ並ニ郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス  
 郡ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ郡長ノ外名譽職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ  
 前項ノ文書中郡會又ハ參事會ノ權限ニ關スル事件ニシテ其議決ヲ經タルモノハ其旨ヲ記入スヘシ  
 第五十七條 郡會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選舉セス又ハ參事會成立セス又ハ招集ニ應ゼサルトキハ參事會成立シ又ハ招集ニ應ズル郡長ハ郡參事會ノ權限ニ關スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得  
 非常事變ニ際シ郡參事會ヲ招集スルノ暇ナク又ハ名譽職參事會員ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ郡長ハ郡參事會ノ權限ニ關スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得  
 本條ノ處分ハ次同ノ郡會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ  
 第五十八條 郡ハ府縣稅ヲ以テ支辨スル郡吏員ノ外郡會ノ議決ニ依リ郡ノ費用ヲ以テ郡有財産又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要ナル有給郡吏員ヲ置クコトヲ得但郡吏員ハ他ノ郡吏員ニ準シ府縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス  
 前項郡吏員ノ給料手當津貼料等ハ郡會ノ議決スル所ニ依リ其身元保證金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十九條 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ郡事務ノ一部ヲ調査セシメ又ハ郡有財産及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ得  
 委員ハ郡會ニ於テ之ヲ選舉ス其選舉ノ方法及任期ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル  
 委員ハ名譽職トス  
 第四十條 郡ノ會計  
 第六十條 郡有財産及營造物管理ノ費用郡會參事會及委員ノ費用第五十八條ノ郡吏員ノ給料津貼料其他給與及法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ト定ムル事件ノ費用ハ其郡ニ於テ之ヲ支辨スヘシ  
 第六十一條 郡會議員名譽職參事會員及委員ニハ旅費及日當ヲ給スルコトヲ得但日當ハ一日五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス  
 第六十二條 郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ郡内各町村ニ分賦ス各町村分賦ノ割合ハ各町村前年度ノ直接間稅府縣稅ノ徵收額ニ據ル  
 各町村分賦ノ額ハ各町村ニ於テ之ヲ町村ノ豫算ニ編入シ町村稅トシテ徵收シ其總額ヲ郡金庫ニ納ムヘシ  
 第六十三條 郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ郡會ノ議決ニ依リ該部分ノ町村ニ對シ通常分賦額ノ外其利益ノ厚薄ニ應シ特ニ夫役現品ヲ増課スルコトヲ得  
 第六十四條 郡ハ天災事變ノ爲己ムヲ得ザル支出又ハ其郡ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ郡内町村ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ郡會ノ議決ヲ以テ郡債ヲ起スコトヲ得  
 郡債ヲ起スル議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法及利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ  
 郡債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ  
 歳入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依リ限ニ在ラズ但郡參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス  
 第六十五條 郡長ハ毎年其翌年度ニ係ル歳入出豫算ヲ調製スヘシ但郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ  
 豫算ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ  
 內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ並ニ費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得  
 第六十六條 豫算ハ毎年郡會ノ議決ヲ取り之ヲ府縣知事ニ報告シ並ニ郡奉行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合ニ於テモ亦同シ  
 郡ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ以テ  
 其年別間各年度ノ支出額ヲ定メ總額費ト爲スコトヲ得  
 豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ其郡有財産表ヲ提出スヘシ  
 第六十七條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ郡長ニ於テ郡參事會ノ議決ヲ經テ己ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス  
 第六十八條 郡ノ收支命令ハ郡長之ヲ發スヘシ  
 第六十九條 會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ハ前條ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス  
 第七十條 郡ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一回臨時検査ヲ爲スヘシ検査ハ郡長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査ニハ郡參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス  
 第七十一條 決算ハ會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ニ於テ會計年度後三箇月以内ニ之ヲ郡長ニ提出シ郡長ハ郡參事會ヲシテ之ヲ検査セシメ大同ノ通常郡會ノ認定ニ付スヘシ  
 決算報告書並ニ之ニ關スル郡會ノ議決ハ郡長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告シ並ニ決算ハ郡奉行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ  
 第五章 監督  
 第七十二條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス



第七十三條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クテ外部ノ行政ニ關スル府縣知事又ハ府縣參事會ノ處分若ハ裁決ニ不服ナル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十四條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第七十五條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第七十六條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第七十七條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第七十八條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第七十九條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第八十條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第八十一條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第八十二條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第八十三條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第八十四條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第八十五條 府縣知事ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

第八十六條 此法律ニ依リ始メテ議員ヲ選舉スルニ付郡會及郡參事會ノ職務ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十七條 町村制施行ノ爲ニ定ムル直接稅ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦適用ス

第八十八條 此法律施行ノ後ハ町村制第二百二十六條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ地租七分ノ一五(十四分ノ三)ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第八十九條 此法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣ノ之ヲ定ム

第九十條 明治十一年七月十七號布告郡區町村編制法其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ地ニ於テ其施行ノ時期ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第九十一條 內務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任シ之ヲ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

**市制**  
明治二十一年四月二日法律第一號

**第一章 總則**

第一款 市及其區域

第二款 市住民及其權利義務

第三款 市條例

第二章 市會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第三章 市行政

第一款 市參事會及市吏員ノ組織選任

第二款 市參事會及市吏員ノ職務權限及處務規程

第三款 給料及給與

第四章 市有財產ノ管理

第一款 市有財產及市稅

第二款 市ノ歲入出豫算及決算

第五章 特別ノ財產ヲ有スル市區ノ行政

第六章 市行政ノ監督

第七章 附則

**市制 附則**

第一款 總則

第一款 市及其區域

第二款 市ノ境界

第三款 市ノ境界ノ變更

第四款 市ノ境界ノ分割

第五款 市ノ境界ノ適用

第六款 市ノ境界ノ適用

第七款 市ノ境界ノ適用

第八款 市ノ境界ノ適用

第九款 市ノ境界ノ適用

第十款 市ノ境界ノ適用

第十一款 市ノ境界ノ適用

第十二款 市ノ境界ノ適用

第十三款 市ノ境界ノ適用

第十四款 市ノ境界ノ適用

第十五款 市ノ境界ノ適用

第十六款 市ノ境界ノ適用

第十七款 市ノ境界ノ適用

第十八款 市ノ境界ノ適用

第十九款 市ノ境界ノ適用

第二十款 市ノ境界ノ適用

第二十一款 市ノ境界ノ適用

第二十二款 市ノ境界ノ適用

第二十三款 市ノ境界ノ適用

第二十四款 市ノ境界ノ適用

第二十五款 市ノ境界ノ適用

第二十六款 市ノ境界ノ適用

第二十七款 市ノ境界ノ適用

第二十八款 市ノ境界ノ適用

第二十九款 市ノ境界ノ適用

第三十款 市ノ境界ノ適用

第三十一款 市ノ境界ノ適用

第三十二款 市ノ境界ノ適用

第三十三款 市ノ境界ノ適用

第三十四款 市ノ境界ノ適用

第三十五款 市ノ境界ノ適用

第三十六款 市ノ境界ノ適用

第三十七款 市ノ境界ノ適用

第三十八款 市ノ境界ノ適用

第三十九款 市ノ境界ノ適用

第四十款 市ノ境界ノ適用

第四十一款 市ノ境界ノ適用

第四十二款 市ノ境界ノ適用

第四十三款 市ノ境界ノ適用

第四十四款 市ノ境界ノ適用

第四十五款 市ノ境界ノ適用

第四十六款 市ノ境界ノ適用

第四十七款 市ノ境界ノ適用

第四十八款 市ノ境界ノ適用

第四十九款 市ノ境界ノ適用

第五十款 市ノ境界ノ適用

第五十一款 市ノ境界ノ適用

第五十二款 市ノ境界ノ適用

第五十三款 市ノ境界ノ適用

第五十四款 市ノ境界ノ適用

第五十五款 市ノ境界ノ適用

第五十六款 市ノ境界ノ適用

第五十七款 市ノ境界ノ適用

第五十八款 市ノ境界ノ適用

第五十九款 市ノ境界ノ適用

第六十款 市ノ境界ノ適用

第六十一款 市ノ境界ノ適用

第六十二款 市ノ境界ノ適用

第六十三款 市ノ境界ノ適用

第六十四款 市ノ境界ノ適用

第六十五款 市ノ境界ノ適用

第六十六款 市ノ境界ノ適用

第六十七款 市ノ境界ノ適用

第六十八款 市ノ境界ノ適用

第六十九款 市ノ境界ノ適用

第七十款 市ノ境界ノ適用

第七十一款 市ノ境界ノ適用

第七十二款 市ノ境界ノ適用

第七十三款 市ノ境界ノ適用

第七十四款 市ノ境界ノ適用

第七十五款 市ノ境界ノ適用

第七十六款 市ノ境界ノ適用

第七十七款 市ノ境界ノ適用

第七十八款 市ノ境界ノ適用

第七十九款 市ノ境界ノ適用

第八十款 市ノ境界ノ適用

第八十一款 市ノ境界ノ適用

第八十二款 市ノ境界ノ適用

第八十三款 市ノ境界ノ適用

第八十四款 市ノ境界ノ適用

第八十五款 市ノ境界ノ適用

第八十六款 市ノ境界ノ適用

第八十七款 市ノ境界ノ適用

第八十八款 市ノ境界ノ適用

第八十九款 市ノ境界ノ適用

第九十款 市ノ境界ノ適用

第九十一款 市ノ境界ノ適用

第九十二款 市ノ境界ノ適用

第九十三款 市ノ境界ノ適用

第九十四款 市ノ境界ノ適用

第九十五款 市ノ境界ノ適用

第九十六款 市ノ境界ノ適用

第九十七款 市ノ境界ノ適用

第九十八款 市ノ境界ノ適用

第九十九款 市ノ境界ノ適用

第一百款 市ノ境界ノ適用

ルコトヲ得

前項市會ノ議決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條 市公民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス

市公民タル者身代限處分中又ハ公債ノ割奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪ノ爲メ裁判上ノ罰問者クハ拘留中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ市ノ公務ニ參與セサルモノトス

市公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者本條ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ解ク可キモノトス

第十條 市ノ事務及市住民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設クルコトヲ許セル事項ハ各市ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

市ニ於テハ其市ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得

市條例及規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得且之ヲ發行スルトキハ地方慣行ノ公告式ニ依ル可シ

第二章 市會

第一節 組織及選舉

第十一條 市會議員ハ其市ノ選舉人其被選舉人ノ市ニ於テハ三十人トシ人口五萬以上ノ市ニ於テハ三十六人トス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ市會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

市參事會員トシテ父子兄弟タルノ緣故アル者ハ之ト同時ニ市會議員タルコトヲ得ス若シ議員トシテ其緣故アル者市參事會員ノ任ヲ受クルトキハ其緣故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ

第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分シ離キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 議員中副議員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補選ヲ行フ可シ若シ定員三分ノ一以上副議員アルトキ又ハ市會、市參事會若クハ府縣知事ニ於テ臨時補選ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖モ其補選ヲ行フ可シ

補選議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補選トモ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フ可シ

第十八條 市長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其選舉前六十日ヲ限リ選舉原簿ヲ製シ各選舉人ノ資格

人口十萬以上ノ市ニ於テハ人口五萬ヲ加フル毎ニ人口二十萬以上ノ市ニ於テハ人口十萬ヲ加フル毎ニ議員三人ヲ増シ六十人ヲ定限トス

議員ノ定員ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得但シ法律ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 市公民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ其公民權ヲ停止セララル者(第八條第三項第九條第二項)及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

凡內國人ニシテ公債ヲ有シ直接市稅ヲ納ムル者其額市公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラズト雖モ選舉權ヲ有ス但シ公民權ヲ停止セララル者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

第十三條 選舉人ハ分テ三級ト爲ス

選舉人中直接市稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納稅額ノ三分一ニ當ル可キ者ヲ一級トス

一級選舉人ノ外直接市稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納稅額ノ三分二ニ當ル可キ者ヲ二級トシ餘額ノ選舉人ヲ三級トス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其市ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ八年齡ヲ以テ年齢ニモ依リ難キトキハ市長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ

選舉人每級各別ニ議員ノ三分一ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス三級ニ通シテ選舉セララルコトヲ得

第十四條 區域廣闊又ハ人口稠密ナル市ニ於テハ市條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得但特ニ二級若クハ三級選舉ノ爲メ之ヲ設クルモ妨ケナシ

選舉區ノ數及其區域並各選舉區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ市條例ヲ以テ選舉人ノ員數ニ準シテ之ヲ定ム可シ

選舉人ハ其住居ノ地ニ依テ其所屬ノ區ヲ定ム其市内ニ住居ナキ者ハ課稅ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亘リ納稅スル者ハ課稅ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム可シ

選舉區ヲ設クルトキハ其選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分テ可シ

第十五條 選舉權ヲ有スル市公民(第十二條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ市會議員タルコトヲ得ス

一、所屬府縣ノ官吏

二、有給ノ市吏員

三、檢察官及警察官吏

四、神官僧侶及其他諸宗教師

五、小學校教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ

代理人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事務ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員ニ選舉セララルコトヲ得ス

第二十二條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ中立ア掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス

第二十三條 投票ニ記載ノ人員其選舉ス可キ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其投票無効トセス其定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シ

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一、人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ讀ミ難キモノ

二、被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三、被選舉權ナキ人名ヲ記載スルモノ

四、被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ

投票ノ受理並效力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ市會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

市參事會員トシテ父子兄弟タルノ緣故アル者ハ之ト同時ニ市會議員タルコトヲ得ス若シ議員トシテ其緣故アル者市參事會員ノ任ヲ受クルトキハ其緣故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ

第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分シ離キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 議員中副議員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補選ヲ行フ可シ若シ定員三分ノ一以上副議員アルトキ又ハ市會、市參事會若クハ府縣知事ニ於テ臨時補選ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖モ其補選ヲ行フ可シ

補選議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補選トモ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フ可シ

第十八條 市長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其選舉前六十日ヲ限リ選舉原簿ヲ製シ各選舉人ノ資格

人口十萬以上ノ市ニ於テハ人口五萬ヲ加フル毎ニ人口二十萬以上ノ市ニ於テハ人口十萬ヲ加フル毎ニ議員三人ヲ増シ六十人ヲ定限トス

議員ノ定員ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得但シ法律ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 市公民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ其公民權ヲ停止セララル者(第八條第三項第九條第二項)及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

凡內國人ニシテ公債ヲ有シ直接市稅ヲ納ムル者其額市公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラズト雖モ選舉權ヲ有ス但シ公民權ヲ停止セララル者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ選舉掛シ示シテ代理ノ證ト可シ

第二十五條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモハ八年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補選員數名ヲ選舉スルトキハ(第十七條)投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘任期ノ最長キ前任者ノ補選ト爲シ其數相同キトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム

第二十六條 選舉掛ハ選舉員ヲ製シテ選舉ノ願末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選舉員ニ附屬シ選舉ヲ結了スルニ至ル迄之ヲ保存ス可シ

第二十七條 選舉員終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セんとスル者ハ五日以内ニ之ヲ市長ニ申立ヲ可シ

一人ニシテ數區又ハ數區ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内何レノ選舉ニ應シ可キコトヲ申立ヲ可シ其期限内ニ之ヲ申立テザル者ハ總テ其選舉ヲ辭スル者トナシ第八條ノ處分ヲ爲ス可シ

第二十八條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ市長ニ申立ヲ可コトヲ得(第三十五條第一項)

市長ハ選舉員終リタル後之ヲ府縣知事ニ報告シ府縣知事ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス府縣知事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得

選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人中其資格ノ要件ヲ有セザル者アルトキハ其人ノ當選ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシム可シ

第二十九條 當選者中其資格ノ要件ヲ有セザル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ市會之ヲ議決ス

第三十條 職務權限及職務規程

第三十一條 市會ハ其市ヲ代表シ此法律ニ準據シテ市ニ關スル一切ノ事件並從前特ニ委任セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ委任セラレノ事件ヲ議決スルモノトス

第三十二條 市會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ

一、市條例及規則ヲ設ケ或改正スル事

二、市費ヲ以テ支辨ス可キ事業但第七十四條ニ掲ケタル事務ハ此限ニ在ラス

三、歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事

四、決算報告ヲ認定スル事

五、法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料ノ手数料市税及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事

六、市有不動產ノ賣買交換讓受讓渡買入書入ヲ爲ス事

七、基本財産ノ處分ニ關スル事

八、歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ喪却ヲ爲ス事

九、市有ノ財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十、市吏員ノ身元保證金ヲ徴シ其金額ヲ定ムル事

十一、市ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第三十二條 市會ハ法律勅令ニ依リ其職權ニ屬スル市吏員ノ選舉ヲ行フ可シ

第三十三條 市會ハ市ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ市長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ監査スルノ職權ヲ有ス

市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ差出スコトヲ得

第三十四條 市會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス可シ

第三十五條 市住民及公民タル權利ノ有無、選舉權及被選舉權ノ有無、選舉人名簿ノ正否並其等級ノ當否、代理ヲ以テ執行スル選舉權(第十二條第二項)及市會議員選舉ノ效力(第二十八條)ニ關スル訴願ハ市會之ヲ裁決ス

市會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事會ニ訴願シ其府縣知事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ市長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得但判決確定スルニ非サレハ更ニ選舉ヲ爲スコトヲ得ス

第三十六條 凡議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受テ可カラサルモノトス

第三十七條 市會ハ每曆年ノ初メ一周年ヲ限リ議長及其代理者各一名ヲ互選ス

第三十八條 會議ノ事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事アルトキハ議長ニ故障アルモノトシテ其代理者之ニ代ル可シ

議長代理者共ニ故障アルトキハ市會ハ八年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲ス可シ

第三十九條 市參事會員ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辨明スルコトヲ得

第四十條 市會ハ會議ノ必要アル毎二議長之ヲ召集ス若シ議長四分ノ一以上ノ請求アルトキ又ハ市長若クハ市參事會ノ請求アルトキハ必ス之ヲ召集ス可シ其召集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急務ヲ要スル場合ヲ除クノ外少クモ會議ノ三日前タル可シ但市會ノ議決ヲ以テ豫メ會議日ヲ定ムルモ妨ケナシ

市參事會員ヲ市會ノ會議ニ召集スルトキモ亦前項ノ例ニ依ル

第四十一條 市會ハ議員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得但同一ノ議事ニ付召集再回ニ至ルモ議員猶三分ノ二ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第四十二條 市會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ再議議決ス可シ

シ若シ同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第四十三條 議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ市會ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

議員ノ數此條ノ爲メニ減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサルトキハ府縣知事會市會ニ代テ議決ス

第四十四條 市會ニ於テ市吏員ノ選舉ヲ行フトキハ其一名毎二匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル者ナキトキハ最多數ヲ得ル者二名ヲ取り之ニ就テ更ニ投票セシム若シ最多數ヲ得ル者三名以上同數ナルトキハ議長自ラ抽籤シテ其二名ヲ取り更ニ投票セシム此再投票ニ於テモ過半數ヲ得ル者二名ニキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其他ハ第十二條第二十三條、第二十四條第一項ヲ適用ス

前項ノ選舉ニハ市會ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

第四十五條 市會ノ會議ハ公開ス但議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第四十六條 議長ハ各議員ニ事務ヲ分課シ會議及選舉ノ事ヲ總理シ開會閉會並延會ヲ命ジ議場ノ秩序ヲ保持ス若シ傍聽者ノ公然贊成又ハ喧嘩ヲ表シ又ハ喧嘩ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得

第四十七條 市會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及選舉ノ願末並出席議員ノ氏名ヲ

記録セシム可シ議事録ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ

市會ハ議事録ノ謄寫又ハ原書ヲ以テ其議決ヲ市長ニ報告ス可シ

市會ノ書記ハ市會之ヲ選任ス

第四十八條 市會ハ其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過意金二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第三章 市行政

第一款 市參事會及市吏員ノ組織選任

第四十九條 市ニ市參事會ヲ置キ左ノ吏員ヲ以テ之ヲ組織ス

一、市長 一名

二、助役 東京ハ三名京都大阪ハ各二名其他ハ一名

三、名譽職參事會員 東京ハ十二名京都大阪ハ各九名其他ハ六名

助役及名譽職參事會員ハ市條例ヲ以テ其定員ヲ増減スルコトヲ得

第五十條 市長ハ有給吏員トス其任期ハ六年トシ内務大臣市會ヲシテ候補者三名ヲ推薦セシメ上奏裁可ヲ請フ可シ若シ其裁可ヲ得サルトキハ再推薦ヲ爲サシム可シ再推薦ニシテ猶裁可ヲ得サルトキハ道ヲ推薦セシム裁可ヲ得ルニ至ルノ間内務大臣ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ市費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ市長ノ職務ヲ管掌セシム可シ

第五十一條 助役及名譽職參事會員ハ市會之ヲ選舉ス其選舉ハ第四十四條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス府縣知事會之ヲ決ス可シ



官制及府縣郡市町村制 (市制)

ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

縣知事ニ於テ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ府縣參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス

其市有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ市會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其習慣ヲ改ムルコトヲ得ス

第七十四條 市長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ掌ス

第七十七條 市條例ノ規定ヲ以テ市長其他有給吏員ノ退職料ヲ設ケルコトヲ得

第八十四條 市住民中特ニ市有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ市條例ノ規定ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

一、司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依テ其管理ニ關スル地方警察ノ事務但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管掌セシムルトキハ此限ニ在ラス

第七十八條 有給吏員ノ給料、退職料其他第七十五條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ府縣參事會之ヲ裁決ス其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 使用權ヲ有スル者(第八十三條、第八十四條)ハ使用ノ多寡ニ準シテ其土地物件ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔ス可キモノトス

二、浦役場ノ事務

第七十九條 退隱料ヲ受クル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ其間之ヲ停止シ又ハ更ニ退隱料ヲ受クルノ權ヲ得ルトキ其額舊退隱料同額以上ナルトキハ舊退隱料ハ之ヲ廢止ス

第八十六條 市會ハ市ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權(第八十三條、第八十四條)ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

三、國ノ行政官廳ノ行政ニシテ市ニ關スル事務但別ニ吏員ノ設ケアルトキハ此限ニ在ラス

第八十七條 市有財產ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付ス可シ但臨時急務ヲ要スルトキ及入札ノ價額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

第八十七條 市有財產ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付ス可シ但臨時急務ヲ要スルトキ及入札ノ價額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ市參事會員ノ一名ニ分掌セシムルコトヲ得

第八十八條 市ハ其必要ナル支出及從前法律命令ニ依テ賦課セラレ又ハ將來法律命令ニ依テ賦課セラル、支出ヲ負擔スルノ義務アリ

市ハ其財產ヨリ生スル收入及使用料、手数料(第八十九條)材料、過當金其他法律命令ニ依リ市ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ給不足アルトキハ市稅(第九十條)及

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メニ必要ナル費用ハ市ノ負擔トス

第八十二條 凡市有財產ハ全市ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトス但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第三款 給料及給與

第九十四條 所得稅ニ附加稅ヲ賦課シ又市ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セントスルトキハ納稅者ノ市外ニ於ケル所有ノ土地家屋又ハ營業(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除ス可キモノトス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第七十五條 名譽職員ハ此法律中別ニ規定アルモノヲ除ク外職務取扱ノ爲メニ必要ナル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

第九十五條 數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ前條ノ市稅ヲ賦課スルトキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ニノミ課稅ス可シ但土地家屋又ハ營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニ在ラス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第七十六條 市長助役其他有給吏員及使丁ノ給料額ハ市會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第九十六條 所得稅法第三條ニ掲ケル所得ハ市稅ヲ免除ス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

市會ノ議決ヲ以テ市長ノ給料額ヲ定ムルトキハ內務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス若シ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ內務大臣之ヲ確定ス

第九十七條 左ニ掲ケル物件ハ市稅ヲ免除ス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

市會ノ議決ヲ以テ助役ノ給料額ヲ定ムルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス府

第九十八條 前二條ノ外市稅ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律命令ニ定ムル所ニ從テ皇族ニ係ル市稅ノ賦課ハ道テ法律命令ヲ以テ決定ス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

夫役現品(第一百條)ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第八十九條 市ハ其所有物及營造物ノ使用ニ付テハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付使

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

用料又ハ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十條 市稅トシテ賦課スルコトヲ得可キ目左ノ如シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

一、國稅府稅ノ附加稅

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

二、直接又ハ間接ノ特別稅

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ市ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トシ特別稅ハ附加稅ノ外別ニ市限リ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十一條 此法律ニ規定セル條項ヲ除ク外使用料、手數料(第八十九條)特別稅(第九十條)第一項(第二)及從前ノ區町村費ニ關スル細則ハ市條例ヲ以テ之ヲ規定ス可シ其餘例ニハ材料一圓九十五錢以下ノ罰則ヲ設ケルコトヲ得

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

料料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ市參事會之ヲ掌ル其處分ニ不服アル者ハ令狀交付後十四日以内ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十二條 三箇月以上市內ニ滞在スル者ハ其市稅ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ滞在ノ初ニ適リ徵收ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十三條 市內ニ住居ヲ構ヘ又ハ三箇月以上滞在スルコトヲシテ雖モ市內ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ハ其土地家屋營業者若クハ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十八條 前二條ノ外市稅ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律命令ニ定ムル所ニ從テ皇族ニ係ル市稅ノ賦課ハ道テ法律命令ヲ以テ決定ス

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

夫役現品(第一百條)ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

官制及府縣郡市町村制 (市制)

金圓(第一條)共有物使用料及加入金(第八十四條)其他市ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキハ市參事會ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收ス可シ其督促ヲ爲スニハ市條例ノ規定ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

納稅者中無資力ナル者アルトキハ市參事會ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限リ納稅延期ヲ許スコトヲ得其年度ヲ越ユル場合ニ於テハ市會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵、期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規則ヲ適用ス

第三條 地租ノ附加稅ハ地租ノ納稅者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル市稅ハ其所

有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

第四條 市稅ノ賦課ニ對スル訴願ハ賦課令狀ノ交付後三箇月以内ニ之ヲ市參事會ニ申立テ可シ此期限ヲ經過スルトキハ其年度内納稅免稅及償還ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノトス

第五條 市稅ノ賦課及市ノ營造物、市有財產並其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴願ハ市參事會之ヲ裁決ス但民法上ノ權利ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ス

第六條 市ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災時變等已ムラ得テ支出若クハ市ノ永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ其市住民ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限ルモノトス

市會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法、利息、定率及償還ノ方法ヲ定ム可シ償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々償還ノ歩合ヲ定メ募集ノ時ヨリ三十年以内ニ還了ス可シ

定額豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其年度内ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノトス但此場合ニ於テハ市會ノ議決ヲ要セス

第二款 市ノ歳入出豫算及決算

第七條 市參事會ハ會計年度歳入支出ノ豫知シ得可キ金額ヲ見積リ年度前二箇月ヲ限リ歳入出豫算表ヲ調製ス可シ但市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定ムルコトヲ得

第八條 豫算表ハ會計年度前市會ノ議決ヲ取リ之ヲ府縣知事ニ報告シ該地方官行ノ方式ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ

豫算表ヲ市會ニ提出スルトキハ市參事會ハ併セテ其市ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出ス可シ

第九條 定額豫算外ノ費用又ハ豫算ノ不足アルトキハ市會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出スル

コトヲ得

定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ豫備費ヲ置キ市參事會ハ豫メ市會ノ認定ヲ受ケシテ豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充フルコトヲ得但市會ノ否決シタル費途ニ充フルコトヲ得ス

第十條 市會ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ其附屬ヲ以テ之ヲ收入役ニ交付ス可シ其豫算表中監督官廳若クハ參事會ノ許可ヲ受ケ可キ事項アルトキハ(第一條第二十一條ヨリ)第二百二十三條ニ至ル)先少其許可ヲ受ケ可シ

收入役ハ市參事會(第六十四條第二項第三)又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又收入役ハ市參事會ノ命令ヲ受ケルモ其支出豫算表中ニ豫定ナキカ又ハ其命令第九條ノ規定ニ據ラザルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第十一條 市ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クモ一回臨時検査ヲ爲ス可シ例月検査ハ市長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査ハ市長又ハ其代理者ノ外市會ノ互選シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第十二條 決算ハ會計年度ノ終ヨリ三箇月以内ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ市參事會ニ提出シ市參事會ハ之ヲ審查シ意見ヲ附シテ之ヲ市會ノ認定ニ付ス可シ其市會ノ認定ヲ經タルトキハ市長ヨリ之

府縣知事ニ報告ス可シ

決算報告ヲ爲ストキハ第三十八條及第四十三條ノ例ニ準シ市參事會員故障アルモノトス

第五章 特別ノ財産ヲ有スル市區ノ行政

第十三條 市内ノ一區ニシテ特別ニ財産ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其區限リ特ニ其費用(第九十九條)ヲ負擔スルトキハ府縣參事會ハ其市會ノ意見ヲ聞キ條例ヲ發行シ財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會ヲ設ケルコトヲ得其會議ハ市會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第十四條 前條ニ記載スル事務ハ市ノ行政ニ關スル規則ニ依リ市參事會之ヲ管理ス可シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別ス可シ

第六章 市行政ノ監督

第十五條 市行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ內務大臣之ヲ監督ス但法律ニ指定シタル場合ニ於テ府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス

第十六條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外凡市ノ行政ニ關スル府縣知事若クハ府縣參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

市ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合ニ於テハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アリ又ハ當該官廳ノ意見ニ依リ其停止ノ爲メニ市ノ公益ニ害アリト爲ストキハ此限ニ在ラス

第十七條 監督官廳ハ市行政ノ法律命令ニ背反セザルヤ其事務錯誤滯留セザルヤ否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ檢閲スル權ヲ有ス

第十八條 市ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ヲ定額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セシ又ハ實行セザルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシム可シ

市ニ於テ前項ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十九條 凡市會又ハ市參事會ニ於テ議決ス可キ事件ヲ議決セザルトキハ府縣參事會代テ之ヲ議決ス可シ

第二十條 內務大臣ハ市會ヲ解散セシムル

コトヲ得解散ヲ命シタル場合ニ於テハ同時ニ三箇月以内ニ議員ヲ改選ス可キコトヲ命ス可シ但改選市會ノ集會スル迄ハ府縣參事會市會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決ス

第二十一條 左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ內務大臣ノ許可ヲ受ケタルコトヲ要ス

一、市條例ヲ設ケ改正スル事

二、學藝、美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物品ノ賣却讓與買入書入交換若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

前項第一ノ場合ニ於テハ勅裁ヲ經テ之ヲ許可ス可シ

第二十二條 左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受ケタルコトヲ要ス

一、新ニ市ノ負擔ヲ起シ又ハ負擔額ヲ増加シ及第六條第二項ノ例ニ違フモノ但償還期限三年以内ノモノハ此限ニ在ラス

二、市特別稅並使用料、手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

三、地租七分ノ一其他直接國稅百分ノ五ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事

四、間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事

五、法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ補助スル歩合金ニ對シテ支出金額ヲ定ムル事

第二十三條 左ノ事件ニ關スル市會ノ議決ハ府縣參事會ノ許可ヲ受ケタルコトヲ要ス

一、市ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ改正

スル事  
 二、基本財産ノ處分ニ關スル事(第八十一條)  
 三、市有不動産ノ賣却譲與並買入書入ヲ爲ス事  
 四、各個人特ニ使用スル市有土地使用法ノ變更ヲ爲ス事(第八十六條)  
 五、各種ノ保證ヲ與フル事  
 六、法律勅令ニ依テ負擔スル義務ニ非スシテ向五箇年以上ニ亘リ新ニ市住民ニ負擔スル事  
 七、均一ノ税率ニ據ラシメテ國稅府縣稅ニ附加稅ヲ賦課スル事(第九十條第二項)  
 八、第九十九條ニ從ヒ數個人又ハ市内ノ一區ニ費用ヲ賦課スル事  
 九、第一條ノ準率ニ據ラシメテ夫役及現品ヲ賦課スル事  
 第一百二十四條 府縣知事ハ市長助役市參事會委員區長其他市吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其懲戒處分ハ懲責及過意金トシ其過意金ハ二十五圓以下トス  
 追テ市吏員ノ懲戒法ヲ設ケタル迄ハ左ノ區別ニ從ヒ官懲戒例ヲ適用ス可シ  
 一、市參事會ノ懲戒處分(第六十四條第二項)  
 二、府縣知事ノ懲戒處分(第六十條第二項)  
 三、本條第一項ニ掲載スル市吏員職務ニ違フコト再三及ヒ又ハ其情狀重キ者又ハ行政狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者、財産ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務ヲサスル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解クコトヲ得其職時解職スルコトヲ得可キ者ハ(第六十三條)懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス總テ解職セラレタル者ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲メ解職セラレタル場合ヲ除ク外退隱料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス  
 四、懲戒裁判ハ府縣知事其審問ヲ爲シ府縣參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 市長ノ解職ニ係ル裁決ハ上奏シテ之ヲ執行ス  
 監督官廳ハ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命ジ給料ヲ停止スルコトヲ得  
 第二百二十五條 市吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲メ市ニ對シテ懲責ス可キコトアルトキハ府縣參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但出訴ヲ爲シタルトキハ府縣參事會ハ假ニ其財産ヲ差押フルコトヲ得  
 第七章 附則  
 第二百二十六條 此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣指定スル地ニ之ヲ施行ス  
 第二百二十七條 府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間府縣參事會ノ職務ハ府縣知事ノ行政裁判所ノ職務ハ內閣ニ於テ之ヲ行フ可シ  
 第二百二十八條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付市參事會及市會ノ職務並市條例ヲ以テ定ム可キ事項ハ府縣知事又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可シ  
 第二百二十九條 社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及其地ノ習慣ニ從フ  
 第三百十條 此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ  
 第三百十一條 現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス  
 第三百十二條 明治九年十月第十號布告各區町村金穀公債共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告區町村編制法、明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス  
 第三百十三條 內務大臣ハ此法律實行ノ責任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ

○町村制 明治二十一年四月二日  
 第一章 總則  
 第一款 町村及其區域  
 第二款 町村住民及其權利義務  
 第三款 町村條例  
 第二章 町村會

第一款 組織及選舉  
 第二款 職務權限及處務規程  
 第三章 町村行政  
 第一款 町村吏員ノ組織選任  
 第二款 町村吏員ノ職務權限  
 第三款 給料及給與  
 第四章 町村有財產ノ管理  
 第一款 町村有財產及町村稅  
 第二款 町村ノ歲入出豫算及決算  
 第五章 町村內各部ノ行政  
 第六章 町村組合  
 第七章 町村行政ノ監督  
 第八章 附則  
 第一章 總則  
 第一款 町村及其區域  
 第二款 町村住民及其權利義務  
 第三款 町村條例  
 第二章 町村會

町村ノ實力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘス又ハ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラス町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シ  
 本條ノ處分ニ付町村ノ財產處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ議決ス可シ  
 第五條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ滲リ若クハ市ノ境界ニ滲ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 第六條 町村住民及其權利義務  
 凡町村住民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物並町村有財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但特ニ民法上ノ權利及義務ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス  
 第七條 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ以テ(一)町村ノ住民トナリ(二)其町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)其町村內ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接間接年額二圓以上ヲ納ムル者ハ其町村民トス其公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得  
 此法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一月ヲ滿ヘ且遺產ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

第八條 凡町村民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラレ、ノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ町村民ノ義務ナリトス左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得  
 一、疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者  
 二、營業ノ爲メニ町村內ニ居ルコトヲ得サル者  
 三、年滿六十歲以上ノ者  
 四、官職ノ爲メニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者  
 五、四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間町村民ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者  
 六、其他町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者  
 前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セザル者ハ町村會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其町村民タルノ權ヲ停止シ且同年間其負擔ス可キ町村費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得  
 前項町村會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 第九條 町村民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス町村民タル者身代限處分中又ハ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪罪ノ爲メ裁判上ノ罰則若クハ拘留中又ハ租稅滯

官制及府縣都市町村制 (町村制)

納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス  
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參  
與セサルモノトス  
町村民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在  
ル者本條ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ解タ  
可キモノトス

第十條 町村ノ事務及町村住民ノ權利義務ニ  
關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設ケル  
コトヲ許セル事項ハ各町村ニ於テ特ニ條例  
ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得  
町村民タル者ハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ  
關シ規則ヲ設ケルコトヲ得  
町村民タル者ハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ  
關シ規則ヲ設ケルコトヲ得  
町村民タル者ハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ  
關シ規則ヲ設ケルコトヲ得

第二章 町行會  
第一節 組織及選舉  
第十一條 町行會議員ハ其町村ノ選舉人其被  
選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員ハ其町  
村ノ人口ニ準シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム但  
町村民例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得  
一 人口千五百未満 議員八人  
一 人口千五百以上五千  
未滿ノ町村ニ於テハ 議員十二人  
一 人口五千以上一萬未  
滿ノ町村ニ於テハ 議員十八人  
一 人口一萬以上二萬未  
滿ノ町村ニ於テハ 議員二十四人  
一 人口二萬以上ノ 議員三十人  
第十二條 町村民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ

有ス但其公民權ヲ停止セラル、者(第八條  
第三項第九條第二項)及陸海軍ノ現役ニ服  
スル者ハ此限ニ在ラス  
凡內國人ニシテ公權ヲ有シ直接町村稅ヲ納  
ムル者其額町村公民ノ最多ク納稅スル者三  
名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件  
ニ當ラズト雖モ選舉權ヲ有ス但公民權ヲ停  
止セラル、者及陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ  
此限ニ在ラス  
法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ  
前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ  
第十三條 選舉人ハ分テ二級ト爲ス  
選舉人中直轄町村稅ノ納額多キ者ヲ合セテ  
選舉人全員ノ納稅額ノ半ニ當ル可キ者  
ヲ一級トシ餘額ノ選舉人ヲ二級トス  
一級ニ屬スル納稅額兩級ニ跨ル者アルトキ  
ハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅  
者二名以上アルトキハ其町村內ニ住居スル  
年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居  
年數ニ依リ難キトキハ年數ヲ以テ之ヲ定  
ム依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定  
ム可シ  
第十四條 選舉人毎級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被  
選舉人ハ同級內ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ  
選舉セラル、コトヲ得  
第十五條 特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ  
難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉  
ノ特別ノ規則ヲ設ケルコトヲ得  
第十六條 選舉權ヲ有スル町村公民(第十二  
條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス  
左ニ掲ケタル者ハ町行會議員タルコトヲ得ス  
一、所屬府縣郡ノ官吏

第十三條 選舉人ハ分テ二級ト爲ス  
選舉人中直轄町村稅ノ納額多キ者ヲ合セテ  
選舉人全員ノ納稅額ノ半ニ當ル可キ者  
ヲ一級トシ餘額ノ選舉人ヲ二級トス  
一級ニ屬スル納稅額兩級ニ跨ル者アルトキ  
ハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅  
者二名以上アルトキハ其町村內ニ住居スル  
年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居  
年數ニ依リ難キトキハ年數ヲ以テ之ヲ定  
ム依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定  
ム可シ  
第十四條 選舉人毎級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被  
選舉人ハ同級內ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ  
選舉セラル、コトヲ得  
第十五條 特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ  
難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉  
ノ特別ノ規則ヲ設ケルコトヲ得  
第十六條 選舉權ヲ有スル町村公民(第十二  
條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス  
左ニ掲ケタル者ハ町行會議員タルコトヲ得ス  
一、所屬府縣郡ノ官吏

二、有給ノ町吏員  
三、檢察官及警察官吏  
四、神官僧侶及其他諸宗教師  
五、小學校教員  
其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルト  
キハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ  
代官人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ  
其他ノ官廳ニ對シテ事務ヲ辦スルコトヲ得  
爲ス者ハ議員ニ選舉セラル、コトヲ得  
父子兄弟タルノ縁故アル者ハ同時ニ町村會  
議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタ  
ルトキハ投票ノ數ニ依テ其多キ者一人ヲ當  
選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其  
時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員  
タルコトヲ得ス  
町村民タル者ハ助役トノ間父子兄弟タルノ縁  
故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコト  
ヲ得ス若シ議員トノ間ニ其縁故アル者町村  
長若クハ助役ニ選舉セラレ認可ヲ受クルト  
キハ其縁故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ  
第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年ト  
シ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各  
級ノ議員二分ニ難キトキハ初回ニ於テ多數  
者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム  
第十七條 議員ハ再選セララル、コトヲ得  
第十八條 議員中議員アルトキハ每三年定期  
改選ノ時ニ至リ同時ニ補選舉行フ可シ  
若シ定員三分ノ一以上議員アルトキ又ハ町  
村會町村民タル者ハ定期前ト雖モ其補選舉  
行フ可シ

第十三條 選舉人ハ分テ二級ト爲ス  
選舉人中直轄町村稅ノ納額多キ者ヲ合セテ  
選舉人全員ノ納稅額ノ半ニ當ル可キ者  
ヲ一級トシ餘額ノ選舉人ヲ二級トス  
一級ニ屬スル納稅額兩級ニ跨ル者アルトキ  
ハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅  
者二名以上アルトキハ其町村內ニ住居スル  
年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居  
年數ニ依リ難キトキハ年數ヲ以テ之ヲ定  
ム依リ難キトキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定  
ム可シ  
第十四條 選舉人毎級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被  
選舉人ハ同級內ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ  
選舉セラル、コトヲ得  
第十五條 特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ  
難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉  
ノ特別ノ規則ヲ設ケルコトヲ得  
第十六條 選舉權ヲ有スル町村公民(第十二  
條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス  
左ニ掲ケタル者ハ町行會議員タルコトヲ得ス  
一、所屬府縣郡ノ官吏

官制及府縣都市町村制 (町村制)

補選議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモ  
ノトス  
定期改選及補選議員トモ前任者ノ選舉セラ  
レタル選舉等級ニ從テ之ヲ選舉ス行フ可シ  
第十八條 町村長ハ選舉行フ毎ニ其選舉前  
六十日ヲ限リ選舉原簿ヲ製シ各選舉人ノ資  
格ヲ記載シ此原簿ニ據リテ選舉人名簿ヲ製  
ス可シ  
選舉人名簿ハ七日間町村役場ニ於テ之ヲ開  
係者ノ鑑覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴  
願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之  
ヲ町長ニ申立テ可シ町長ハ町行會ノ裁  
決(第三十七條第一項)ニ依リ名簿ヲ修正ス  
可キトキハ選舉前十日ヲ限リ之ニ修正ヲ  
加ヘテ確定名簿トナシ之ニ登錄セラレサル  
者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス  
本條ニ依リ確定シタル名簿ハ當選ヲ辭シ若  
クハ選舉ノ無効トナリタル場合ニ於テ更ニ  
選舉ヲ爲ストキモ亦之ヲ適用ス

第十九條 選舉執行スルトキハ町長ハ選  
舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數  
ヲ各級ニ分チ選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告  
ス可シ  
各級ニ於テ選舉行フノ順序ハ先ツ二級ノ  
選舉行ヒ次ニ一級ノ選舉行フ可シ  
第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町長ニ於テ  
臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任  
シ町長若クハ其代理者ハ其係長トナリ選  
舉會ヲ閉閉シ其會場ノ取締ニ任ス  
第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タ

第二十條 選舉執行スルトキハ町長ハ選  
舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數  
ヲ各級ニ分チ選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告  
ス可シ  
各級ニ於テ選舉行フノ順序ハ先ツ二級ノ  
選舉行ヒ次ニ一級ノ選舉行フ可シ  
第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町長ニ於テ  
臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任  
シ町長若クハ其代理者ハ其係長トナリ選  
舉會ヲ閉閉シ其會場ノ取締ニ任ス  
第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タ

第二十條 選舉執行スルトキハ町長ハ選  
舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數  
ヲ各級ニ分チ選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告  
ス可シ  
各級ニ於テ選舉行フノ順序ハ先ツ二級ノ  
選舉行ヒ次ニ一級ノ選舉行フ可シ  
第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町長ニ於テ  
臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任  
シ町長若クハ其代理者ハ其係長トナリ選  
舉會ヲ閉閉シ其會場ノ取締ニ任ス  
第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タ

第二十條 選舉執行スルトキハ町長ハ選  
舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數  
ヲ各級ニ分チ選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告  
ス可シ  
各級ニ於テ選舉行フノ順序ハ先ツ二級ノ  
選舉行ヒ次ニ一級ノ選舉行フ可シ  
第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町長ニ於テ  
臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任  
シ町長若クハ其代理者ハ其係長トナリ選  
舉會ヲ閉閉シ其會場ノ取締ニ任ス  
第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タ

第二十條 選舉執行スルトキハ町長ハ選  
舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數  
ヲ各級ニ分チ選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告  
ス可シ  
各級ニ於テ選舉行フノ順序ハ先ツ二級ノ  
選舉行ヒ次ニ一級ノ選舉行フ可シ  
第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町長ニ於テ  
臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任  
シ町長若クハ其代理者ハ其係長トナリ選  
舉會ヲ閉閉シ其會場ノ取締ニ任ス  
第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タ



ニ至ル迄之ヲ保存ス可シ  
 第二十八條 選舉ヲ終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ  
 一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内何レノ選舉ニ應ス可キコトヲ申立ツ可シ其期限内ニ之ヲ申立テザル者ハ總テ其選舉ヲ辭スル者トナシ第八條ノ處分ヲ爲ス可シ  
 第二十九條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得(第三十七條第一項)  
 町村長ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス郡長ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得  
 選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人中其資格ノ要件ヲ有セザル者アルトキハ其人ノ當選ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシム可シ  
 第三十條 當選者中其資格ノ要件ヲ有セザル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ町村會之ヲ議決ス  
 第三十一條 小町村ニ於テハ郡長ニ選舉ノ議決ヲ經町村會ノ規定ニ依リ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得  
 第二款 職務權限及處務規程  
 第三十二條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前特ニ委任セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ委任セラレル事件ヲ議決スルモノトス  
 第三十三條 町村會ノ議決ス可キ事件ノ概目左ノ如シ  
 一、町村條例及規則ヲ設ケ並改正スル事  
 二、町村費ヲ以テ支拂ス可キ事業但第六十九條ニ掲ケル事務ハ此限ニ在ラス  
 三、歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事  
 四、決算報告ヲ認定スル事  
 五、法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料ノ手数料町村税及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事  
 六、町村有不動產ノ賣買交換讓渡並賃入書入ヲ爲ス事  
 七、基本財産ノ處分ニ關スル事  
 八、歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事  
 九、町村有ノ財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事  
 十、町村吏員ノ身元保證金ヲ徵シ並其金額ヲ定ムル事  
 十一、町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事  
 第三十四條 町村會ハ法律勅令ニ依リ其職權ニ關スル町村吏員ノ選舉ヲ行フ可シ  
 第三十五條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ監査スルノ職權ヲ有ス  
 町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ差出スコトヲ得  
 第三十六條 町村會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス可シ  
 第三十七條 町村住民及公民タル權利ノ有無、選舉權及被選舉權ノ有無、選舉人名簿ノ正否並其等級ノ當否、代理ヲ以テ執行スル選舉權(第十二條第二項)及町村會議員選舉ノ效力(第二十九條)ニ關スル訴願ハ町村會之ヲ裁決ス  
 前項ノ訴願中町村住民及公民タル權利ノ有無並選舉權ノ有無ニ關スルモノハ町村會ノ設ケナキ町村ニ於テハ町村長之ヲ裁決ス  
 町村會若クハ町村長ノ裁決ニ不服アル者ハ郡長ニ於テ之ヲ裁決ス其郡長ニ裁決不服アル者ハ府縣參事會ニ裁決不服アル者ハ府縣參事會ニ裁決不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 本條ノ事件ニ付テハ町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得  
 本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ス但判決確定スルニ非サレハ更ニ選舉ヲ爲スコトヲ得ス  
 第三十八條 凡議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受テ可ラサルモノトス  
 第三十九條 町村會ハ町村長ヲ以テ其議長トス若シ町村長故障アルトキハ其代理タル町村助役ヲ以テ之ニ充ツ

第四十條 會議ノ事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事アルトキハ議長ニ故障アルモノトシテ其代理者ニ之ニ代ル可シ  
 議長代理者共ニ故障アルトキハ町村會八年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲ス可シ  
 第四十一條 町村長及助役ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辨明スルコトヲ得  
 第四十二條 町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ議長之ヲ召集ス若シ議長四分ノ一以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ召集ス可シ其召集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急務ヲ要スル場合ヲ除クノ外少クモ開會ノ三日前タル可シ但町村會ノ議決ヲ以テ豫メ會議日ヲ定ムルモ妨ケナシ  
 第四十三條 町村會ハ議員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得但同一ノ議事ニ付召集再同ニ至ルモ議員猶三分ノ二ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス  
 第四十四條 町村會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ再議議決ス可シ若シ猶同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル  
 第四十五條 議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ町村會ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス  
 議員ノ數此除名ノ爲メニ減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサルトキハ郡長ニ町村會ニ代テ議決ス  
 第四十六條 町村會ニ於テ町村吏員ノ選舉ヲ行フトキハ其一名毎ニ匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル者ナキトキハ最多數ヲ得ル者二名ヲ取り之ニ就テ更ニ投票セシム若シ最多數ヲ得ル者三名以上同數ナルトキハ議長自ラ抽籤シテ其二名ヲ取り更ニ投票セシム此再投票ニ於テモ過半數ヲ得ル者ナキトキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其他ハ之ヲ適用ス  
 第二十二條 第二十三條、第二十四條第一項ヲ適用ス  
 前項ノ選舉ニハ町村會ノ議決ヲ以テ指名推薦ノ法ヲ用フルコトヲ得  
 第四十七條 町村會ハ公開ス但議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得  
 第四十八條 議長ハ各議員ニ事務ヲ分課シ會議及選舉ノ事ヲ總理シ開會閉會並延會ヲ命ジ議場ノ秩序ヲ保持ス若シ傍聽者ノ公然贊成又ハ擯斥ヲ表シ又ハ喧擾ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得  
 第四十九條 町村會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及選舉ノ額未並出席議員ノ氏名ヲ記録セシム可シ議事録ハ會議ノ末之ヲ朗讀シ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ  
 町村會ノ書記ハ議長之ヲ選任ス  
 第五十條 町村會ハ其會議規則ヲ設ク可シ其規則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過意金二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得  
 第五十一條 第三十二條ヨリ第四十九條ニ至ルノ規定ハ之ヲ町村總會ニ適用ス  
 第三章 町村行政  
 第一款 町村吏員ノ組織選任  
 第五十二條 町村ニ町村長及町村助役各一名ヲ置ク可シ但町村條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ增加スルコトヲ得  
 第五十三條 町村長及助役ハ町村會ニ於テ其町村民中年齡滿三十歲以上ニシテ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス  
 町村長及助役ハ第十五條第二項ニ掲載スル職ヲ兼スルコトヲ得ス  
 父子兄弟タルノ縁故アル者ハ同時ニ町村長及助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス若シ其縁故アル者助役ノ選舉ニ當ルトキハ其當選ヲ取消シ其町村長ノ選舉ニ當リテ認可ヲ得ルトキハ其縁故アル助役ハ其職ヲ退ク可シ  
 第五十四條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス町村長及助役ノ選舉ハ第四十六條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス郡長ニ之ヲ決ス可シ  
 第五十五條 町村長及助役ハ名譽職トス但第五十六條ノ有給町村長及有給助役ハ此限ニ在ラス  
 町村長ハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費並外勤務ニ相當スル報酬ヲ受クルコトヲ得助役ニシテ行政事務ノ一部ヲ分掌スル場合(第七十條第二項)ニ於テモ亦同シ  
 第五十六條 町村ノ情況ニ依リ町村條例ノ規定ヲ以テ町村長ニ給料ヲ給スルコトヲ得又大ナル町村ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ助役一名ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得  
 有給町村長及有給助役ハ其町村民タル者

官制及府縣都市町村制 (町村制)

二限ラス但當選ニ應シ認可ヲ得ルトキハ其  
公民タルノ權ヲ得  
第五十七條 有給町村長及有給助役ハ三箇月  
前ニ中立フルトキハ隨時退職ヲ求ムルコト  
ヲ得此場合ニ於テハ退職料ヲ受クルノ權ヲ  
失フモノトス  
第五十八條 有給町村長及有給助役ハ他ノ有  
給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ社長及重  
役トナルコトヲ得又ハ他ノ營業ハ郡長ノ認  
許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス  
第五十九條 町村長及助役ノ選舉ハ府縣知事  
ノ認可ヲ受ク可シ  
第六十條 府縣知事前條ノ認可ヲ與ヘサル  
トキハ府縣參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス  
若シ府縣參事會同意セサルモ猶府縣知事ニ  
於テ認可ス可カラスト爲ストキハ自己ノ責  
任ヲ以テ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得  
府縣知事ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會  
ニ於テ不服アルトキハ內務大臣ニ具申シテ  
認可ヲ請フコトヲ得  
第六十一條 町村長及助役ノ選舉其認可ヲ得  
サルトキハ再選舉ヲ爲ス可シ  
再選舉ニシテ猶其認可ヲ得サルトキハ道  
選舉ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルノ間認可ノ權  
アル監督官廳ハ臨時ニ代理者ヲ選任シ又ハ  
町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ町村長及助役ノ  
職務ヲ管掌セシム可シ  
第六十二條 町村ニ收入役一名ヲ置ク收入役  
ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任ス

收入役ハ有給吏員ト爲シ其任期ハ四年トス  
收入役ハ町村長及助役ヲ兼ヌルコトヲ得ス  
其他第五十六條第二項 第五十七條及第七  
十六條ヲ適用ス  
收入役ノ選任ハ郡長ノ認可ヲ受ク可シ若シ  
認可ヲ與ヘサルトキハ郡參事會ノ意見ヲ聞  
クコトヲ要ス郡參事會之ニ同意セサルモ猶  
郡長ニ於テ認可ス可カラスト爲ストキハ自  
己ノ責任ヲ以テ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ  
得其他第六十一條ヲ適用ス  
郡長ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於  
テ不服アルトキハ府縣知事ニ具申シテ認可  
ヲ請フコトヲ得  
收入支出ノ寡少ナル町村ニ於テハ郡長ノ許  
可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事  
務ヲ兼掌セシムルコトヲ得  
第六十三條 町村ニ書記其他必要ノ附屬員  
使丁ヲ置キ相當ノ給料ヲ給ス其人ハ町村  
會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム但町村長ニ相當ノ  
書記料ヲ給與シテ書記ノ事務ヲ委任スルコ  
トヲ得  
町村附屬員ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之  
ヲ選任シ使丁ハ町村長之ヲ任用ス  
第六十四條 町村ノ區域廣闊ナルトキ又ハ人  
口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ町村會ノ  
議決ニ依リ之ヲ數區ニ分チ每區區長及其代  
理者各一名ヲ置クコトヲ得區長及其代理者  
ハ名譽職トス  
區長及其代理者ハ町村會ニ於テ其町村ノ公  
民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス區

官制及府縣都市町村制 (町村制)

テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行  
政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
二、町村ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理スル事  
若シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務  
ヲ監督スル事  
三、町村ノ議入ヲ管理シ議入出豫算表其他  
町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支  
出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事  
四、町村ノ權利ヲ保護シ町村有ノ財産ヲ管  
理スル事  
五、町村吏員及使丁ヲ監督シ懲戒處分ヲ行  
フ事其懲戒處分ハ罰金及五圓以下ノ過  
怠金トス  
六、町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事  
七、外部ニ對シテ町村ヲ代表シ町村ノ名義  
ヲ以テ其訴訟並和解ニ關シ又ハ他處若  
クハ人民ト商議スル事  
八、法律勅令ニ依リ又ハ町村會ノ議決ニ從  
テ使用料、手数料、町村税及夫役現品ヲ賦  
課徵收スル事  
九、其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ町  
村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事  
第六十九條 町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事  
務ヲ管掌ス  
一、司法警察補助官タルノ職務及法律命令  
ニ依テ其管理ニ關スル地方警察ノ事務  
但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管  
掌セシムルトキハ此限ニ在ラス  
二、浦役場ノ事務  
三、國ノ行政府縣郡ノ行政ニシテ町村ニ

關スル事務但別ニ吏員ノ設ケアルトキ  
ハ此限ニ在ラス  
右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之  
ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得  
本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メ必要  
スル費用ハ町村ノ負擔トス  
第七十條 町村助役ハ町村長ノ事務ヲ補助  
ス  
町村長ハ町村會ノ同意ヲ得テ助役ヲシテ町  
村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得  
助役ハ町村長故離アルトキ之ヲ代理ス助役  
數名アルトキハ上層者之ヲ代理ス可シ  
第七十一條 町村收入役ハ町村ノ收入ヲ受領  
シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ル  
第七十二條 書記ハ町村長ニ屬シ庶務ヲ分掌  
ス  
第七十三條 區長及其代理者ハ町村長ノ機關  
トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區内ニ關スル町  
村長ノ事務ヲ補助執行スルモノトス  
第七十四條 委員(第六十五條)ハ町村行政事  
務ノ一部ヲ分掌シ又ハ營造物ヲ管理シ若ク  
ハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨  
スルモノトス  
委員長ハ委員ノ議決ニ加ハルノ權ヲ有ス助  
役ヲ以テ委員長ト爲ス場合ニ於テモ町村長  
ハ臨時委員會ニ出席シテ其委員長ト爲リ並  
其議決ニ加ハルノ權ヲ有ス  
常設委員ノ職務權限ニ關シテハ町村條例ヲ  
以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得  
第三款 給料及給與

第七十五條 名譽員ハ此法律中別ニ規定ア  
ルモノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メ必要スル  
實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得  
實費辨償額、報酬額及書記料ノ額(第六十三  
條第一項)ハ町村會之ヲ議決ス  
第七十六條 有給町村長有給助役其他有給吏  
員及使丁ノ給料額ハ町村會ノ議決ヲ以テ之  
ヲ定ム  
町村會ノ議決ヲ以テ町村長及助役ノ給料額  
ヲ定ムルトキハ郡長ノ許可ヲ受クルコトヲ  
要ス郡長ニ於テ之ヲ許可ス可カラスト認ム  
ルトキハ郡參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定  
ス  
第七十七條 町村條例ノ規定ヲ以テ有給吏員  
ノ退職料ヲ設ケルコトヲ得  
第七十八條 有給吏員ノ給料、退職料其他第  
七十五條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルト  
キハ關係者ノ申立ニ依リ郡參事會之ヲ裁決  
ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參  
事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服ア  
ル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
第七十九條 退職料ヲ受クル者官職又ハ府縣  
郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受  
クルトキハ其間之ヲ停止シ又ハ更ニ退職料  
ヲ受クルノ權ヲ得ルトキ其積蓄退職料ト同  
額以上ナルトキハ舊退職料ハ之ヲ廢止ス  
第八十條 給料、退職料、報酬及辨償等ハ總  
テ町村ノ負擔トス  
第四章 町村有財產ノ管理  
第一款 町村有財產及町村税

第八十一條 町村ハ其不動産、積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ

臨時ニ收入シタル金穀ハ基本財産ニ加入ス可シ但寄附金等寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

第八十二條 凡町村有財産ハ全町村ノ爲メニ之ヲ管理シ及共用スルモノトス但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

第八十三條 舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ町村會ノ議決ヲ經ルニ非サルハ其舊慣ヲ改ムルコトヲ得ス

第八十四條 町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ町村會ノ議決ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十五條 使用權ヲ有スル者(第八十三條第八十四條)ハ使用ノ多寡ニ準シテ其土地物件ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔ス可キモノトス

第八十六條 町村會ハ町村ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權(第八十三條、第八十四條)ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

第八十七條 町村有財産ノ賣却與又ハ建築

第八十八條 町村ハ其所有物及營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付使用料又ハ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十條 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得可キ目左ノ如シ

一、國稅府稅ノ附加稅

二、直接又ハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トシ特別稅ハ附加稅ノ外別ニ町村限リ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

第九十一條 此法律ニ規定セル條項ヲ除クノ外使用料、手数料(第八十九條)特別稅(第九十條第一項第二)及從前ノ町村費ニ關スル細則ハ町村會ヲ以テ之ヲ規定ス可シ其條

例ニハ料一圓九十五錢以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ町村長之ヲ掌ル其處分ニ不服アル者ハ令狀交付後十四日以内ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十二條 三箇月以上町村內ニ滞在スル者ハ其町村稅ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ滞在ノ初ニ週リ徵收ス可シ

第九十三條 町村內ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖モ町村內ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ爲ス者(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ハ其土地家屋營業若クハ其所得ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

第九十四條 所得稅ニ附加稅ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セントスルトキハ納稅者ノ町村外ニ於ケル所有ノ土地家屋又ハ營業(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除ス可キモノトス

第九十五條 數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ前條ノ町村稅ヲ賦課スルトキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其一部分ニノ課稅ス可シ但土地家屋又ハ營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニ在ラス

第九十六條 所得稅法第三條ニ掲グル所得ハ町村稅ヲ免除ス

第九十七條 左ニ掲グル物件ハ町村稅ヲ免除ス

一、政府、府縣都市町村及公共組合ニ屬シ直

接ノ公用ニ供スル土地、營造物及家屋

二、社寺及官立公立ノ學校病院其他學藝、美術及慈善ノ用ニ供スル土地、營造物及家屋

三、官有ノ山林又ハ荒蕪地但官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費用ヲ徵收スルハ此限ニ在ラス

新開地及開墾地ハ町村會例ニ依リ年月ヲ限リ免稅スルコトヲ得

第九十八條 前二條ノ外町村稅ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從テ皇族ニ係ル町村稅ノ賦課ハ道ヲ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現今ノ例ニ依ル

第九十九條 數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ

町村内ノ一部ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其部內ニ住居シ若クハ滞在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヲ爲ス者ニ於テ其修築及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一部ノ所有財産アルトキハ其收入ヲ以テ先ツ其費用ニ充ツ可シ

第一百條 町村稅ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタル月ノ終迄月割ヲ以テ之ヲ徵收ス可シ

會計年度中ニ於テ納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ町村長ニ届出ツ可シ其届出ヲ爲シタル月ノ終迄ハ從前ノ稅ヲ徵收スルコトヲ得

第一百一條 町村公共ノ事業ヲ起シ又ハ公共ノ安寧ヲ維持スルカ爲メニ夫役及現品ヲ以テ納稅者ニ賦課スルコトヲ得但學藝、美術及手工ニ關スル勞務課稅スルコトヲ得

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外直接町村稅ノ標準ト爲シ且ツ之ヲ金額ニ算出シテ賦課ス可シ

夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又急迫ノ場合ヲ除クノ外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第一百二條 町村ニ於テ徵收スル使用料、手数料(第八十九條)町村稅(第九十條)夫役ニ代フル金額(第九十條)共有物使用料及加入金(第八十四條)其他町村ノ收入ヲ定期內ニ納メサルトキハ町村長ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收ス可シ其督促ヲ爲スニハ町村會例ノ規定ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

納稅者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度內ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ得其年度ヲ越セル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵、期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規則ヲ適用ス

第一百三條 地租ノ附加稅ハ地租ノ納稅者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル町村稅ハ其所有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

第一百四條 町村稅ノ賦課ニ對スル訴訟ハ賦課

令狀ノ交付後三箇月以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ此期限ヲ經過スルトキハ其年度內減稅免稅及償還ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノトス

第一百五條 町村稅ノ賦課及町村ノ營造物、町村有ノ財産並其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴訟ハ町村長之ヲ裁決ス但民法上ノ權利ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第一百六條 町村ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災時變等已ムラ得サル支出若クハ町村永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ增加スルトキハ其町村住民ノ負擔ニ堪ヘザルノ場合ニ限ルモノトス

町村會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ム可シ償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々償還ノ歩合ヲ定メ募集ノ時ヨリ三十年以内ニ還了ス可シ

定額豫算內ノ支出ヲ爲スカ爲メ必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其年度內ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノトス

第二款 町村ノ議入出豫算及決算

第一百七條 町村長ハ每會計年度收入支出ノ豫

知事得可キ金額ヲ見積リ年度前二箇月ヲ限  
リ議入出豫算表ヲ調製ス可シ但町村ノ會計  
年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ  
内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ方式ヲ定  
ムルコトヲ得

第百八條 豫算表ハ會計年度前町村會ノ議決  
ヲ取リ之ヲ部長ニ報告シ並地方慣行ノ方式  
ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ  
豫算表ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ  
併せて其町村事務報告書及財産明細表ヲ提  
出ス可シ

第百九條 定額豫算外ノ費用又ハ豫算ノ不足  
アルトキハ町村會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出ス  
ルコトヲ得

定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ  
豫備費ヲ置キ町村長ハ豫メ町村會ノ認定ヲ  
受ケシテ豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費  
用ニ充ツルコトヲ得但町村會ノ否決シタル  
費途ニ充ツルコトヲ得ス

第百十條 町村會ニ於テ豫算表ヲ議決シタル  
トキハ町村長ヨリ其騰高ヲ以テ之ヲ收入役  
ニ交付ス可シ其豫算表中監督官廳若クハ參  
事會ノ許可ヲ受ケ可キ事項アルトキハ(第  
百二十五條ヨリ)第百二十七條ニ至ル)先  
シ其許可ヲ受ケ可シ

收入役ハ町村長(第六十八條第二項第三)又  
ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂フ爲  
スコトヲ得又收入役ハ町村長ノ命令ヲ受  
タルモ其支出豫算表中ニ豫定ナキカ又ハ其  
命令第百九條ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂  
フ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ  
責任ニ歸ス

第百十一條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ  
検査シ及毎年少クモ一回臨時検査ヲ爲スコ  
シ例月検査ハ町村長又ハ其代理者之ヲ爲シ  
臨時検査ハ町村長又ハ其代理者ノ外町村會  
ノ互選シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第百十二條 決算ハ會計年度ノ終ヨリ三箇月  
以內ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併せて收入役ヨ  
リ之ヲ町村長ニ提出シ町村長ハ之ヲ審査シ  
意見ヲ附シテ之ヲ町村會ノ認定ニ付ス可シ  
第六十二條第六項ノ場合ニ於テハ前例ニ依  
リ町村長ヨリ直ニ之ヲ町村會ニ提出ス可シ  
其町村會ノ認定ヲ經タルトキハ町村長ハ之  
ヲ部長ニ報告ス可シ

第百十三條 決算報告ヲ爲ストキハ第四十條  
ノ例ニ準シテ議長代理者共ニ故障アルモ  
トス

第五章 町村内各部ノ行政

第百十四條 町村内ノ區(第六十四條)又ハ町  
村内ノ一部若クハ合併町村(第四條)ニシテ  
別ニ其區域ヲ存シテ一區ヲ爲スモノ特別ニ  
財産ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其一區限  
リ特ニ其費用(第九十九條)ヲ負擔スルトキ  
ハ郡參事會ハ其町村會ノ意見ヲ聞キ條例ヲ  
發行シ財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區  
會又ハ區總會ヲ設ケルコトヲ得其會議ハ町  
村會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

第百十五條 前條ニ記載スル事務ハ町村ノ行  
政ニ關スル規則ニ依リ町村長之ヲ管理ス可  
シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別ス可  
シ

第六章 町村組合

第百十六條 數町村ノ事務ヲ共同處分スル爲  
メ其協議ニ依リ監督官廳ノ許可ヲ得テ其町  
村ノ組合ヲ設ケルコトヲ得

法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪フ可キ實力ヲ  
有セサル町村ニシテ他ノ町村ト合併(第四  
條)スルノ協議ハ又ハ其事情ニ依リ合  
併ヲ不便ト爲ストキハ郡參事會ノ議決ヲ以  
テ數町村ノ組合ヲ設ケシムルコトヲ得

第百十七條 町村組合ヲ設ケタルノ協議ヲ爲ス  
トキハ(第六十六條第一項)組合會議ノ組  
織、事務ノ管理方法並其費用ノ支辨方法ヲ  
併せて規定ス可シ

前條第二項ノ場合ニ於テハ其關係町村ノ協  
議ヲ以テ組合費用ノ分擔等其必要ノ事  
項ヲ規定ス可シ若シ其協議ハサルトキハ  
郡參事會ニ於テ之ヲ定ム可シ

第百十八條 町村組合ハ監督官廳ノ許可ヲ得  
ルニ非サレハ之ヲ解散コトヲ得ス

第七章 町村行政ノ監督

第百十九條 町村ノ行政ハ第一次ニ於テ郡長  
之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督  
シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス但法律  
ニ指定シタル場合ニ於テ郡參事會及府縣參  
事會ノ參與スルハ別段ナリトス

第百二十條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ  
除ク外凡町村ノ行政ニ關スル郡長若クハ

郡參事會ノ處分若クハ裁決ニ不服アル者ハ  
府縣知事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣  
知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者  
ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

町村ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書若クハ裁  
決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十  
四日以內ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出ス可シ  
但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ  
在ラス

此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若  
クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁  
判所ニ出訴セントスル者ハ裁決書ヲ交付シ  
又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以內ニ  
出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合  
ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決  
ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アリ又  
ハ當該官廳ノ意見ニ依リ其停止ノ爲メニ町  
村ノ公益ニ害アリト爲ストキハ此限ニ在ラ  
ス

第百二十一條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命  
令ニ背キセサルヤ其事務糾亂遊離セサルヤ  
否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メニ行政  
事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等  
ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事務ノ現況  
ヲ觀察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第百二十二條 町村又ハ其組合ニ於テ法律勅  
令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ  
命令スル所ノ支出ヲ定額豫算ニ載セス又ハ

臨時之ヲ承認セス又ハ實行セサルトキハ郡  
長ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算表ニ  
加ヘ又ハ臨時支出セシム可シ

町村又ハ其組合ニ於テ前項ノ處分ニ不服アル  
トキハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會  
ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴  
スルコトヲ得

第百二十三條 凡町村會ニ於テ議決ス可キ事  
件ヲ議決セサルトキハ郡參事會代テ之ヲ議  
決ス可シ

第百二十四條 内務大臣ハ町村會ヲ解散セシ  
ムルコトヲ得解散ヲ命シタル場合ニ於テハ  
同時ニ三箇月以內更ニ議員ヲ改選ス可キコ  
トヲ命ス可シ但改選町村會ノ集會スル迄ハ  
郡參事會町村會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決ス

第百二十五條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議  
決ハ内務大臣ノ許可ヲ受タルコトヲ要ス

一、町村條例ヲ設ケ並改正スル事  
二、學藝、美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物  
品ノ賣却、讓與、買入、交換若クハ大ナ  
ル變更ヲ爲ス事  
三、前項第一ノ場合ニ於テ人口一萬以上ノ町村  
ニ係ルトキハ勸業ヲ經テ之ヲ許可ス可シ

第百二十六條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議  
決ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受タルコ  
トヲ要ス

一、新ニ町村ノ負擔ヲ起シ又ハ負擔額ヲ増  
加シ及第百六條第二項ノ例ニ違フモノ但  
償還期限三年以內ノモノハ此限ニ在ラス  
二、町村特別稅並使用料、手数料ヲ新設シ増

額シ又ハ變更スル事  
三、地租七分ノ一其他直接國稅百分ノ五十  
ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事  
四、間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事  
五、法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ補助ス  
ル歩合金ニ對シテ支出金額ヲ定ムル事  
第百二十七條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議  
決ハ郡參事會ノ許可ヲ受タルコトヲ要ス

一、町村ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ並改  
正スル事  
二、基本財産ノ處分ニ關スル事(第八十一  
條)  
三、町村有不動產ノ賣却、讓與、買入書入ヲ  
爲ス事  
四、各個人特ニ使用スル町村有土地使用法  
ノ變更ヲ爲ス事(第八十六條)  
五、各種ノ保證ヲ與フル事  
六、法律勅令ニ依テ負擔スル義務ニ非スシ  
テ向五箇年以上ニ互リ新ニ町村住民ニ  
負擔ヲ課スル事  
七、均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ニ  
附加稅ヲ賦課スル事(第九十條第二項)  
八、第九十九條ニ從ヒ數個人又ハ町村內ノ  
一部ニ費用ヲ賦課スル事  
九、第百一條ノ標準ニ據ラスシテ夫役及現  
品ヲ賦課スル事

第百二十八條 府縣知事郡長ハ町村長、助役、  
委員、區長其他町村吏員ニ對シテ懲戒處分ヲ  
行フコトヲ得其懲戒處分ハ懲費及過怠金ト  
ス郡長ノ處分ニ係ル過怠金ハ十圓以下府縣

知事ノ處分ニ係ルモノハ二十五圓以下トス  
 道ヲ町村吏員ノ懲戒法ヲ設クル迄ハ左ノ區別ニ從ヒ官吏懲戒例ヲ適用ス可シ  
 一、町村長ノ懲戒處分(第六十八條第二項第五)ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 二、郡長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ懲戒處分及其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 三、本條第一項ニ掲載スル町村吏員職務ニ違フコト再三及ヒ又ハ其情狀重キ者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者、財産ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務ヲサトル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職務ヲ解トコトヲ得其時解職スルコトヲ得可キ者ハ(第六十七條)懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス  
 總テ解職セラレタル者ハ自己ノ所爲ニ非シテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲メ解職セラレタル場合ヲ除ク外懲戒料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス  
 四、懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 監督官廳ハ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命ジ給料ヲ停止スルコトヲ得

第百二十九條 町村吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲メ町村ニ對シテ賠償ス可キコトアルトキハ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以内ニ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但訴願ヲ爲シタルトキハ郡參事會ハ假ニ其財産ヲ差押フルコトヲ得  
 第八章 附則  
 第百三十條 郡參事會、府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間郡參事會ノ職務ハ郡長府縣參事會ノ職務ハ府縣知事ノ行政裁判所ノ職務ハ内閣ニ於テ之ヲ行フ可シ  
 第百三十一條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付町村長及町村會ノ職務並町村條例ヲ以テ定ム可キ事項ハ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可シ  
 第百三十二條 此法律ハ北海道、沖繩縣其他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム  
 第百三十三條 前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律中ノ條規ヲ中止スルコトアル可シ  
 第百三十四條 社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及其地ノ習慣ニ從フ  
 第百三十五條 此法律中ニ記載セル人口ハ最

終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ  
 第百三十六條 現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス  
 第百三十七條 此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ斟酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ內務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シ  
 第百三十八條 明治九年十月第百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第六條及第九條但書、明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス  
 第百三十九條 內務大臣ハ此法律實行ノ責任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ  
 ○市制中特例  
 一、東京市京都市大阪市ニ於テハ市長及助役ヲ置カス市長ノ職務ハ府知事之ヲ行ヒ助役ノ職務ハ書記官之ヲ行フ  
 一、東京市京都市大阪市ノ市參事會ハ府知事書記官及名譽參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス  
 一、東京市京都市大阪市ニ於テハ收入役書記其他ノ附屬員ヲ置カス府廳ノ官吏其職務ヲ行

一、東京市京都市大阪市ニ於テハ從來ノ區ヲ存シ每區ニ區長一名及書記ヲ置キ有給吏員ト爲シ市參事會之ヲ選任ス但書記ノ人員ハ市會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム  
 一、東京市京都市大阪市ニ於テハ區長代理者ヲ置カス區長事故アルトキハ上席書記之ヲ代理ス  
 一、東京市京都市大阪市ニ於テハ府知事ハ區長ヲシテ其區内ニ關スル國ノ行政及府ノ行政並收入役ノ事務ヲ補助執行セシムルコトヲ得  
 一、東京市京都市大阪市ニ於テ區ノ廢置分合ヲ要スルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
 一、東京市京都市大阪市ニ於テハ區ヲ以テ市會議員選舉區ト爲ス

○府縣制郡制施行地

- 愛知縣 山梨縣 長野縣 宮城縣
  - 青森縣 山形縣 秋田縣 福井縣
  - 石川縣 德島縣 高知縣 大分縣
- 市制施行地  
 東京府管下 東京 京都府管下 京都  
 大阪府管下 大阪 神奈川縣管下 横浜  
 兵庫縣管下 神戶 長崎縣管下 長崎  
 新潟縣管下 新潟 群馬縣管下 前橋  
 茨城縣管下 水戸 三重縣管下 津

官制及府縣郡市町村制

愛知縣管下 名古屋 靜岡縣管下 靜岡  
 山梨縣管下 甲府 岐阜縣管下 岐阜  
 宮城縣管下 仙臺 澁手縣管下 盛岡  
 青森縣管下 弘前 山形縣管下 山形  
 秋田縣管下 秋田 福井縣管下 福井  
 石川縣管下 金澤 富山縣管下 富山  
 鳥取縣管下 鳥取 島根縣管下 松江  
 岡山縣管下 岡山 廣島縣管下 廣島  
 山口縣管下 赤間關 和歌山縣管下 和歌山  
 德島縣管下 德島 香川縣管下 高松  
 愛媛縣管下 松山 高知縣管下 高知  
 福岡縣管下 福岡 佐賀縣管下 佐賀  
 熊本縣管下 熊本 鹿兒島縣管下 鹿兒島  
 東京府管下 小笠原島 伊豆七島  
 長崎縣管下 對馬國 隱岐國  
 鹿兒島縣管下 大隅國大島郡 喜界島 沖永良部島  
 大島 德ノ島 與論島  
 薩摩國川邊郡 硫黃島 黑島 竹島 口之島 臥蛇島  
 平島 中之島 垂石島 諏訪ノ瀨島 寶島

○町村制不施行島嶼

- 愛知縣管下 名古屋 靜岡縣管下 靜岡
- 山梨縣管下 甲府 岐阜縣管下 岐阜
- 宮城縣管下 仙臺 澁手縣管下 盛岡
- 青森縣管下 弘前 山形縣管下 山形
- 秋田縣管下 秋田 福井縣管下 福井
- 石川縣管下 金澤 富山縣管下 富山
- 鳥取縣管下 鳥取 島根縣管下 松江
- 岡山縣管下 岡山 廣島縣管下 廣島
- 山口縣管下 赤間關 和歌山縣管下 和歌山
- 德島縣管下 德島 香川縣管下 高松
- 愛媛縣管下 松山 高知縣管下 高知
- 福岡縣管下 福岡 佐賀縣管下 佐賀
- 熊本縣管下 熊本 鹿兒島縣管下 鹿兒島
- 東京府管下 小笠原島 伊豆七島
- 長崎縣管下 對馬國 隱岐國
- 鹿兒島縣管下 大隅國大島郡 喜界島 沖永良部島
- 大島 德ノ島 與論島
- 薩摩國川邊郡 硫黃島 黑島 竹島 口之島 臥蛇島
- 平島 中之島 垂石島 諏訪ノ瀨島 寶島

○官職等級俸給制

○高等官等俸給令 昭和二十五年十一月十日(抄)

一親任式ヲ以テ敘任スル官ヲ除ク外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ敘任スル官及一等官ニ等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任官トス  
 一高等官等ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本令中ノ文武高等官等表ニ依ル  
 官制上他ノ官ニ在ル者ヲ以テ兼任セシメ又ハ之ニ充ツルノ官ニシテ別ニ官等ヲ定メサルモノハ本官ノ官等ニ依ル  
 一初メテ奏任文官ニ任セラレ、者ノ官等ハ六等以下トス  
 奏任文官ヲ勅任シタル者再ヒ奏任官ニ任セラレ、場合ニ於テ其官

等ハ前官ノ官等以下トス  
 一奏任官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノヲ除ク外在職滿三年ヲ踰ユルニアラザレハ陞叙スルコトヲ得ス  
 一高等文官ノ俸給ニ關シテ別ニ定ムル所ナキモノハ總テ本令ノ規定ニ依ル  
 陸海軍武官ノ俸給ニ關スル規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル  
 一同一ノ官職ニシテ官等ニ依リ其俸給ヲ異ニスルモノハ本令定ムル所ノ高等文官等相當俸給表ニ依リ各其官等ニ照シテ之ヲ給ス  
 一同一官職ノ同一官等内ニ於テ其俸給ニ數級アル場合ニ於テハ其等級ニ依リ事務ノ繁簡ニ從ヒ本局長官便宜之ヲ増減スルヲ得  
 一年俸ハ十二分シテ毎月之ヲ支給ス

文武高等官等表

官職	官等		官職	官等	
	勅任	奏任		勅任	奏任
内閣	一	二	内閣總理大臣	一	二
外務省	一	二	外務省大臣	一	二
樞密院	一	二	樞密院議長	一	二
内閣	三	四	内閣書記官長	三	四
外務省	三	四	外務省書記官長	三	四
樞密院	三	四	樞密院書記官長	三	四
内閣	五	六	内閣事務次長	五	六
外務省	五	六	外務省事務次長	五	六
樞密院	五	六	樞密院事務次長	五	六
内閣	七	八	内閣事務次官	七	八
外務省	七	八	外務省事務次官	七	八
樞密院	七	八	樞密院事務次官	七	八
内閣	九		内閣事務次官	九	
外務省	九		外務省事務次官	九	
樞密院	九		樞密院事務次官	九	

官職等級俸給制



官職等級俸給制

官名	官職等級俸給表									
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
警視廳										
北海道廳										
府縣										
貴族院事務局										
衆議院事務局										
技術官										
高等文官官等相當俸給表										
文官										
武官										
判任官										
官等										
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七										
八										
九										
十										

文武判任官等級表

明治二十七年四月三十日

官職等級俸給制

高等文官官等相當俸給表										
文官										
武官										
判任官										
官等										
一										
二										
三										
四										
五										
六										
七										
八										
九										
十										



官職等級俸給制

Table of official ranks and salaries, including categories like 特別官 (Special Officials), 一級 (Grade 1), 二級 (Grade 2), etc., with corresponding salary amounts.

Table of official ranks and salaries, including categories like 特別官 (Special Officials), 一級 (Grade 1), 二級 (Grade 2), etc., with corresponding salary amounts.

○文官試補及見習規程

一明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令及同年勅令第百八十四號ニ依リ委任文官ニ任用セラルヘキ資格ヲ有スル者ハ試補トシ明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令ニ依リ判任文官ニ任用セラルヘキ資格ヲ有スル者ハ見習トシテ各官廳ノ事務ヲ練習セシムルコトヲ得

○北海道廳高等官年俸

一内務大臣ニ於テ特ニ指定スル各郡區ノ郡區長ハ年俸八百圓ヲ給ス但其人員ハ七八人以内トス

○札幌農學校高等官年俸

一札幌農學校教授ノ官等俸給ハ文部省直轄諸學校教授ノ例ニ依ル

○帝國大學文部省直轄諸學校及東京圖書館高等官等俸給令

一文部省直轄諸學校教授ハ高等官三等以下トス

官職等級俸給制

Table of local high school official salaries (地方高等官年俸) with columns for rank (官名), salary (年俸), and other details.

○府縣郡長特別年俸支給郡名

一東京府書記官ハ特ニ年俸二千二百圓ヲ給スルコトヲ得

官職等級俸給制

Table of official ranks and salaries for various prefectures including Tokyo, Osaka, and others. Columns include rank (e.g., 一等, 二等) and salary (e.g., 3500, 3000).

○月長年俸

Text describing the monthly long-term salary (月長年俸) for officials, mentioning the Ministry of Education and the Ministry of Home Affairs.

○尋常師範學校教諭助教諭訓導及書記俸額

Text detailing the salaries for teachers and staff in normal teacher training schools, including provisions for bonuses and allowances.

○公立學校職員官等等級配當

Text detailing the grade assignments for public school staff, including provisions for bonuses and allowances.

官職等級俸給制

Table of official ranks and salaries for various prefectures, including a section for 'North Sea Provinces' (北海道).

○府縣立師範學校校長任命及俸給令

Text detailing the appointment and salary orders for principals of prefectural and county normal schools, including the Ministry of Education's role.

委任文官同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員官等配當表

Table showing the grade assignments for public school staff who receive the same treatment as appointed officials.

判任文官同一ノ待遇ヲ受クル公立學校職員官等配當表

Table showing the grade assignments for public school staff who receive the same treatment as appointed officials.

官職等級俸給制

○府縣農事試驗場農事講習所及水産講習所職員並農事巡迴教師及水産巡迴教師官等等級配當表

一府縣農事試驗場農事講習所及水産講習所職員並農事巡迴教師及水産巡迴教師ニシテ委任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者ノ官等等級ハ其ノ俸給額ニ應ジ左表ニ依リ文武高等官官等又ハ文武判任官官等ニ配當ス

但同官等内又ハ同等級内ニ於テハ文武官吏ノ次席タルヘシ

委任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長及水産講習所長並農事巡迴教師及水産巡迴教師官等配當表

官職	官等	俸給額
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	一	月俸五十圓以上
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	二	月俸五十圓未満
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	三	月俸四十圓以上
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	四	月俸三十圓以上
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	五	月俸二十圓以上
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	六	月俸二十圓未満
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	七	月俸二十圓以上
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	八	月俸二十圓以上
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	九	月俸二十圓以上
判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル府縣農事試驗場農事講習所長	十	月俸二十圓以上

○宮中儀式上席次表

一宮中儀式上ノ席次ハ左表ニ依リ其次第ヲ定ム

但職務上ニ關スルモノニアラス

一同等中ノ順次ハ任補ノ日ヲ以テ之ヲ定ム若シ其任補ノ日同シキ時ハ前官ノ席次ニ據ル

但爵位間無異候ハ爵位動ノ内其高キヲ以テ席次シ及有爵有勳者ハ從前ノ例ヲ以テ席次ス

一同等中ニテ官職ヲ轉スルコトアルトモ初メテ其等ニ進ミタル日ヲ以テ席次ヲ定ム

一兼官アルモノハ本官ト兼官トヲ問ハス其高キニ據ル

一初任ニシテ同日同等ノ者全ク席次ヲ定ムヘキ事由ナキ時ハ其年齡ニ據ル

一應官辭職ノ後三十日以内ニ更ニ前官ト同等ノ官ニ任補ノ輩ハ尙ホ前席ヲ保ツコトヲ得

一官職ヲ降リタル者ハ現官同等中ノ首座トス

但親任ヨリ一等ニ降リタルモノハ同等中特別席ノ次席トス

一特ニ席次ヲ定メラル、者ハ此條項ノ限リニアラス

官職等級俸給制

官職	官等	俸給額
大勳位	一	月俸五十圓以上
大勳位	二	月俸五十圓未満
大勳位	三	月俸四十圓以上
大勳位	四	月俸三十圓以上
大勳位	五	月俸二十圓以上
大勳位	六	月俸二十圓未満
大勳位	七	月俸二十圓以上
大勳位	八	月俸二十圓以上
大勳位	九	月俸二十圓以上
大勳位	十	月俸二十圓以上

# 北海道廳

札幌區北三條西五丁目

## 長官

第三廳三北垣 國道

## 書記官

文官普通試驗委員 長 木米三郎  
札幌區北三條西四丁目一番地官舎

## 警部長

文官普通試驗委員 長 不慮次郎  
札幌區北三條西四丁目一番地官舎

## 警部長

文官普通試驗委員 長 酒匂 常明  
札幌區北三條西四丁目一番地官舎

## 參事官

官報報告主任 文 白 仁 武  
官報普通試驗委員 官報常務試驗委員 官報常務試驗委員 官報常務試驗委員  
札幌區北三條西四丁目一番地官舎

## 技師

文官普通試驗委員 小野 德太郎  
札幌區北二條西四丁目一番地官舎

## 技師

一等郵便電信局長 吉田 正秀  
文官普通試驗委員 廣 井 勇  
札幌區苗穂村二番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 技師

札幌農學校教授 新渡戸 稻造  
札幌區北一條西六丁目一番地

## 農商課長統計

伊 吹 鎗造  
札幌區北四條西四丁目一番地

## 水産課長

和田 健二  
札幌區北二條西七丁目一番地官舎

## 林務課長

中 壤  
札幌區北二條西七丁目一番地官舎

## 典獄長

石川 慶吾  
札幌區苗穂村監獄署所屬官舎

## ○長官官房

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

### 書記

高橋 秀好 五 文官普通試驗委員  
西川 大 六 文官普通試驗委員  
石田友治郎 七 文官普通試驗委員  
丸山 能一 七 文官普通試驗委員  
千野 房成 九 文官普通試驗委員  
高野 安定 十 文官普通試驗委員  
木村茂之助 十 文官普通試驗委員  
石原 周文 十 文官普通試驗委員  
吉川 忠真 十 文官普通試驗委員  
大谷 信夫 十 文官普通試驗委員  
上野 清 十 文官普通試驗委員  
三浦勇太郎 十 文官普通試驗委員

北海道廳

○内務部

部長 書記官鈴木 米三郎  
 地理課長 參事官白 仁 武  
 殖民課長 參事官小野 德太郎  
 郡治課長

一 部長 青木 政德  
 二 部長 兒玉 忠廣  
 三 部長 大野 四郎五郎  
 四 部長 柳橋 友八郎  
 五 部長 森 信元  
 六 部長 國松 英太郎  
 七 部長 加藤 重頼  
 八 部長 長岡 平太郎  
 九 部長 中村 則貞  
 十 部長 島田 又三郎  
 十一 部長 大村 益荒  
 十二 部長 西村 誠三  
 十三 部長 繁野 辰之助  
 十四 部長 小坂 幸四郎  
 十五 部長 生田 目隆定  
 十六 部長 古川 隆二  
 十七 部長 高田 經國  
 十八 部長 野田 覺二  
 十九 部長 波部 正  
 二十 部長 天野 實

一 部長 濱田 豐雄  
 二 部長 立入 壽太郎  
 三 部長 久保 義三郎  
 四 部長 片岡 常雄  
 五 部長 美馬 久太郎  
 六 部長 加藤 英一  
 七 部長 丸山 五之助  
 八 部長 飯田 吉造  
 九 部長 桑原 寛信  
 十 部長 奥井 寛信  
 十一 部長 關根 勲作  
 十二 部長 五十嵐 修治  
 十三 部長 村上 小五郎  
 十四 部長 村上市 源太郎  
 十五 部長 鈴木 源二  
 十六 部長 山田 利吉  
 十七 部長 利吉 利吉  
 十八 部長 相良 利吉  
 十九 部長 渡邊 貞臣  
 二十 部長 高山 龍之助  
 二十一 部長 上田 茂助  
 二十二 部長 松村 茂助  
 二十三 部長 茂助 茂助  
 二十四 部長 宮澤 磯之助  
 二十五 部長 宮澤 磯之助  
 二十六 部長 宮澤 磯之助  
 二十七 部長 宮澤 磯之助  
 二十八 部長 宮澤 磯之助  
 二十九 部長 宮澤 磯之助  
 三十 部長 宮澤 磯之助

一 部長 大谷 義男  
 二 部長 國澤 龍章  
 三 部長 鈴木 治信  
 四 部長 重藤 幹一  
 五 部長 三馬 貞一  
 六 部長 岩田 辰平  
 七 部長 山口 平馬  
 八 部長 出田 辰平  
 九 部長 近藤 美之  
 十 部長 津留 嘉久藏  
 十一 部長 太田 久藏  
 十二 部長 池田 三郎  
 十三 部長 田村 三郎  
 十四 部長 西館 三郎  
 十五 部長 石川 貞治  
 十六 部長 吉川 美衛  
 十七 部長 藤村 信吉  
 十八 部長 仁科 信藏  
 十九 部長 岡崎 道吉  
 二十 部長 菅沼 正吉  
 二十一 部長 小泉 治郎  
 二十二 部長 小野 定次郎  
 二十三 部長 堀江 正衛  
 二十四 部長 柳川 正吉  
 二十五 部長 吉川 昌則  
 二十六 部長 山本 廣吉  
 二十七 部長 山村 廣吉  
 二十八 部長 山崎 廣吉  
 二十九 部長 近藤 廣吉  
 三十 部長 宮崎 廣吉

一 部長 倉永 源一  
 二 部長 富田 秀雄  
 三 部長 河田 元一  
 四 部長 井口 信平  
 五 部長 狩野 信平  
 六 部長 小菅 保之助  
 七 部長 佐藤 七郎  
 八 部長 高橋 三吉  
 九 部長 山本 三吉  
 十 部長 筑紫 三吉  
 十一 部長 奥村 三吉  
 十二 部長 永富 三吉  
 十三 部長 桑原 三吉  
 十四 部長 野澤 俊次郎  
 十五 部長 水科 七三郎  
 十六 部長 村垣 三郎  
 十七 部長 横山 三郎  
 十八 部長 星野 三郎  
 十九 部長 山内 三郎  
 二十 部長 小池 三郎  
 二十一 部長 山中 三郎  
 二十二 部長 近藤 三郎  
 二十三 部長 古林 三郎  
 二十四 部長 佐藤 三郎  
 二十五 部長 田中 三郎  
 二十六 部長 山形 三郎  
 二十七 部長 矢野 三郎  
 二十八 部長 山部 三郎  
 二十九 部長 長谷川 三郎  
 三十 部長 神原 三郎

一 部長 小島 友義  
 二 部長 犬飼 清信  
 三 部長 豐藏 清信  
 四 部長 佐藤 寅太郎  
 五 部長 三好 勝太郎  
 六 部長 柳川 振

一 部長 不慮 次郎  
 二 部長 佐藤 寅太郎  
 三 部長 三好 勝太郎  
 四 部長 柳川 振

一 部長 山口 綱三郎  
 二 部長 原 四郎三郎  
 三 部長 岸田 三右衛門  
 四 部長 伊庭 平内  
 五 部長 山田 綱三郎  
 六 部長 原 四郎三郎  
 七 部長 岸田 三右衛門  
 八 部長 伊庭 平内  
 九 部長 山田 綱三郎  
 十 部長 原 四郎三郎  
 十一 部長 岸田 三右衛門  
 十二 部長 伊庭 平内  
 十三 部長 山田 綱三郎  
 十四 部長 原 四郎三郎  
 十五 部長 岸田 三右衛門  
 十六 部長 伊庭 平内  
 十七 部長 山田 綱三郎  
 十八 部長 原 四郎三郎  
 十九 部長 岸田 三右衛門  
 二十 部長 伊庭 平内

一 部長 南條 博親  
 二 部長 小野 國光  
 三 部長 中村 俊清  
 四 部長 池田 駒太郎  
 五 部長 池田 駒太郎  
 六 部長 池田 駒太郎

一 部長 中山 忠治  
 二 部長 永章  
 三 部長 誠紀

○福山警察署 松前郡横町 署長 貞  
 ○江差警察署 檜山郡中歌町 署長 森尾 鐵太郎  
 ○壽都警察署 壽都郡渡島町 署長 武助  
 ○岩内警察署 岩内郡御沖内町 署長 文敏  
 ○小樽警察署 小樽郡雄道町 署長 三上 常和  
 ○増毛警察署 増毛郡永壽町 署長 鳥居 貞紀  
 ○室蘭警察署 室蘭郡札幌通 署長 貫一  
 ○宗谷警察署 宗谷郡稚内村 署長 岩次

○浦河警察署 浦河郡浦河村 署長 喜二  
 ○網走警察署 網走郡北見町 署長 秀二  
 ○根室警察署 根室郡梅ヶ枝町 署長 子ノ口 弘毅  
 ○釧路警察署 釧路郡釧路町 署長 佐藤 六郎

○紗那警察署 紗那郡紗那村 署長 勇七  
 ○函館警察署 函館区宮岡町 署長 伊庭 平内  
 ○七飯警察署 七飯郡七飯村 署長 池田 駒太郎

○財務部 部長 常明  
 一 部長 信元  
 二 部長 常景  
 三 部長 常景  
 四 部長 常景  
 五 部長 常景  
 六 部長 常景  
 七 部長 常景  
 八 部長 常景  
 九 部長 常景  
 十 部長 常景  
 十一 部長 常景  
 十二 部長 常景  
 十三 部長 常景  
 十四 部長 常景  
 十五 部長 常景  
 十六 部長 常景  
 十七 部長 常景  
 十八 部長 常景  
 十九 部長 常景  
 二十 部長 常景

○函館在勤 財部 光  
 監獄署 札樞郡苗穂村  
 監獄書記 典獄石川 慶吾  
 署長 小林 大次郎  
 支署長 白石 武資  
 監獄書記 白石 武資  
 支署長 白石 武資  
 監獄書記 白石 武資  
 支署長 白石 武資  
 監獄書記 白石 武資  
 支署長 白石 武資

○松前郡役所 松前郡河原町  
 郡長 久内 久内  
 郡書記 佐藤 信壽  
 山越郡山越内、八雲村  
 上磯郡知内、小谷石村  
 龜田郡志苦、鏡龜澤、根崎、石崎村  
 龜田郡下湯ノ川、上湯ノ川、龜尾村  
 龜田郡七飯、鶴野、藤城、下、軍川、大中山村  
 龜田郡小安、戸井村  
 龜田郡假法華村  
 茅部郡砂原、掛洞村  
 茅部郡尻内村  
 茅部郡鹿部村  
 茅部郡落部村

○龜田、上磯、郡役所 龜田郡七飯村  
 郡長 廣 凱  
 郡書記 廣 凱  
 茅部、山越、郡役所 茅部郡鹿部村  
 郡長 廣 凱  
 郡書記 廣 凱  
 壽都、磯谷、郡役所 壽都郡渡島町  
 郡長 廣 凱  
 郡書記 廣 凱  
 歌桑、磯谷、郡役所 歌桑郡磯谷町  
 郡長 廣 凱  
 郡書記 廣 凱







○空知分監 空知郡市來知村

分監長七等 出納官吏七烟 一 嶽 空知郡市來知村 空知分監官舎

書記

五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
六 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
七 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
八 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
九 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

看守長

四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
六 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
七 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
八 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
九 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

○釧路分監 川上郡熊牛村

分監長七等 出納官吏七八 田 哉明 川上郡熊牛村 釧路分監官舎

書記

五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
六 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
七 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
八 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
九 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

看守長

九 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十三 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

○網走分監 網走郡最寄村

分監長六等 出納官吏七有馬 四郎助 網走郡最寄村 網走分監官舎

書記

六 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
七 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
八 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
九 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

看守長

七 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
八 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
九 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
十二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

○札幌農學校

校長 兼教授 文官 菅 佐藤 昌介 札幌農學校 札幌區北二條西二丁目

○尋常師範學校

校長 六等 小學校教員 色川 紈士 札幌區南一條西十五丁目

教諭

一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
三 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

助教諭

一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
三 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

訓導

一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
三 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

書記

一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
三 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

○函館商業學校

校長 正七有 森 新吉 函館區元町 函館區會所町七番地

教諭

一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
三 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎

助教諭

一 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
二 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
三 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
四 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎  
五 倉田 鴨澤 恒順 六 新波淳次郎



<p>○板橋收稅署 北豐島郡役所内 署長 奥山 茂</p> <p>○淀橋收稅署 南豐島郡役所内 署長 中根 龍</p> <p>○品川收稅署 荏原郡役所内 署長 赤堀 宗春</p> <p>○新大橋收稅署 日本橋區箱崎町三丁目 署長 井上 忠太郎</p> <p>○概橋收稅署 淺草區南元町三十八番地 署長 島 喜七郎</p>	<p>○千住收稅署 南足立郡役所内 署長 小川 尚徳</p> <p>○小松川收稅署 南葛飾郡役所内 署長 日比野 太郎</p> <p>○青梅收稅署 西多摩郡役所内 署長 本多 直敬</p> <p>○八王子收稅署 南多摩郡役所内 署長 細谷 道太郎</p> <p>○府中收稅署 北多摩郡役所内 署長 渡邊 正三</p>	<p>○幸橋收稅署 芝區愛宕町一丁目四番地 署長 坂本 孝三</p> <p>○四谷收稅署 麹町區紀尾井町五番地 署長 内田 綾雄</p> <p>○萬世橋收稅署 神田區表神保町十番地 署長 加藤 勝次郎</p>	<p>○荏原郡役所 荏原郡品川町 郡長 立石 知周</p> <p>○東多摩郡役所 南豐島郡淀橋町 郡長 大谷 佐助</p>
--	--	--	---

<p>○幸橋收稅署 芝區愛宕町一丁目四番地 署長 坂本 孝三</p> <p>○四谷收稅署 麹町區紀尾井町五番地 署長 内田 綾雄</p> <p>○萬世橋收稅署 神田區表神保町十番地 署長 加藤 勝次郎</p>	<p>○荏原郡役所 荏原郡品川町 郡長 立石 知周</p> <p>○東多摩郡役所 南豐島郡淀橋町 郡長 大谷 佐助</p>	<p>○幸橋收稅署 芝區愛宕町一丁目四番地 署長 坂本 孝三</p> <p>○四谷收稅署 麹町區紀尾井町五番地 署長 内田 綾雄</p> <p>○萬世橋收稅署 神田區表神保町十番地 署長 加藤 勝次郎</p>	<p>○荏原郡役所 荏原郡品川町 郡長 立石 知周</p> <p>○東多摩郡役所 南豐島郡淀橋町 郡長 大谷 佐助</p>
--	---	--	---

北多摩郡役所

南足立郡役所 郡長 正 七 金田 清風 郡書記 櫻橋 正 十 室井 平藏 津村 久吉

南葛飾郡役所

南葛飾郡役所 郡長 正 八 岩田 士景 郡書記 森 孝則 加山 安衛

西多摩郡役所

西多摩郡役所 郡長 正 七 村上 佳景 郡書記 坂 佐美 正 直

南多摩郡役所

南多摩郡役所 郡長 正 八 豐原 豐稔 郡書記 櫻野恒三郎

北多摩郡役所

北多摩郡役所 郡長 正 七 奧村 精一 郡書記 高野鉄三郎

尋常師範學校

尋常師範學校 校長 野尻 精一 教諭 兼會監 小學校教員 兼檢定委員 小學校教員

尋常中學校

尋常中學校 校長 勝浦 柄雄 教諭 衣袋 鏡太郎 須川 重久

城北尋常中學校

城北尋常中學校 校長 飯田 五郎 教諭 木村 牧

高等女學校

高等女學校 校長 田原 四郎 教諭 岩谷 英太郎

書記(月一八) 牧 玉井 貞也

○巢鴨病院 東京市小石川區小石川 駕籠町 醫學士 櫻井 大助

○本所病院 東京市本所區松代町三 町目 村上 二東

○東京府消毒所 東京市深川區東 大工町 田中 秀邦

○芝區役所 芝區愛宕町三丁目 芝七 鈴木 長輔

○麻布區役所 麻布區市兵衛町二丁目 區長 村木 義方

○赤坂區役所 赤坂區表三丁目 近藤 政利

○四谷區役所 四谷區荒木町 津田 彦十郎

○牛込區役所 牛込區豐前町 區長 久米 康吉

○本郷區役所 本郷區龜岡町 區長 野內 吉致

○小石川區役所 小石川區金富町 區長 佐藤 正興

○京橋區役所 京橋區日吉町 區長 大森 敬之

○日本橋區役所 日本橋區船場町二丁目 區長 胡 純

○神田區役所 神田區錦町二丁目 區長 菅 德

○龜町區役所 龜町區龜町一丁目 區長 富士 重本

○名譽職市參事會員 芳野 世經 鈴木 信任 仁杉 秀英 松田 兼輔 正六 兼一 兼二 兼三 兼四 兼五 兼六 兼七 兼八 兼九 兼十 兼十一 兼十二 兼十三 兼十四 兼十五 兼十六 兼十七 兼十八 兼十九 兼二十 兼二十一 兼二十二 兼二十三 兼二十四 兼二十五 兼二十六 兼二十七 兼二十八 兼二十九 兼三十 兼三十一 兼三十二 兼三十三 兼三十四 兼三十五 兼三十六 兼三十七 兼三十八 兼三十九 兼四十 兼四十一 兼四十二 兼四十三 兼四十四 兼四十五 兼四十六 兼四十七 兼四十八 兼四十九 兼五十 兼五十一 兼五十二 兼五十三 兼五十四 兼五十五 兼五十六 兼五十七 兼五十八 兼五十九 兼六十 兼六十一 兼六十二 兼六十三 兼六十四 兼六十五 兼六十六 兼六十七 兼六十八 兼六十九 兼七十 兼七十一 兼七十二 兼七十三 兼七十四 兼七十五 兼七十六 兼七十七 兼七十八 兼七十九 兼八十 兼八十一 兼八十二 兼八十三 兼八十四 兼八十五 兼八十六 兼八十七 兼八十八 兼八十九 兼九十 兼九十一 兼九十二 兼九十三 兼九十四 兼九十五 兼九十六 兼九十七 兼九十八 兼九十九 兼一百

東京府 芝區役所 麻布區役所 赤坂區役所 四谷區役所 牛込區役所 本郷區役所 小石川區役所 京橋區役所 日本橋區役所 神田區役所 龜町區役所 名譽職市參事會員 芳野 世經 鈴木 信任 仁杉 秀英 松田 兼輔 正六 兼一 兼二 兼三 兼四 兼五 兼六 兼七 兼八 兼九 兼十 兼十一 兼十二 兼十三 兼十四 兼十五 兼十六 兼十七 兼十八 兼十九 兼二十 兼二十一 兼二十二 兼二十三 兼二十四 兼二十五 兼二十六 兼二十七 兼二十八 兼二十九 兼三十 兼三十一 兼三十二 兼三十三 兼三十四 兼三十五 兼三十六 兼三十七 兼三十八 兼三十九 兼四十 兼四十一 兼四十二 兼四十三 兼四十四 兼四十五 兼四十六 兼四十七 兼四十八 兼四十九 兼五十 兼五十一 兼五十二 兼五十三 兼五十四 兼五十五 兼五十六 兼五十七 兼五十八 兼五十九 兼六十 兼六十一 兼六十二 兼六十三 兼六十四 兼六十五 兼六十六 兼六十七 兼六十八 兼六十九 兼七十 兼七十一 兼七十二 兼七十三 兼七十四 兼七十五 兼七十六 兼七十七 兼七十八 兼七十九 兼八十 兼八十一 兼八十二 兼八十三 兼八十四 兼八十五 兼八十六 兼八十七 兼八十八 兼八十九 兼九十 兼九十一 兼九十二 兼九十三 兼九十四 兼九十五 兼九十六 兼九十七 兼九十八 兼九十九 兼一百

○下谷區役所 下谷區御徒町四丁目

區長 渡邊 一 區書記 中山 東一 渡邊 一 中山 東一 渡邊 一 中山 東一

○淺草區役所 淺草區馬道町一丁目

區長 細谷 多七 區書記 中村 新太郎 細谷 多七 中村 新太郎 細谷 多七 中村 新太郎

○本所區役所 本所區相生町五丁目

區長 川村 金次 區書記 大原 善三郎 川村 金次 大原 善三郎 川村 金次 大原 善三郎

○深川區役所 深川區豐岸町

區長 石井 彌六 區書記 石井 彌六 石井 彌六 石井 彌六 石井 彌六 石井 彌六

○東京市養育院 本所區長岡町

委員長 仁杉 英 委員 中島 行孝 西村 虎四郎 仁杉 英 中島 行孝 西村 虎四郎

○水道改良事務所

事務員 今井 右左衛門 事務員 今井 右左衛門 今井 右左衛門 今井 右左衛門 今井 右左衛門

○工務掛

技師 掛長 中島 鏡治 (年一八〇〇) 掛長 小林 柏次郎 (年一五〇〇) 掛長 川上 新太郎 (年一五〇〇) 掛長 西尾 虎太郎 (年九〇〇)

○給水掛

掛長 榎川 忠兵衛 (年一〇〇〇) 掛長 佐藤 門吾 (年一七〇〇) 掛長 杉野 千太郎 (年一五〇〇) 掛長 二木 實 (年一五〇〇) 掛長 荒井 次郎 (年一五〇〇) 掛長 中山 鐵三郎 (年一五〇〇) 掛長 古關 周作 (年一五〇〇) 掛長 高桑 省吾 (年一五〇〇) 掛長 小寺 恒五郎 (年一〇〇〇)

掛長 榎川 忠兵衛 (年一〇〇〇) 掛長 今井 右左衛門 (年一〇〇〇) 掛長 加藤 忠受 (年一〇〇〇) 掛長 石川 貞保 (年一〇〇〇) 掛長 那須 俊秀 (年一〇〇〇) 掛長 橫山 順孝 (年一〇〇〇) 掛長 北村 延次郎 (年一〇〇〇) 掛長 內海 政實 (年一〇〇〇) 掛長 前田 啓助 (年一〇〇〇) 掛長 加藤 三友 (年一〇〇〇)

○京都府

京都市上京區  
下立賣通新町  
西入敷内町

知事

帝國京都博物館  
評議員正西三郎

邊 千秋  
京都市上京區  
立賣通新町西入  
敷内町官舎

書記官

文官普通試験  
委員長正六

一坂 俊太郎  
京都市上京區  
三木木上ノ町

警部長

文官普通試験  
委員長正六

田中 貴道  
京都市上京區  
町通下立賣下ノ  
春帶町官舎

收稅長

文官普通試験  
委員長正六

鳥海 弘毅  
京都市上京區  
釋寺町

參事官

大槻 龍治  
京都市上京區  
御堂前町

技師

七谷 井鋼三郎  
京都市上京區  
鳥丸通上切通角  
新鳥丸頭町

典獄

文官普通試験  
委員長正七

六角 耕雲  
京都市上京區  
入主稅町官舎

○知事官房

小林精一郎	六	正八殿本	七
若松雅太郎	六	長敬	七
岡松 忠利	九	信正	七
和田 彦藏	九	萬壽	七
細岡 繁深	十	守睦	七
關 正治	(月二)	友信	七
丹羽 氏行	(月一〇)	賢治	七
野口芳三郎	(月八)		
鈴木 漢			

○内務部

部長	書記官一坂 俊太郎
第一課長	參事官大槻 龍治
宮崎 豐次	廣說
兼田 義路	喜一
三吉 敬之	正當
大澤 眞澄	中山 親和
牛井 眞澄	小林精一郎
波多野愛之輔	青谷 長新
上井 綱一	湯川 文彦
杉浦 徹矢	久藤 正幸
六浦 政懿	大原午之助
志賀 政懿	森生

<p>○井手警察署 親喜郡井手村 署長心得 八 木村 靜登</p> <p>○水津警察署 相樂郡水津町 署長 七 松井 深通</p> <p>○龜岡警察署 南桑田郡龜岡町 署長 七 服部 盛久</p> <p>○周山警察署 北桑田郡周山村 署長 八 和田 彦馬</p> <p>○園部警察署 船井郡園部町 署長 五 根岸 傳</p> <p>○福知山警察署 天田郡福知山町 署長 九 加藤茂三郎 大 大野 政忠</p> <p>○綾部警察署 何鹿郡綾部町 署長 七 阪崎 牛也</p>	<p>○舞鶴警察署 加佐郡舞鶴町 署長 十 井田 重洋</p> <p>○宮津警察署 與謝郡宮津町 署長 六 河瀨 昇</p> <p>○峯山警察署 中郡峯山町 署長心得 八 星 清次</p> <p>○網野警察署 竹野郡網野村 署長心得 七 木井保一郎</p> <p>○久美濱警察署 熊野郡久美濱村 署長心得 八 秋山 清高</p>	<p>○京都收稅署 署長 十 入江意之助 八 大 梅田 幹夫</p> <p>○下京派出所 京都市寺町通綾小路下 署長 八 中西八百吉 九 八 桂田 庄吉</p> <p>○伏見收稅署 紀伊郡伏見町 署長 八 辻村三子松 七 吉川 房嗣</p> <p>○木津收稅署 相樂郡木津町 署長 八 師岡 春胤 九 七 宇都宮 謙藏</p> <p>○龜岡收稅署 南桑田郡龜岡町 署長 八 田島 耕平 七 甲斐 忠之</p>	<p>○警察部 警部長 田中 貴道</p> <p>○五條警察署 京都市下京區五條大橋西 署長 八 山口 圭一 八 五 羽田 信明</p> <p>○河原町警察署 京都市上京區河原町通 署長 九 藤田 寬一 九 五 關 忠通</p> <p>○中立賣警察署 京都市上京區中立賣通 署長 九 中川 隆次 九 五 伊藤 泰教</p> <p>○上長者町警察署 京都市上京區上長者町 署長 九 河村 汪十 九 平中竹治郎</p> <p>○堀川警察署 京都市下京區堀川通 署長 九 堀川 宗七 八 廣瀬 正義</p> <p>○山科警察署 宇治郡山科村 署長 八 山崎 一 九 六 坂本 久壽</p> <p>○桂警察署 葛野郡桂村 署長 八 桂 隆太郎 九 六 角 信勝</p> <p>○向日町警察署 乙訓郡向日町 署長 八 向日 隆太郎 九 六 日高 翼</p> <p>○伏見警察署 紀伊郡伏見町 署長 八 伏見 隆太郎 九 六 新納 時義</p> <p>○大久保警察署 久世郡大久保村 署長 八 大久保 隆太郎 九 六 近藤 治清</p>	<p>○阿部 忠章 七 土持 兼白</p> <p>○坂田 洋 八 廣瀬 正義</p> <p>○田中 百藏 八 大橋 清賢</p> <p>○杉田 宗七 八 加古才二郎</p> <p>○河村 汪十 九 平中竹治郎</p> <p>○中川 隆次 九 伊藤 泰教</p> <p>○藤田 寬一 九 關 忠通</p> <p>○堀川 宗七 八 廣瀬 正義</p> <p>○山崎 一 九 坂本 久壽</p> <p>○桂 隆太郎 九 角 信勝</p> <p>○向日 隆太郎 九 日高 翼</p> <p>○伏見 隆太郎 九 新納 時義</p> <p>○大久保 隆太郎 九 近藤 治清</p>	<p>○高村 高次郎 月一〇 平田 重吉</p> <p>○日比 久賢 月一〇 小笠原 昭太郎</p> <p>○眞名井 純一 月一〇 渡邊 清太郎</p> <p>○三上 儀武 月一〇 中井 正國</p> <p>○藤木 行直 月一〇 高野 勇五郎</p> <p>○上林 鐵三郎 月一〇 柳原 策夫</p> <p>○井關 真顯 月一〇 三谷 廣三郎</p> <p>○曲淵 義壽 月一〇 岡本 明季</p> <p>○漢城 基命 月一〇 種山 忠太郎</p> <p>○高田 九郎 月一〇 服部 善太郎</p> <p>○石川 春太郎 月一〇 森田 省三</p> <p>○黒坂 鹿太郎 月一〇 山田 卓次</p> <p>○内藤 朝義 月一〇 早田 卓次</p> <p>○生咲 政次郎 月一〇 岡本 學</p> <p>○三原 龍治 月一〇 中藤 直助</p> <p>○鈴木 康之介 月一〇 田代 玲彦</p> <p>○村田 五郎 月一〇 細田 信道</p> <p>○古畑 重三郎 月一〇 石崎 元綱</p> <p>○矢島 鈞之助 月一〇 山口 長祐</p> <p>○福田 將善 月一〇 喜多 敬雄</p> <p>○白石 一介 月一〇 岡本 學</p> <p>○村井 安雄 月一〇 岡本 學</p>
--	--	--	--	--	--

<p>○井手警察署 親喜郡井手村 署長心得 八 木村 靜登</p> <p>○水津警察署 相樂郡水津町 署長 七 松井 深通</p> <p>○龜岡警察署 南桑田郡龜岡町 署長 七 服部 盛久</p> <p>○周山警察署 北桑田郡周山村 署長 八 和田 彦馬</p> <p>○園部警察署 船井郡園部町 署長 五 根岸 傳</p> <p>○福知山警察署 天田郡福知山町 署長 九 加藤茂三郎 大 大野 政忠</p> <p>○綾部警察署 何鹿郡綾部町 署長 七 阪崎 牛也</p>	<p>○舞鶴警察署 加佐郡舞鶴町 署長 十 井田 重洋</p> <p>○宮津警察署 與謝郡宮津町 署長 六 河瀨 昇</p> <p>○峯山警察署 中郡峯山町 署長心得 八 星 清次</p> <p>○網野警察署 竹野郡網野村 署長心得 七 木井保一郎</p> <p>○久美濱警察署 熊野郡久美濱村 署長心得 八 秋山 清高</p>	<p>○京都收稅署 署長 十 入江意之助 八 大 梅田 幹夫</p> <p>○下京派出所 京都市寺町通綾小路下 署長 八 中西八百吉 九 八 桂田 庄吉</p> <p>○伏見收稅署 紀伊郡伏見町 署長 八 辻村三子松 七 吉川 房嗣</p> <p>○木津收稅署 相樂郡木津町 署長 八 師岡 春胤 九 七 宇都宮 謙藏</p> <p>○龜岡收稅署 南桑田郡龜岡町 署長 八 田島 耕平 七 甲斐 忠之</p>	<p>○警察部 警部長 田中 貴道</p> <p>○五條警察署 京都市下京區五條大橋西 署長 八 山口 圭一 八 五 羽田 信明</p> <p>○河原町警察署 京都市上京區河原町通 署長 九 藤田 寬一 九 五 關 忠通</p> <p>○中立賣警察署 京都市上京區中立賣通 署長 九 中川 隆次 九 五 伊藤 泰教</p> <p>○上長者町警察署 京都市上京區上長者町 署長 九 河村 汪十 九 平中竹治郎</p> <p>○堀川警察署 京都市下京區堀川通 署長 九 堀川 宗七 八 廣瀬 正義</p> <p>○山科警察署 宇治郡山科村 署長 八 山崎 一 九 六 坂本 久壽</p> <p>○桂警察署 葛野郡桂村 署長 八 桂 隆太郎 九 六 角 信勝</p> <p>○向日町警察署 乙訓郡向日町 署長 八 向日 隆太郎 九 六 日高 翼</p> <p>○伏見警察署 紀伊郡伏見町 署長 八 伏見 隆太郎 九 六 新納 時義</p> <p>○大久保警察署 久世郡大久保村 署長 八 大久保 隆太郎 九 六 近藤 治清</p>	<p>○阿部 忠章 七 土持 兼白</p> <p>○坂田 洋 八 廣瀬 正義</p> <p>○田中 百藏 八 大橋 清賢</p> <p>○杉田 宗七 八 加古才二郎</p> <p>○河村 汪十 九 平中竹治郎</p> <p>○中川 隆次 九 伊藤 泰教</p> <p>○藤田 寬一 九 關 忠通</p> <p>○堀川 宗七 八 廣瀬 正義</p> <p>○山崎 一 九 坂本 久壽</p> <p>○桂 隆太郎 九 角 信勝</p> <p>○向日 隆太郎 九 日高 翼</p> <p>○伏見 隆太郎 九 新納 時義</p> <p>○大久保 隆太郎 九 近藤 治清</p>	<p>○高村 高次郎 月一〇 平田 重吉</p> <p>○日比 久賢 月一〇 小笠原 昭太郎</p> <p>○眞名井 純一 月一〇 渡邊 清太郎</p> <p>○三上 儀武 月一〇 中井 正國</p> <p>○藤木 行直 月一〇 高野 勇五郎</p> <p>○上林 鐵三郎 月一〇 柳原 策夫</p> <p>○井關 真顯 月一〇 三谷 廣三郎</p> <p>○曲淵 義壽 月一〇 岡本 明季</p> <p>○漢城 基命 月一〇 種山 忠太郎</p> <p>○高田 九郎 月一〇 服部 善太郎</p> <p>○石川 春太郎 月一〇 森田 省三</p> <p>○黒坂 鹿太郎 月一〇 山田 卓次</p> <p>○内藤 朝義 月一〇 早田 卓次</p> <p>○生咲 政次郎 月一〇 岡本 學</p> <p>○三原 龍治 月一〇 中藤 直助</p> <p>○鈴木 康之介 月一〇 田代 玲彦</p> <p>○村田 五郎 月一〇 細田 信道</p> <p>○古畑 重三郎 月一〇 石崎 元綱</p> <p>○矢島 鈞之助 月一〇 山口 長祐</p> <p>○福田 將善 月一〇 喜多 敬雄</p> <p>○白石 一介 月一〇 岡本 學</p> <p>○村井 安雄 月一〇 岡本 學</p>
--	--	--	--	--	--



○周山收稅署 北桑田郡周山村  
 署長 佐治 正信  
 田伏盤次郎 (月九) 鶴本 正修  
 岩波 悅敬 (月九)

○園部收稅署 船井郡園部町  
 署長 矢島 繼  
 白石 精一 (月八) 川本實之助  
 關小二郎 (月八)

○福知山收稅署 天田郡福知山町  
 署長 久田 義宣  
 橫山 元吉 (月七) 豐福 廉作  
 岸田彌三郎 (月八) 北條鏡太郎  
 吉村猪之助 (月八)

○綾部收稅署 何鹿郡綾部町  
 署長 廣崎 衛  
 竹内 正紀 (月八) 岡本 亦三  
 力武國三郎 (月七) 横田 拙二

○舞鶴收稅署 加佐郡舞鶴町  
 署長 本間民之進  
 永田 清彦 (月七) 山田 友澄  
 小山源三郎 (月七) 吉村 文三  
 吉田 正理 (月七) 佐治榮太郎

○宮津收稅署 與謝郡宮津町  
 署長 西山與一郎 (月九) 桂 棟藏  
 長篠 益吉 (月一〇) 森山嘉之助  
 高取 定一 (月一〇)

○峯山收稅署 中郡峯山町  
 署長 加藤岩之丞 (月九) 今澤 澤馬  
 松田彌三郎 (月八) 大西修一郎  
 山本 平藏

○監獄署 京都市上京區千本通二條下  
 監獄書記 典獄六角 耕雲  
 八木房次郎 (月九) 康太郎  
 狩野 正芳 (月九) 氏美  
 川村 正照 (月九) 小原 保匡  
 藤田 修一 (月一〇) 松田榮太郎  
 南部長次郎 (月九) 龜見喜太郎  
 清水榮次郎 (月九) 小林榮次郎

○葛野郡役所 葛野郡太秦村  
 郡長 梅垣 幸之  
 藤田 正路 (月八) 杉浦 徳剛  
 吉川 忠信 (月八) 上田 徳剛

○綴喜郡役所 綴喜郡田邊村  
 郡長 梅垣 幸之  
 藤田 正路 (月八) 杉浦 徳剛  
 吉川 忠信 (月八) 上田 徳剛

○紀伊郡役所 紀伊郡伏見町  
 郡長 紀伊 伏見町  
 王七 荒井 公木  
 仙石 卯策 (月九) 高山 重藏

○乙訓郡役所 乙訓郡向日町  
 郡長 天童大池上 勝太郎  
 森本和三郎 (月一〇) 栗山 透  
 井尻 助淳 (月七) 植田 忠雄

○宇治郡役所 宇治郡醍醐村  
 郡長 宇治 保重  
 二松 惟忠 (月八) 鎌田 寛隆  
 山科 敏夫 醍醐 妹尾 重光  
 杉谷龜三郎 宇治 桑原 善平

○久世郡役所 久世郡淀町  
 郡長 久世 時彦  
 金万 景權 (月九) 高須 次郎  
 清水勝太郎 (月八) 芥川 頼吉

○相樂郡役所 相樂郡木津村  
 郡長 相樂 新九郎  
 阪部 誠太郎 (月七) 片山 安太郎  
 石山 成一 (月七) 澤井 裕太郎

○綴喜郡役所 綴喜郡田邊村  
 郡長 梅垣 幸之  
 藤田 正路 (月八) 杉浦 徳剛  
 吉川 忠信 (月八) 上田 徳剛

南桑田郡役所

南桑田郡龜岡町

郡長 八尋 正八

郡書記 川 惇

村長 井口徳太郎

村長 藤田止忠

村長 栗山清三郎

村長 西田莊兵衛

村長 吉川三郎

村長 藤野三郎

村長 山田新太郎

村長 中川敬造

村長 大井敬造

村長 馬路八兵衛

村長 河原林茂助

村長 岸八兵衛

村長 村上茂助

村長 保津茂助

村長 旭千代川

村長 川勝健次郎

村長 安藤新之丞

村長 川勝健次郎

村長 藤田健次郎

村長 古畑富之助

村長 長澤源吾

村長 原田太真助

村長 横河武兵衛

村長 榑谷兵衛

村長 柳野左平次

村長 安藤新之丞

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

村長 川勝健次郎

何鹿郡役所

何鹿郡綾部町

郡長 七竹 中

郡書記 節

村長 久保佑太郎

村長 山口正定

村長 山添澄時

村長 菅沼通順

村長 藤見重藏

村長 大志万重

村長 能勢長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

村長 志賀長十郎

北桑田郡役所

北桑田郡周山村

郡長 八尋 正八

郡書記 直方

村長 青野維芳

村長 藤野治良

村長 安田耕平

村長 辻啓太郎

村長 上野源次郎

村長 平井康太郎

村長 栗栖牛兵衛

村長 谷口重兵衛

村長 細野大野

村長 河合島次郎

村長 藤井新太郎

村長 土井新太郎

村長 武部源吾

村長 西野新次

村長 勝山伸四郎

村長 西野新次

村長 武部源吾

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

村長 西野新次

天田郡役所

天田郡福知山町

郡長 八尋 正八

郡書記 島 誠

村長 關川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

村長 瀬川 東

加佐郡役所

加佐郡舞鶴町

郡長 七石 田

郡書記 眞平

村長 水戸 貞一

村長 高島 増八

村長 和島 信美

村長 佐藤 角次

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

村長 眞下六兵衛

與謝郡役所

與謝郡宮津町

郡長 大石 雲根

郡書記 今林 庄藏

村長 榎山 政久

村長 加藤 正金

村長 武内字之助

中郡役所

中郡山町

郡長 八尋 正八

郡書記 藤 潔

村長 後藤 卯輔

村長 磯野 磯治

村長 磯野 磯治

村長 磯野 磯治

熊野郡役所

熊野郡久美濱村

郡長 八尋 正八

郡書記 後藤 善二

村長 中野鋼三郎

村長 小西 武

村長 小西 武

村長 小西 武

尋常師範學校

京都市上京區寺町通荒神口下丸

校長 清水 誠吾

教諭 矢野利喜藏

助教諭 高木秀太郎

訓導 伴 虎之助

直井 潔



大阪府 大阪市西區江ノ子島上ノ町

知事 山田 信道

書記官

官報報告主任文官 片岡 直輝  
通試委員主任文官 片岡 直輝  
教員檢査委員主任文官 片岡 直輝  
出入官吏主任文官 片岡 直輝  
海軍大主計官 片岡 直輝

警部長

文官普通試驗 鈴木 定直

收稅長

文官普通試驗 鈴木 定直

參事官

大阪博物館長 石原 健三

技師

文官普通試驗 植木 平之允

典獄 大塚 年一〇〇〇

文官普通試驗 委員分任議入 小林 三郎  
出入官吏主任文官 小林 三郎  
納官吏主任文官 小林 三郎

知事官房

林 俊太郎  
香川 三郎  
中野 修太  
益田 文繼  
島本篤兵衛  
堀田久太郎  
前田辰次郎  
祐藏  
兵須 久  
安積 慎一  
武藤 教貞  
森 豐次郎

內務部

部長 鈴木 定直  
第一課長 石原 健三  
第二課長 植木 平之允  
書記官 片岡 直輝  
參事官 石原 健三  
技師 植木 平之允  
平井 保德  
石田 英壽  
久能 省三  
濱生 伊八郎  
有田 繁郎  
高田 正秀  
三宅 織之  
永田 雅信  
關岡 信太  
山岡 信太  
原田 卯七郎  
兒玉 正一  
小野 純一  
小野 純一  
新部 壯介  
英



中川辰次郎 十 金森 信久

北條豊太郎

○茨木收稅署 島下郡茨木村大字茨木

署長 菅森 壽 十 入官更近藤 正大

副署長 都田 知鏡 (月九) 重松 弘吉

○堺收稅署 堺市大町東四町

署長 渡澤貞次郎 四 入官更伴野 真助

副署長 河村 庸雄 九 三木 逸郎

大谷佐代治 九 田尻 謙二

山口健二郎 (月九) 波邊武二郎 暫

○岸和田收稅署 南郡岸和田町大字岸和田

署長 石黒孝次郎 六 入官更八田 隆

副署長 加川 静介 (月一〇) 天野 忠雄

岸田 直吉

○富田林收稅署 石川郡富田林村大字富田林

署長 村岡 真雄 六 入官更中島 貴和

副署長 齋藤良太郎 十 三浦 隆吉

加藤 武 (月九) 岡野 正俊

○八尾收稅署 若江郡八尾村大字八尾

署長 山下 雅元 八 入官更園田 真明

副署長 山本 一貫 (月九) 藤谷 信吉

木藤 徇八

○枚方收稅署 茨田郡枚方町大字枚方

署長 中田 正秀 六 入官更高見 休夫

副署長 宮下寅次郎 七 高井光太郎

綿谷 文壽

○監獄署 西成郡川崎村

典獄小林 三郎

○看守長

第一看守長 隔山利吉郎

第二看守長 水田直之丞

第三看守長 飯尾美和足

飯尾美和足 三好 弘見

飯尾美和足 三好 弘見

飯尾美和足 三好 弘見

伊集院幸八 九 青木 政生

海江田書三 十 櫻木 雅孝

○堺監獄支署 堺市車ノ町西二町

支署長 岡田竹次郎 (月一〇) 上田 八郎

副署長 岡田竹次郎 (月一〇) 八郎

看守長 岡田竹次郎 (月一〇) 八郎

看守長 岡田竹次郎 (月一〇) 八郎

○西成郡役所 西成郡上福島村

郡長 白石 純治

副郡長 白石 純治

三宅 健吉 九 相良 常行

藤澤恒次郎 (月二) 木村 淺治

伊藤 真藏 (月一〇) 照内武之助

岸 元吉 (月七) 杉村 七平

樋口 元吉 (月七) 山崎 才治

池田 後藤常治郎

中谷友右衛門

岸本新兵衛

加納重次郎

深野 平次

野口 平次

上野 傳兵衛

井上 謙治

森本 景義

如 龜次郎

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

○東成郡役所 住吉天王寺村大字

郡長 茂樹

副郡長 茂樹

郡書記 茂樹

北野 高橋藤右衛門 川崎 關根 一郷

野田 藤 宮衛 豐洲 馬淵 源造

西中島 伊藤清兵衛 中津 橋本善治郎

神島 隆山武治郎 神津 兼岡理三郎

井上小兵衛 千船 北浦貞治郎

島田 恭造 北中島 生島源兵衛

東成郡町長 野崎喜一郎 玉造 生駒 正義

同村長 赤田 礎一 清瀬 佐伯 芳郎

西高津 金井常三郎 生野 赤田 永三郎

木村作之助 中本 三木 芳樹

北新開 井上和三郎 南新開 河田為三郎

野田 朝田 種吉 都島 大野助四郎

野田 井上鶴之助 城北 寺西 長七

清水 上野嘉右衛門 城北 寺西 長七

○島上郡役所 島下郡茨木村大字茨木

郡長 深瀬 和直

副郡長 深瀬 和直

郡書記 深瀬 和直

住吉郡町長 福井榮三郎 安立 卯野善兵衛

同村長 三杉長兵衛 北百濟 藤本 繁

藤本 繁 住吉 木下新兵衛

久角伊之助 十 吉野 和行

北村 長明 (月八) 小野 賢二

仲長十郎 (月六) 吉田 清直

阪田 吉郎 如是 松田 長二

木村孫太郎 高槻 梶村 幸造

山田久太郎 芥川 島本 下村併右衛門

牧 彦之助 島本 西田延治郎

阿武野 元田 章 吉田 勤右衛門

島下郡村長 西田善五郎 三島 三島 隆

古川治左衛門 宮島 大池長三郎

笹川市兵衛 春日 森島 三郎

田畑 新吾 玉櫛 馬場三右衛門

三宅 健吉 九 相良 常行

藤澤恒次郎 (月二) 木村 淺治

伊藤 真藏 (月一〇) 照内武之助

岸 元吉 (月七) 杉村 七平

樋口 元吉 (月七) 山崎 才治

池田 後藤常治郎

中谷友右衛門

岸本新兵衛

加納重次郎

深野 平次

野口 平次

上野 傳兵衛

井上 謙治

森本 景義

如 龜次郎

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助

寺倉 幸之助







<p>區書記</p> <p>八木 武雄 内藤 義衛 山沖 秀雄 大野 成治 永野 幸七 杉中 幸治 杉井 久夫 山田 久吉 新川 賢新 宮崎 幸次郎 林 秀作 山本 華堤 荻野 華堤 吉田 銀之丞 野崎 龜次郎 河村 修次郎</p>		<p>區書記</p> <p>三輪 道泰 下川 康三 橋本 正路 渡邊 金太郎 淺羽 勇四郎 貴田 榮三 河村 貴三 上村 長兵衛 服部 榮次郎 中村 鐵次郎 和野 忠幸 寶藤 忠幸 大根 田喜三 高田 安次郎 吉村 三一</p>	
<p>○南區役所 南區長堀橋筋一丁目</p> <p>區書記</p> <p>井上 正陽 明石 好清 小田 湖平 加藤 八平 山岸 持八 木谷 資道 大内 蕭 男野 安次 三川 蕭信 三矢 量藏 余重 富三郎 中居 武次郎 和田 米次郎</p>		<p>○東區役所 東區高麗橋一丁目</p> <p>區書記</p> <p>吉城 善次 熊田 虎司 角野 豐明 井吉 喜三 三木 吾郎 藤井 吾郎 淺上 庄太郎 會澤 康太郎 赤木 安次郎 水野 駒之助 赤丸 左衛門 兼田 正夫 加藤 勝哉 安藤 照吉 西川 憲三</p>	
<p>○北區役所 北區若松町</p> <p>區書記</p> <p>山口 幸七 伴 喜修 村上 喜繁 加藤 保次郎 三浦 謙吉 小澤 芳三郎 廣部 守根 工藤 爲莊 保木 六之助 矢部 好禮</p>		<p>○堺市役所 東ノ町東一町</p> <p>市長(年六〇〇)</p> <p>北田 豐三郎 向野 善路</p> <p>名譽職市參事會員</p> <p>川崎 篤三郎 八木 榮次郎 永野 長一郎</p>	

### ○神奈川縣

<p>知事 中野 健明 臨時橫濱築港局長 中野 健明 局長 伊勢町二丁目十八番地</p>		<p>書記官 荒川 義太郎 兼臨時橫濱築港局長 荒川 義太郎 局長 伊勢町二丁目十八番地</p>	
<p>警部長 吉田 弘藏 文官普通試驗委員 吉田 弘藏 委員 伊勢町一丁目七番地</p>		<p>收稅長 吉井 友兄 主任收入官吏 吉井 友兄 文官普通試驗委員 吉井 友兄 委員 伊勢町一丁目九番地</p>	
<p>技師 野口 嘉茂 文官普通試驗委員 野口 嘉茂 委員 伊勢町一丁目三番地</p>		<p>典獄 小川 磁次郎 文官普通試驗委員 小川 磁次郎 委員 伊勢町一丁目八十二番地</p>	
<p>○知事官房</p> <p>官房長 山田 親良 主任 山田 親良 主任 伊藤 錦二 主任 小川 善次郎 主任 高田 有秋 主任 穴甲 子郎 主任 長野 三郎</p>		<p>○內務部</p> <p>部長 荒川 義太郎 第三課長 大木 房英 書記官 荒川 義太郎 參事官 大木 房英</p>	
<p>○警察部</p> <p>部長 吉田 弘藏</p>		<p>○支手</p> <p>大久保 喜代八 鈴木 熊男 古屋 清光 一色 照三</p>	

警部

第一部長 宇高 正郎  
第二部長 石川 疏  
第三部長 北野 孝一  
第四部長 黒川 重道  
第五部長 二宮 善三郎  
第六部長 石田 善吉  
第七部長 手塚 源太郎  
第八部長 吉田 勝三郎  
第九部長 西村 駒治郎

○巡查教習所 横濱市戸部町

所長(兼) 宇高 正郎  
長崎 信守

○伊勢佐木町警察署

署長 小泉 吉太郎  
分署長 野々部 茂  
若松 習太郎  
竹田 義則  
山上 鎮八郎

○加賀町警察署 横濱市加賀町

署長 石井 達  
分署長 重清  
河田 哲哉  
井上 直扶  
岡田 佳太郎  
湯淺 三吉

○水上分署 横濱市西岸止場

分署長 伊橋 定之助

○石川町警察署 横濱市石川町

署長 勝行  
分署長 今田 修  
浦岡 清一  
高橋 辰馬

○山手本町警察署 横濱市山手本町

署長 川崎 善太郎  
分署長 文哉  
市川 忠次郎

○神奈川警察署 横濱市神奈川町

署長 美治  
分署長 常保  
大里 慶次郎  
川崎 善太郎

○川崎分署 横濱市川崎町

分署長 常保  
高津 分署  
河方 春城

○都田警察署 都筑郡都田村

署長 海野 章  
横須賀警察署 三浦郡横須賀町

○浦賀分署 三浦郡浦賀町

分署長 昭高  
近藤 愛之助  
市石 昭高

○三崎分署 三浦郡三崎町

分署長 盛徳  
野村 盛徳

○戸塚警察署 鎌倉郡戸塚町

署長 加藤 八次郎  
藤澤警察署 高座郡藤澤大阪町

○藤澤分署 高座郡藤澤大阪町

分署長 官吉  
加藤 官吉

○大磯警察署 海城郡大磯町

署長 政清  
伊勢原分署 大住伊勢原町

○伊勢原分署 大住伊勢原町

分署長 明  
森野分署 大住森野町

○松田警察署 足柄上郡松田村

署長 茂哉  
小田原警察署 足柄下郡小田原町

○小田原警察署 足柄下郡小田原町

署長 哲馬  
厚木警察署 愛甲郡厚木町

○厚木警察署 愛甲郡厚木町

署長 松源次郎  
中野警察署 津久井郡中野村

○中野警察署 津久井郡中野村

○收稅部 收稅長吉井友兄

第一課長 白井 桐  
第二課長 東條 世三  
第三課長 丹羽 鎮彌  
第四課長 會田 孝之助  
第五課長 西郷 丈三郎  
第六課長 渡邊 與一  
第七課長 石野 安造

○横濱收稅署 神奈川縣横濱内

署長 宮松 元作  
分署長 竹中 宮松  
古川 敬親  
後藤 平三郎  
河西 方利

○神奈川收稅署 横濱市神奈川町

署長 志方 之謙  
分署長 武吉 正範  
石井 忠昭  
永野 淡吉  
網島 孝太郎  
佐野 孝太郎

○横須賀收稅署 三浦郡横須賀町

署長 義方  
分署長 青木 幸三郎  
永松 清  
藍田 常太郎

○藤澤收稅署 高座郡藤澤大阪町

署長 續 彦三  
分署長 奥田 銓太郎  
長島 戸平十  
富岡 義重  
宮岡 義重

○大磯收稅署 海城郡大磯町

署長 河村 貞邦  
分署長 松本 站太郎  
兒玉 利謙  
三原 武人  
柳 秀太郎

○松田收稅署 足柄上郡松田村

署長 杉山 宣家  
分署長 小澤 清五郎  
古川 愛親  
田邊 直哉  
三好 數太

○小田原收稅署 足柄下郡小田原町

署長 大内 喬茂  
分署長 渡邊 常三郎  
福田 正宣  
山川 龍治  
入江 學力

○厚木收稅署 愛甲郡厚木町

收稅屬 署長 宇佐美次郎八  
支署長 小川勘四郎  
看守長 青木清太郎  
監獄書記 豐

○中野收稅署 津久井郡中野村

收稅屬 署長 石川 給輔  
支署長 藤本 健治  
監獄書記 豐

○監獄署

監獄書記 典獄小河 滋次郎  
署長 三井 九陽  
看守長 飯塚 正吉  
大塚 善真

○橋樹郡役所 橋樹郡神奈川町

郡長 安達 安民  
郡書記 元義 十  
看守長 大須賀成太郎  
監獄書記 寺田 信意

○久良岐郡役所 久良岐郡日下村

郡長 箕輪 三郎  
郡書記 金子 國松  
看守長 木村 義利  
監獄書記 伊藤 賢吉

○高座郡役所 高座郡藤澤大町

郡長 江森 保存  
郡書記 學 九  
看守長 高松 良夫  
監獄書記 大久保保爾

○三浦郡役所 三浦郡横須賀町

郡長 小川 茂周  
郡書記 石井 三郎  
看守長 飯塚 正吉  
大塚 善真

○鎌倉郡役所 鎌倉郡戸塚町

郡長 内田 亮坪  
郡書記 廣藤 不二三  
看守長 青木 大治郎  
監獄書記 角田 眞一

○大住郡役所 大住郡大磯町

郡長 曾根 盛鎮  
郡書記 金子 國松  
看守長 木村 義利  
監獄書記 伊藤 賢吉

○足柄上郡役所 足柄上郡松田村

郡長 中村 舜次郎  
郡書記 露木 房吉  
看守長 高橋 元次郎  
監獄書記 水島 傳次郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○横須賀監獄支署 三浦郡豐島村

監獄書記 支署長 大谷 次周  
看守長 太田 豐明  
監獄書記 豐

○小田原監獄支署 足柄下郡小田原町

監獄書記 支署長 木村 義利  
看守長 伊藤 賢吉  
監獄書記 豐

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎

○都筑郡役所 都筑郡都田村

郡長 白根 鼎三  
郡書記 飯塚 民治郎  
看守長 飯塚 民治郎  
監獄書記 飯塚 民治郎



○警部 警部長野間口兼一  
 部長 野間口兼一  
 一 部長 野間口兼一  
 二 部長 野間口兼一  
 三 部長 野間口兼一  
 四 部長 野間口兼一  
 五 部長 野間口兼一  
 六 部長 野間口兼一  
 七 部長 野間口兼一  
 八 部長 野間口兼一  
 九 部長 野間口兼一  
 十 部長 野間口兼一

○龍野警察署 攝西郡龍野町  
 署長 攝西 幸吉  
 九 九 攝西 幸吉 安大 四郎

○赤穂警察署 赤穂郡赤穂町  
 署長 赤穂 泰 藤太郎  
 九 九 赤穂 泰 藤太郎

○山崎警察署 宍粟郡山崎町  
 署長 山崎 高 信民  
 九 九 山崎 高 信民

○篠山警察署 多紀郡篠山町  
 署長 篠山 藤 近治  
 九 九 篠山 藤 近治

○柏原警察署 永上郡柏原町  
 署長 柏原 禮 見金之丞  
 九 九 柏原 禮 見金之丞

○兵庫警察署 神戶市相生町  
 署長 相生 弘 義  
 九 九 相生 弘 義

○須磨警察署 八郡須磨村  
 署長 須磨 忠 興  
 九 九 須磨 忠 興

○西宮警察署 武庫郡西宮町  
 署長 西宮 山 田 齊  
 九 九 西宮 山 田 齊

○伊丹警察署 川邊郡伊丹町  
 署長 伊丹 原 安 太  
 九 九 伊丹 原 安 太

○三田警察署 有馬郡三田町  
 署長 三田 西 村 重 雄  
 九 九 三田 西 村 重 雄

○明石警察署 明石郡明石町  
 署長 明石 井 手 豐 次  
 九 九 明石 井 手 豐 次

○三木警察署 美濃郡三木町  
 署長 三木 福 田 增 夫  
 九 九 三木 福 田 增 夫

○北條警察署 加西郡北條町  
 署長 北條 藤 井 醇  
 九 九 北條 藤 井 醇

○社警察署 加東郡社村  
 署長 社 池 永 三 章  
 九 九 社 池 永 三 章

○中村警察署 多可郡中村  
 署長 中村 井 上 權 藏  
 九 九 中村 井 上 權 藏

○加古川警察署 加古郡加古川町  
 署長 加古川 森 村 清  
 九 九 加古川 森 村 清

○魚橋警察署 印南郡阿彌陀村  
 署長 魚橋 朝 枝 澄 江  
 九 九 魚橋 朝 枝 澄 江

○姫路警察署 姫路市國府寺町  
 署長 姫路 島 村 勇  
 九 九 姫路 島 村 勇

○收稅部 收稅長南 挺 三  
 部長 南 挺 三  
 一 南 挺 三  
 二 南 挺 三  
 三 南 挺 三  
 四 南 挺 三  
 五 南 挺 三  
 六 南 挺 三  
 七 南 挺 三  
 八 南 挺 三  
 九 南 挺 三  
 十 南 挺 三

○神戶收稅署 神戶市東川崎町  
 署長 神戶 石 山 峻  
 九 九 神戶 石 山 峻

○西宮收稅署 武庫郡西宮町  
 署長 西宮 河 合 要 造  
 九 九 西宮 河 合 要 造

○收稅部 收稅長南 挺 三  
 部長 南 挺 三  
 一 南 挺 三  
 二 南 挺 三  
 三 南 挺 三  
 四 南 挺 三  
 五 南 挺 三  
 六 南 挺 三  
 七 南 挺 三  
 八 南 挺 三  
 九 南 挺 三  
 十 南 挺 三

○收稅部 收稅長南 挺 三  
 部長 南 挺 三  
 一 南 挺 三  
 二 南 挺 三  
 三 南 挺 三  
 四 南 挺 三  
 五 南 挺 三  
 六 南 挺 三  
 七 南 挺 三  
 八 南 挺 三  
 九 南 挺 三  
 十 南 挺 三

○收稅部 收稅長南 挺 三  
 部長 南 挺 三  
 一 南 挺 三  
 二 南 挺 三  
 三 南 挺 三  
 四 南 挺 三  
 五 南 挺 三  
 六 南 挺 三  
 七 南 挺 三  
 八 南 挺 三  
 九 南 挺 三  
 十 南 挺 三

○收稅部 收稅長南 挺 三  
 部長 南 挺 三  
 一 南 挺 三  
 二 南 挺 三  
 三 南 挺 三  
 四 南 挺 三  
 五 南 挺 三  
 六 南 挺 三  
 七 南 挺 三  
 八 南 挺 三  
 九 南 挺 三  
 十 南 挺 三

○伊丹收稅署 川邊郡伊丹町

收稅屬 署長 如中 壯二 九 六 小林猪三吉 大野 郡治 三宅 文吉 十 九 工藤 昭

○三田收稅署 有馬郡三田町

收稅屬 署長 中村長次郎 八 八 西山富三郎 中村長次郎 八 八 西山富三郎

○明石收稅署 明石郡明石町

收稅屬 署長 近藤 純一 九 六 山田 真作 阿部 總藏 十 九 川添健太郎 河本 六藏 十 十 小島武四郎 山本下鴨夫 十 十

○社收稅署 加東郡社村

收稅屬 署長 山田 五郎 九 七 松田幸太郎 佐野 善治 十 十 宇敷 敬一 柏木 甚八 十 十 不動佳九郎 結城 親敬

○加古川收稅署 加古郡加古川町

收稅屬 署長 北部 正俊 七 七 津田 忍 和野 謙之助 津澤 謙一郎

○姫路收稅署 姫路市本町

收稅屬 署長 山家 龍 八 八 後藤 博見 眞野 龍一 十 十 小野久兵衛 原 隆 十 十 井上吉之助 福水 竹藏

○田原收稅署 神東郡田原村

收稅屬 署長 江口 彦助 十 八 平田眞佐久 高橋綱四郎 十 八 山本 榮吉 大塚彦太郎

○龍野收稅署 揖西郡龍野町

收稅屬 署長 小林 正吉 七 七 鈴木啓三郎 水谷哲太郎 十 十 内藤 正衛 三尾孫一郎 十 十 内海 充

○赤穂收稅署 赤穂郡赤穂町

收稅屬 署長 志知太一郎 九 八 細内三太郎 月本 節 十 十 山田 莊次 平野 孝始

○山崎收稅署 安曇郡山崎町

收稅屬 署長 田原 喜美 八 八 天野 明性 瀧澤孝次郎 八 八 山崎 三郎

○豐岡收稅署 城崎郡豐岡町

收稅屬 署長 村上 貫一 九 六 金井 尙正 吉岡健太郎 十 十 芝岡 貞八 吉岡茂三郎 十 十 三寺 利夫 岡田茂三郎 十 十 福谷平一郎

○和田山收稅署 朝來郡和田山村

收稅屬 署長 伊藤 計司 九 七 積山 元俊 加藤 忍 十 十 渡邊 宗十 岩田保太郎 十 十 尾崎 宗太郎 阪口字太郎

○村岡收稅署 七美郡村岡町

收稅屬 署長 井上精一郎 八 八 藤井珠七郎 三雲 長 十 十 水本 八郎 大鹽 積

○柏原收稅署 氷上郡柏原町

收稅屬 署長 石川助太郎 十 十 町田 善太郎 藤原保太郎 十 十 石黒 明義

○篠山收稅署 多紀郡篠山町

收稅屬 署長 菅澤 文雄 十 八 藤田 六彌 桂 傳治 十 八 田中 正治 野崎仙太郎 十 八 大槻由太郎

○洲本收稅署 津名郡洲本町

收稅屬 署長 石井 辰也 八 七 小山 九甫 山田莊次郎 十 十 長門 正利 嶋木不二夫 十 十 金井 次郎 藤井光太郎

○市村收稅署 三原郡市村

收稅屬 署長 三浦 幸二 八 八 寺田 留吉 島田恒太郎 十 十 船越 徳太郎 福井 竹藏

○監獄署

監獄書記 典獄櫻井 高尙

○武庫郡役所 武庫郡西宮町

郡長 八 八 天阿部 光忠 郡書記 建部 眞 八 神保 眞三 小西 融 十 八 大路 武雄 井上 益一 十 八 高安 武雄 淀 久吉 十 八 是成丑之助 西宮 田澤 熊江

○有馬郡役所 有馬郡三田町

郡長 八 八 正穴戸 秀策 郡書記 賀集 輝吉 八 八 高橋 克 福高作之助 十 十 下垣 順治 武川 鈺吉 十 十 西田 和 前中 訓 十 十 堀部 和 北村高次郎 十 十 湯山 小西 正真

○八郡郡役所 神戸市荒田村

郡長 八 八 天小林 市次 郡書記 竹末 朗 十 十 岡村 勇造 一色大八郎 十 十 岡崎 春三 小泉 始人 十 十 萩 春次 村田源太郎 十 十 藤川 豊三郎 藤田九兵衛 十 十 新田 惣兵衛 林田 山田 新田 惣兵衛

○川邊郡役所 川邊郡伊丹町

郡長 七 七 藤井 雅太 郡書記 小島 友吉 八 八 西泉 有文 酒井 豊太郎 十 十 岸田 三郎 松田 庄司 十 十 木下 氏明 小山 三平 十 十 伊藤 留七 西 常藏 十 十 山本 留七 大塚 謙之介 十 十 藤津 信太郎 伊丹 町長 入江 興三郎 十 十 田中 機之助 小田 井關 十郎 十 十 立花 今井 正太郎 前田 牛兵衛 十 十 長尾 乾 恒三郎 田川 善近 十 十 岩田 彦兵衛 福井 藤之介 十 十 奥知 信十郎 福井 源之介 十 十 小畑 左平治 岡田 米藏 十 十 福本 新三郎 高平 多田 小濱 福井 源之介 十 十 奥知 信十郎 多田 福井 源之介 十 十 福本 新三郎

○看守長

看守長 第二看守長 加藤 雄造

村長 三輪 前中 市次 道場 芝田吉三郎  
 野條長三郎 山口 芝田虎之介  
 切田覺三郎 八多 吉安作太郎  
 大野 稻生孫兵衛 貴志 殿勝彌十郎  
 中野 岡本 顯治 小野 木庄 中村駒太郎  
 酒井 顯吉 小野 奧谷七兵衛

○明石郡役所 明石郡明石町 藤井一郎

郡長 藤井一郎  
 郡書記 河村馬太郎 八 中島 正久  
 松本 義信 十 鈴木久之助  
 有馬 八郎 (月一〇) 生田 萬次郎  
 杉山 健吉 (月八) 二星 富雄  
 野尻 角平 (月七) 武藤 信重

○美囊郡役所 美囊郡三木町 田庸

郡長 田庸  
 郡書記 丹羽 信雄 九 原田 耕造  
 平島 其弘 十 寺尾 梶三郎  
 油田 胤男 (月一〇) 土井 彦七郎

○加東郡役所 加東郡社村 渡邊 賤郎

郡長 渡邊 賤郎  
 郡書記 大塚 倫一 九 小林 豐次郎  
 井上 萬司 十 初田 要  
 長安 新彌 十 岩佐 一  
 小川 廣光 (月八) 廣瀬 久真  
 堀井 實二 (月六) 廣瀬 久真

○多可郡役所 多可郡中村 片山 貞幹

郡長 片山 貞幹  
 郡書記 有阪 貞藏 九 小林 宗  
 合田 榮治 九 小西 忠  
 吉田 亮平 (月九) 奧村 忠

○加古郡役所 加古郡加古川町 井上政次郎

郡長 井上政次郎  
 郡書記 八木 慶介 八 井上政次郎  
 篠山 卯一 十 下田 玄十二  
 鳴瀧 彰 (月一〇) 富澤 芳太郎

○加西郡役所 加西郡北條町 神代 淳一郎

郡長 神代 淳一郎  
 郡書記 內藤 圓次郎 八 安積 重次郎  
 福永 市次郎 九 近藤 繁治  
 菅野 卯太郎 (月八) 柏木 顯治  
 高井 宇太郎 (月六) 平林 禮治  
 尾芝 清一 (月七) 柏原 徳松  
 北條 三枝 宇重郎

○飾東郡役所 姫路市龍野町 野口 可輔

郡長 野口 可輔  
 郡書記 角田 義和 九 中川 廣清  
 木村 重彦 十 黒田 仲藏  
 佐野 真次郎 (月一〇) 飯塚 重雄  
 吉田 貞太郎 (月七) 中山 玄三  
 大川 勝太郎 (月七) 下里 順

○印南郡役所 印南郡曾根村 天富田 耕司

郡長 天富田 耕司  
 郡書記 渡邊 直吉 九 赤松 完一  
 佐々木 源藏 九 田中 俊二  
 大川 新藏 (月一〇) 中垣 鶴三郎  
 渡邊 信一 (月七) 梶原 富吉

○神東郡役所 神東郡田原村 倉本 雄三

郡長 倉本 雄三  
 郡書記 大杉 兵太郎 九 藤本 節二

○攝東郡役所 攝東郡龍野町 内海 忠詩

郡長 内海 忠詩  
 郡書記 湯淺 武 八 鹽津 義夫  
 吉田 典則 九 松本 四郎  
 宗野 徳太郎 (月九) 松本 義夫  
 大高 義路 (月八) 松本 義夫  
 長谷川 卯作 (月八) 土橋 兼介

○加古郡役所 加古郡加古川町 井上政次郎

郡長 井上政次郎  
 郡書記 八木 慶介 八 井上政次郎  
 篠山 卯一 十 下田 玄十二  
 鳴瀧 彰 (月一〇) 富澤 芳太郎

○加西郡役所 加西郡北條町 神代 淳一郎

郡長 神代 淳一郎  
 郡書記 內藤 圓次郎 八 安積 重次郎  
 福永 市次郎 九 近藤 繁治  
 菅野 卯太郎 (月八) 柏木 顯治  
 高井 宇太郎 (月六) 平林 禮治  
 尾芝 清一 (月七) 柏原 徳松  
 北條 三枝 宇重郎

○加古郡役所 加古郡加古川町 井上政次郎

郡長 井上政次郎  
 郡書記 八木 慶介 八 井上政次郎  
 篠山 卯一 十 下田 玄十二  
 鳴瀧 彰 (月一〇) 富澤 芳太郎

○加西郡役所 加西郡北條町 神代 淳一郎

郡長 神代 淳一郎  
 郡書記 內藤 圓次郎 八 安積 重次郎  
 福永 市次郎 九 近藤 繁治  
 菅野 卯太郎 (月八) 柏木 顯治  
 高井 宇太郎 (月六) 平林 禮治  
 尾芝 清一 (月七) 柏原 徳松  
 北條 三枝 宇重郎





<p>八 高松為太郎 (月一〇)</p> <p>九 藤江哲三 (月一〇)</p> <p>八 八田隆太郎 (月八)</p> <p>九 日永信雄 (月七)</p> <p>八 岩田康郎 (由真)</p> <p>九 岩田友次 (友次)</p> <p>八 田村堅三郎 (千草)</p> <p>九 佐野助三郎 (潮)</p> <p>八 清水正三郎 (安乎)</p> <p>九 中川義之助 (中野)</p> <p>八 鹽田逸郎 (佐野)</p> <p>九 今岡三治 (來馬)</p> <p>八 正井清五郎 (仁井)</p> <p>九 島田七兵衛 (淺野)</p> <p>八 濱田欣一 (尾崎)</p> <p>九 菅野福太郎 (尾家)</p> <p>八 廣田作十郎 (大町)</p> <p>九 木谷文五郎 (山田)</p> <p>八 佐野雄作 (島)</p> <p>九 千葉宮次郎 (島)</p> <p>八 野島 (島)</p>	<p>八 藤木主一郎 (砂河英一)</p> <p>九 大岡寛 (林忠三郎)</p> <p>八 廣田 (廣田)</p> <p>九 津井 (津井)</p> <p>八 志知 (志知)</p> <p>九 八木 (八木)</p> <p>八 神代 (神代)</p> <p>九 北阿 (北阿)</p> <p>八 津島 (津島)</p> <p>九 武岡 (武岡)</p> <p>八 沼田 (沼田)</p> <p>九 阿萬 (阿萬)</p> <p>八 沼島 (沼島)</p> <p>九 山口 (山口)</p> <p>八 恒雄 (恒雄)</p> <p>九 濱田 (濱田)</p> <p>八 船越 (船越)</p> <p>九 原口 (原口)</p> <p>八 武田 (武田)</p> <p>九 野上 (野上)</p> <p>八 中河 (中河)</p> <p>九 理三 (理三)</p>	<p>八 安倍 (安倍)</p> <p>九 藤井 (藤井)</p> <p>八 三澤 (三澤)</p> <p>九 内原 (内原)</p> <p>八 砂川 (砂川)</p> <p>九 島田 (島田)</p> <p>八 十河 (十河)</p> <p>九 武岡 (武岡)</p> <p>八 沼田 (沼田)</p> <p>九 阿萬 (阿萬)</p> <p>八 沼島 (沼島)</p> <p>九 山口 (山口)</p> <p>八 恒雄 (恒雄)</p> <p>九 濱田 (濱田)</p> <p>八 船越 (船越)</p> <p>九 原口 (原口)</p> <p>八 武田 (武田)</p> <p>九 野上 (野上)</p> <p>八 中河 (中河)</p> <p>九 理三 (理三)</p>	<p>八 堀房 (堀房)</p> <p>九 佐五郎 (佐五郎)</p> <p>八 松原 (松原)</p> <p>九 貞幹 (貞幹)</p> <p>八 藤野 (藤野)</p> <p>九 秀次 (秀次)</p> <p>八 苗村 (苗村)</p> <p>九 佐太郎 (佐太郎)</p> <p>八 村井 (村井)</p> <p>九 作十郎 (作十郎)</p> <p>八 池田 (池田)</p> <p>九 幸輔 (幸輔)</p>	<p>八 小森 (小森)</p> <p>九 慶助 (慶助)</p> <p>八 堀尾 (堀尾)</p> <p>九 小倉 (小倉)</p> <p>八 前波 (前波)</p> <p>九 津田 (津田)</p> <p>八 立本 (立本)</p> <p>九 飯田 (飯田)</p> <p>八 俊真 (俊真)</p> <p>九 高橋 (高橋)</p> <p>八 信三 (信三)</p> <p>九 春山 (春山)</p> <p>八 弟彦 (弟彦)</p>
--	---	---	---	--

○三原郡役所

郡長 依藤 忠夫

郡書記 依藤 忠夫

町長 岡田長七郎

町長 岡田長七郎

○尋常師範學校

校長 小伊村 則久

校長 小伊村 則久

校長 小伊村 則久

校長 小伊村 則久

○尋常中學校

校長 小森 慶助

校長 小森 慶助

校長 小森 慶助

校長 小森 慶助

○神戸商業學校

校長 今立 吐醉

校長 今立 吐醉

校長 今立 吐醉

校長 今立 吐醉

○神戸病院

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

院長 鹿兒島時成

○農事試驗場

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

場長 吉田 忠藏

○神戸市役所

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

市長 鳴瀧 幸恭

○姫路市役所

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

市長 有留 清

○姫路病院

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

院長 鈴木 徳男

兵庫縣

○長崎縣

長崎市外浦町

知事

大森 鍾一

書記官

水 浩躬  
長崎市豐後町一番官舎

警部長

入 佐 清靜

收稅長

宿 信一

參事官

谷 留五郎

技師

秀 四郎

典獄

元 吉

○知事官房

吉田 永一郎  
西彼杵郡上長崎村中川二百六十番

○内務部

部長 野口 勝馬  
第一課長 加悦 長  
第二課長 永田 定之  
第三課長 松尾 茂  
書記官 水 浩躬  
參事官 谷 留五郎  
技師 高嶺 秀四郎  
技師 肥田 春次郎

○警察部

部長 入 佐 清靜

警務部長 大橋 直正  
 警務部長 後藤 正三郎  
 警務部長 坂本 輝夫  
 警務部長 大石 義重  
 警務部長 清野 俊之亮  
 警務部長 海老原 政直  
 警務部長 石原 靜次郎  
 警務部長 渡邊 三郎  
 警務部長 長崎市東濱町

○長崎警察署 長崎市長濱町  
 署長 城甲子太郎  
 警務部長 篠原 孝之助  
 警務部長 野田 耕夫  
 警務部長 安之

○梅香崎警察署 長崎市長梅香崎町  
 署長 吉田 嘉一郎  
 警務部長 岡田 新三郎  
 警務部長 浦田 傳助

○浦上警察署 西彼杵郡浦上山里村  
 署長 八幡 宗吉  
 警務部長 八幡 宗吉  
 警務部長 八幡 宗吉  
 警務部長 八幡 宗吉

○島原警察署 南高來郡島原町  
 署長 川上 真助

○大村警察署 東彼杵郡大村町  
 署長 川上 民吉  
 警務部長 川上 民吉  
 警務部長 川上 民吉

○諫早警察署 北高來郡諫早村  
 署長 松崎 惟氏  
 警務部長 松崎 惟氏  
 警務部長 松崎 惟氏

○平戸警察署 北松浦郡平戸町  
 署長 小川 吉治郎  
 警務部長 小川 吉治郎  
 警務部長 小川 吉治郎

○武生水警察署 石田郡武生水村  
 署長 金子 武五郎  
 警務部長 金子 武五郎  
 警務部長 金子 武五郎

○嚴原警察署 下縣郡天道茂町  
 署長 伊藤 慶知  
 警務部長 伊藤 慶知  
 警務部長 伊藤 慶知

○福江警察署 南松浦郡福江村  
 署長 國枝 滿房  
 警務部長 國枝 滿房  
 警務部長 國枝 滿房

○收稅部  
 部長 收稅長 今宿 信一  
 收稅長 今宿 信一  
 收稅長 今宿 信一

○長崎水上警察署 長崎市出島町  
 署長 江口 峯吉  
 警務部長 江口 峯吉  
 警務部長 江口 峯吉

○諫早收稅署 北高來郡諫早村  
 署長 近松 金二  
 警務部長 近松 金二  
 警務部長 近松 金二

○島原收稅署 南高來郡島原町  
 署長 栗崎 定  
 警務部長 栗崎 定  
 警務部長 栗崎 定

○平戸收稅署 北松浦郡平戸町  
 署長 真崎 雄四郎  
 警務部長 真崎 雄四郎  
 警務部長 真崎 雄四郎

○福江收稅署 南松浦郡福江村  
 署長 山崎 五郎  
 警務部長 山崎 五郎  
 警務部長 山崎 五郎

○武生水收稅署 石田郡武生水村  
 署長 石田 武生  
 警務部長 石田 武生  
 警務部長 石田 武生

○監獄署 長崎市片淵郷  
 典獄長 山室 元吉  
 監獄長 山室 元吉  
 監獄長 山室 元吉

○大村監獄支署 東彼杵郡大村町  
 支署長 東彼杵 大村  
 監獄長 東彼杵 大村  
 監獄長 東彼杵 大村

○平戸監獄支署 北松浦郡平戸町  
 支署長 北松浦 平戸  
 監獄長 北松浦 平戸  
 監獄長 北松浦 平戸

○福江監獄支署 南松浦郡福江村  
 支署長 南松浦 福江  
 監獄長 南松浦 福江  
 監獄長 南松浦 福江

○嚴原監獄支署 下縣郡天道茂町  
 支署長 下縣郡 天道茂  
 監獄長 下縣郡 天道茂  
 監獄長 下縣郡 天道茂

○西彼杵郡役所 長崎市岩原郷  
 郡長 岩原 謙吾  
 警務部長 岩原 謙吾  
 警務部長 岩原 謙吾

<p><b>北松浦郡役所</b> 北松浦郡平戸町</p> <p>郡長 七等 正七 大 山川 景範</p> <p>郡書記</p> <p>大濱 信九 三浦 廣海 十 水野尾忠三郎 月一〇</p>	<p><b>北高來郡役所</b> 北高來郡早町</p> <p>郡長 七等 近藤 豐兆</p> <p>郡書記</p> <p>荒木 政恒 九 瀧川 之允 十 宮本 彦雄 月八 持永 幸徳 月七 島合 勲平 月七</p>	<p><b>東彼杵郡役所</b> 東彼杵郡大村町</p> <p>郡長 七等 正七 朝長 東九郎</p> <p>郡書記</p> <p>瀧野 俊五郎 九 志水 平五郎 十 山下 孫市 月八 山口 淳一 月七 田崎房太郎 月七 山口直太郎 月七</p>	<p><b>南高來郡役所</b> 南高來郡島原町</p> <p>郡長 七等 近藤 力彌太</p> <p>郡書記</p> <p>小野 長平 九 小長井 宇野 月七 藤山 三郎 月七 湯山 三郎 月七 赤野 三郎 月七 山崎 三郎 月七 藤原 三郎 月七 長田 三郎 月七 北野 三郎 月七 野田 三郎 月七</p>
---	---	---	--

<p><b>南松浦郡役所</b> 南松浦郡江村</p> <p>郡長 八等 正七 下河邊 充美</p> <p>郡書記</p> <p>佐野 俊太郎 八 松尾 其平次 九 松田 久誠 十 松園 繁馬 月八 佐藤 太郎 月八 山下 保太郎 月八</p>	<p><b>壹岐郡役所</b> 石田郡武生水村</p> <p>郡長 七等 三 富 道臣</p> <p>郡書記</p> <p>永元 嘉十郎 九 松本 半次郎 十 島田 清四郎 月七 町田 丈介 月七</p>	<p><b>對馬島廳</b> 下縣郡宮谷町</p> <p>對馬警備隊司令官 陸軍少將 中岡 黙</p> <p>中佐 佐藤 六郎</p> <p>新吉 六 嵐田 順三 月七</p>	<p><b>尋常師範學校</b> 長崎市馬場郷</p> <p>校長 八等 五 長崎 市 伊勢町二</p> <p>小學校教員 梅野 兵太郎 檢査委員 長崎 市 木下町六 十五番 原口 松次郎</p>
--	--	--	--

○病院

長崎市小島郷

院長 兼小兒科醫長 吉田 健康

次長 兼外科醫長 田代 正

內科醫長 第五高等學校教授 大谷 周庵

外科醫長 第五高等學校教授 栗本 東明

婦人科產科醫長 第五高等學校教授 安尾 清治

眼科醫長 第五高等學校教授 高山 尚平

調劑長 第五高等學校教授 村上 安藏

調劑員 長崎縣醫學士 瀧月 英叔

原口 謙爾 (月二〇)

池邊榮次郎 (月二〇)

友田誠太郎 (月二〇)

池田健藏 (月二〇)

武部元治 (月二〇)

中島完平 (月二〇)

吉川元章 (月二〇)

中村金三 (月二〇)

松田善太郎 (月二〇)

永野榮吉 (月二〇)

井手守朝 (月二〇)

西政保 (月二〇)

森路五六郎 (月二〇)

名譽職市參事會員

竹下 佳治

林 耕作

鹿兒島時成

若杉政之助

磯田 次郎

○新潟縣

新潟市東中通一番町

知事 三輪 籠手田 安定

書記官 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

警部長 兼新沼稅關長文官 新沼市警所通二番町官舎

收稅長 兼新沼稅關長文官 新沼市警所通二番町官舎

參事官 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

技師 官報報告主任文官 新沼市警所通二番町官舎

○知事官房

川原 兼寛 (月二〇)

岡田 有邦 (月二〇)

木村 武雄 (月二〇)

飯島幸三郎 (月二〇)

三宅 總彌 (月二〇)

善政 (月二〇)

本多吉次郎 (月二〇)

杉本 重遠 (月二〇)

西澤 正太郎 (月二〇)

黒田 豊太郎 (月二〇)

藤 章 (月二〇)

今井 退藏 (月二〇)

西村 保信 (月二〇)

吉村貞二 (月二〇)

網野清次郎 (月二〇)

久保田堅次 (月二〇)

村上 重次 (月二〇)

小川 重次 (月二〇)

小川 重次 (月二〇)

小川 重次 (月二〇)

小川 重次 (月二〇)

小川 重次 (月二〇)

小川 重次 (月二〇)

小川 重次 (月二〇)

○長崎市役所

市長 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長

市役所 北原 雅長











**岩船郡役所** 岩船郡村上市町  
 郡長 岩船郡村上市町  
 郡書記 岩船郡村上市町

**岩船郡村上市町**  
 東能生 橋立 彌平 南能生 阿部 租平  
 西能生 佐藤兵十郎 中能生 室山新治郎  
 木浦 磯谷 健治 浦本 倉又常三郎  
 北早川 吉原 大造 西早川 關澤 基  
 南早川 渡邊榮次郎 西山 中橋 太治 右衛門  
 東山 恩田孫太郎 大和川 見邊善左衛門  
 北西海 松村 直松 南西海 野崎 徳松  
 柳形 中村 美樹 中根 知  
 上根知 伊藤重五郎 小淵 中倉 利忠治  
 下根知 宮島 一作 須澤 梅澤 常治郎  
 今井 七澤 末吉 青海 渡邊 正策  
 田外波 尾崎 三郎 市振 片桐 利七  
 上波 松澤 安五郎 鬼伏 増野 政太郎  
 棚田 永越 清作 土田 繁雄 永澤 徳左衛門  
 上能生 土田 繁雄

**岩船郡役所** 岩船郡村上市町  
 郡長 岩船郡村上市町  
 郡書記 岩船郡村上市町

**岩船郡村上市町**  
 南保内 鈴木 定藏 女川 平林  
 川北 須貝 總十郎 西神 納  
 鹽屋 石田 源太郎 東神 納  
 山邊里 川村 次郎 門前 谷  
 館 板垣 吉之丈 高根 部  
 岩野 高橋 八重吉 大須 戸  
 鹽野 宮崎 徳吉 中 俣  
 大川 谷 富樫 長吉 八輪 上  
 下海 加藤 定政 大津 渡路  
 磯澤 高橋 徳次郎 松田 彌五郎  
 海老江 高橋 徳次郎 松田 彌五郎  
 粟島 浦 小林 宇八郎 柏葉 仁三郎

**尋常師範學校** 新潟市旭町通三番町  
 校長 岩船郡村上市町  
 教員 岩船郡村上市町

**尋常師範學校** 新潟市旭町通三番町  
 校長 岩船郡村上市町  
 教員 岩船郡村上市町

**加茂郡役所** 雜太郡相川町  
 郡長 雜太郡相川町  
 郡書記 雜太郡相川町

**加茂郡相川町**  
 上野 茂三郎 九 入野 古藤 常藏  
 藤本 繁 十 大竹 求吉  
 金井 勇 十 黒田 永吉  
 伊藤 總太郎 八 長谷川 俊平  
 山田 典手 八 若林 藤太郎  
 上月 彌 八 若林 藤太郎

**岩船郡役所** 岩船郡村上市町  
 郡長 岩船郡村上市町  
 郡書記 岩船郡村上市町

**岩船郡村上市町**  
 清水 義數 九 入野 古藤 常藏  
 新部 惟一 九 大竹 求吉  
 山崎 彌太郎 八 長谷川 俊平  
 南原 駒吉 八 若林 藤太郎  
 岩船 村上市町 中居 達道  
 岩船 村上市町 中居 達道  
 岩船 村上市町 中居 達道  
 岩船 村上市町 中居 達道

**教諭** 小學校教員 大島多計比古  
 三上(主任) 衛委員正八  
 三上(主任) 衛委員正八  
 三上(主任) 衛委員正八  
 三上(主任) 衛委員正八

**助教諭** 山元敬太郎 五(上) 衛委員山下 新力  
 五(上) 衛委員山下 新力  
 五(上) 衛委員山下 新力  
 五(上) 衛委員山下 新力

**訓導** 今泉 正友 四 福原久米治  
 今泉 正友 四 福原久米治  
 今泉 正友 四 福原久米治  
 今泉 正友 四 福原久米治

**書記** 齊藤喜次郎 五 北村 きい  
 齊藤喜次郎 五 北村 きい  
 齊藤喜次郎 五 北村 きい  
 齊藤喜次郎 五 北村 きい

**尋常中學校** 新潟市大字關屋  
 校長 近藤辰一郎  
 校長 近藤辰一郎  
 校長 近藤辰一郎  
 校長 近藤辰一郎

**尋常師範學校** 新潟市旭町通三番町  
 校長 岩船郡村上市町  
 校長 岩船郡村上市町  
 校長 岩船郡村上市町  
 校長 岩船郡村上市町

**新潟市役所** 市長(年八〇) 鈴木 長藏  
 市長(年八〇) 鈴木 長藏  
 市長(年八〇) 鈴木 長藏  
 市長(年八〇) 鈴木 長藏

**名譽職市參事會員** 鈴木 長八  
 名譽職市參事會員 鈴木 長八  
 名譽職市參事會員 鈴木 長八  
 名譽職市參事會員 鈴木 長八

○埼玉縣

北足立郡浦和町

知事

三男 家 尊 福  
北足立郡浦和町 官舎

書記官

官報報告主任 文官普通試験 委員長主任 收入官吏長 入官吏長 官舎  
吉原 三郎 北足立郡浦和町

警部長

文官普通試験 驗委員長 官舎  
磯谷 熊之助 北足立郡浦和町

收稅長

文官普通試験 委員長主任 收入官吏長 官舎  
宮 質 北足立郡浦和町

參事官

官報報告主任 文官普通試験 驗委員長 小學校教員 員檢定委員長 小學校教員 驗委員長 小學校教員 官舎

技師

正七 岡田 竹五郎 北足立郡浦和町 官舎

典獄

七 高山 幸男 北足立郡浦和町 官舎

○知事官房

山田奈津二郎 七 佐野貞次郎  
鈴木萬四郎 月一 島 養之助  
常見 謙三 月二 渡邊 準

○内務部

部長 書記官 吉原 三郎  
第一課長 參事官 大津 麟平  
第二課長 技師 岡田 竹五郎

市川 次郎 市川 春太郎 市川 幸年 土屋 善太郎 秋元 三千雄 飯島 基助 山崎 康雄  
松井 寛 淺井 長義 草刈 米太郎 政足 谷口 政足  
折下 雅介 野村 定長 今井 周三郎 木原 守三郎 今泉 清五郎 土肥 祐次郎 田村 吉三 奥田 榮之助 渡邊 駒次郎 森內 義道 加藤 寛助

○警察部

部長 警部長 磯谷 熊之助  
大久保 規彰 茂 七 前川 春吉 深

寺崎 助六 佐藤 權次 鹿留 重三 山本 壽三 永澤 殿 大代 殿 須永 貞三郎 伊東 保藏 清水 文吉 吉田 政 進藤 幸次 熊倉 恭三 松田 松三 關根 高吉 森田 林次郎 川島 包作 大泉 龍之輔 辻 富太 野村 武  
石崎 龍之助 稻垣 雄輔 吉澤 猪三郎 寶藤 義雄 多田 鹿次郎 吉田 確造 早川 斗一郎 川上 仙太郎 岡田 得介 林 卓爾 津田 宗助 高橋 謙太郎 正八 加々見 輝信 菊池 直一郎 足立 駒太郎 小川 原次郎 矢田 芳雄 三宅 清熊 野口 佐吉

<p>○浦和警察署 北足立郡浦和町 署長 武田 熊藏</p> <p>○桶川警察署 北足立郡桶川町 署長 西村 三郎</p> <p>○川越警察署 入間郡川越町 署長 大熊 和郎</p> <p>○所澤警察署 入間郡所澤町 署長 大熊 和郎</p> <p>○飯能警察署 高麗郡飯能町 署長 寺本 傳</p> <p>○松山警察署 比企郡松山町 署長 小松 孝</p>	<p>○大宮警察署 秩父郡大宮町 署長 小野 大谷</p> <p>○本莊警察署 見玉郡本莊町 署長 倉内 覺之丞</p> <p>○熊谷警察署 大里郡熊谷町 署長 山上 辰藏</p> <p>○深谷警察署 榛澤郡深谷町 署長 山上 辰藏</p> <p>○忍警察署 北埼玉郡忍町 署長 竹内 其治</p> <p>○加須警察署 北埼玉郡加須町 署長 熊頭 教正</p> <p>○岩槻警察署 南埼玉郡岩槻町 署長 黒田 文次</p>	<p>○越ヶ谷警察署 南埼玉郡越ヶ谷町 署長 水知 忠雄</p> <p>○辛手警察署 北葛飾郡辛手町 署長 佐竹 綱次郎</p>	<p>○收税部 部長 宮 質 收税長 清 宮 質</p>
---	---	--	--------------------------------------

<p>○川越收税署 入間郡川越町 署長 長谷部 益吉</p> <p>○松山收税署 比企郡松山町 署長 末松 友茂</p> <p>○大宮收税署 秩父郡大宮町 署長 赤倉 吉三郎</p> <p>○本莊收税署 見玉郡本莊町 署長 植田 正秋</p> <p>○熊谷收税署 大里郡熊谷町 署長 岩田 周作</p>	<p>○忍收税署 北埼玉郡忍町 署長 吉田 外次郎</p> <p>○岩槻收税署 南埼玉郡岩槻町 署長 鹿沼 和三郎</p> <p>○杉戸收税署 北葛飾郡杉戸町 署長 澤 有三郎</p>	<p>○監獄署 監獄書記 奥野 高山 幸男</p> <p>○北足立郡役所 北足立郡浦和町 郡長 藤 炳</p>	<p>○川越監獄支署 入間郡川越町 支署長 渡邊 徳太郎</p> <p>○熊谷監獄支署 大里郡熊谷町 支署長 志村 順藏</p>
---	--	---	--



郡書記

大	山口善次郎	七
八	山本榮次郎	八
九	坂本常太郎	九
十	島崎清太郎	一〇
十一	西村高貞	一一
十二	大澤芳次郎	一二
十三	石井三彌	一三
十四	三島尉次郎	一四
十五	田部延秋	一五
十六	古市直之進	一六
十七	三木辰五郎	一七
十八	羽生	一八
十九	忍	一九
二十	町長	二〇
二十一	志多見	二一
二十二	三田多見	二二
二十三	高柳	二三
二十四	廣田	二四
二十五	種田	二五
二十六	種田	二六
二十七	種田	二七
二十八	種田	二八
二十九	種田	二九
三十	種田	三〇

南埼玉郡役所

常見	新助	手子林	關根	長藏
金子甚之助	南河原	今村	藤右衛門	
酒卷房次郎	外子	藤村	小島	松次郎
荒木太三郎	外子	藤村	小島	松次郎
江藤	清	今村	喜代助	
武内長兵衛	河野	孝義	八	
平野權三郎	田邊	温知	九	
大久保作次郎	平野	長太郎	一〇	
茂木長太郎	板谷	清吉	一一	
上村	政敏	久喜	一二	
森澤吉五郎	島根	莊三	一三	
杉村	常右衛門	多田	龜十郎	
杉村	常右衛門	多田	龜十郎	
杉村	常右衛門	多田	龜十郎	

北葛飾郡役所

關根	富士太郎	綾瀨	山口	清左衛門
百間	關根	甲子三郎	須賀	吉野
渡邊	加藤	次郎	平野	吉野
三枝	後吉	小	江	面
杉田	市藏	清	久	小
關口	靖次郎	繁	宮	相
佐川	重作	繁	宮	相
大岡	太四郎	關口	甚	吉
松村	橋	敬	太	九
阿部	慶	壽	十	九
阿部	慶	壽	十	九
阿部	慶	壽	十	九
阿部	慶	壽	十	九

尋常師範學校

校長 北足立郡浦和町  
 文官普通試驗委員 小矢部 善藏  
 學校教員檢定委員 小矢部 善藏  
 學校教員檢定委員 北足立郡浦和町

三輪野江 中村綱太郎 吉川 高鹿 新八  
 早稻田 齊藤育三郎 戸夕崎 池内 廣愛  
 八木郷 篠田喜兵衛 豐岡 新井和乎  
 櫻井 加藤惣五郎 寶珠花 中島 作平  
 富多 林 重四郎 南郷井 小林 享一  
 川邊 關口金兵衛 金杉 鈴木市兵衛

訓練

後長松二郎 三 窪田 スミ  
 宇田川藤四郎  
 鈴木保太郎 中島 協和  
 高橋喜右衛門 慈恩寺  
 中山 雄助

書記

鈴木保太郎 中島 協和  
 高橋喜右衛門 慈恩寺  
 中山 雄助

群馬縣

東群馬郡前橋  
曲輪町

知事

中村 元雄  
前橋市北曲輪町  
十七番地

書記官

官報報告主任文官  
普通試驗委員長  
職試驗委員長  
武田千代三郎  
前橋市本町十五番地

警部長

文官普通試驗  
驗委員長  
黒川 春造  
前橋市北曲輪町  
警察官舎一號

收稅長

文官普通試驗  
委員長  
高瀬 量  
前橋市南曲輪町  
七十五番地

參事官

官報報告主任文官  
普通試驗委員長  
試驗委員長  
試驗委員長  
横尾 純喬  
前橋市南曲輪町  
九十七番地

技師

文官普通試驗  
驗委員長  
谷村 太刀馬  
前橋市堀川町第三號  
文官普通試驗  
驗委員長  
小西 文之進  
前橋市連雀町第四號

典獄

文官普通試驗  
驗委員長  
前橋市紅雲分村  
監獄官舎一號  
原 三 箴

知事官房

小川 正義  
本間 源治  
岡島 重義  
津金 豐昭  
西川 鍋太郎  
小田 知直  
初岡 龜吉

內務部

部長 書記官武田千代三郎  
第一課長 横尾 純喬  
第二課長 森下 續吉  
第三課長 石川 泰三  
第四課長 岡谷 精一  
第五課長 吉澤賢之助  
第六課長 保坂 武二  
第七課長 岩崎 正矣  
第八課長 辻 鐸三郎  
第九課長 江原 政幸  
第十課長 富樫 竹次  
第十一課長 海老原 三郎  
第十二課長 小出 雅雄  
第十三課長 山崎 角太  
第十四課長 佐野 三四  
第十五課長 山田 立超  
第十六課長 矢野 宗次  
第十七課長 竹澤 宗次  
第十八課長 濱口 光慶  
第十九課長 下山 定六  
第二十課長 舟湖

警察部

部長 黒川 春造  
第一課長 伊藤 景則  
第二課長 佐藤 三吾  
第三課長 岡本 榮次郎  
第四課長 岡本 榮次郎  
第五課長 飛澤 鐵太  
第六課長 吉井 紀男  
第七課長 長谷部 順治  
第八課長 木野 留吉  
第九課長 木野 留吉  
第十課長 木野 留吉  
第十一課長 木野 留吉  
第十二課長 木野 留吉  
第十三課長 木野 留吉  
第十四課長 木野 留吉  
第十五課長 木野 留吉  
第十六課長 木野 留吉  
第十七課長 木野 留吉  
第十八課長 木野 留吉  
第十九課長 木野 留吉  
第二十課長 木野 留吉  
前橋警察署 前橋市曲輪町  
警長 川井 菊太郎  
警長 川井 菊太郎

技手

熊澤 滿次郎  
河田 勝三郎  
飯島 義海  
大澤 徳藏  
佐竹 義明  
清水 泰長  
廣田 友輔  
廣田 玉三郎  
萬田 平次  
萬田 平次  
池谷 恭一  
永井 四郎  
江口 勝治  
佐藤 周徳  
深井 仙八  
竹下 久治郎  
三浦 銀太郎  
川口 定次郎  
鈴木 定次郎  
兩宮 匡  
高柳 虎三郎  
富田 多鶴吉  
津村 勝郎  
内山 房吉  
武野 政利  
山田 安太郎  
池田 爲作  
針谷 五作  
五味 重彦

<p>○高崎警察署 西群馬郡高崎町大字連雀 署長 五 今任收入官近藤 鏡吉</p> <p>○澁川警察署 西群馬郡澁川町 署長 八 出陣官更今 鐵平</p> <p>○安中警察署 碓氷郡安中町大字安中 署長 六 今任收入官岸田 恭謙</p> <p>○富岡警察署 北甘樂郡富岡町大字富岡 署長 九 出陣官更根岸 善吉</p> <p>○藤岡警察署 綠野郡藤岡町大字藤岡 署長 六 今任收入官新居榮三郎</p> <p>○万場警察署 南甘樂郡神川村大字万場 署長 九 出陣官更唐川唯四郎</p> <p>○伊勢崎警察署 佐位郡伊勢崎町 署長 八 今任收入官近藤晋二郎</p>	<p>○太田警察署 新田郡太田町大字太田 署長 七 今任收入官青木熊太郎</p> <p>○館林警察署 邑樂郡館林町大字館林 署長 八 出陣官更山崎勉太郎</p> <p>○桐生警察署 山田郡桐生町大字桐生 署長 八 今任收入官川畑卯八郎</p> <p>○沼田警察署 利根郡沼田町大字沼田 署長 九 今任收入官藤橋 軌之</p> <p>○原町警察署 吾妻郡原町大字原町 署長 八 出陣官更島 忠雄</p> <p>○收稅部 收稅長高瀬 量</p>	<p>○前橋收稅署 前橋市野町 署長 八 中村次郎吉 八</p> <p>○高崎收稅署 西群馬郡高崎町大字連雀 署長 九 入官更黒澤 夏吉 十</p> <p>○藤岡收稅署 綠野郡藤岡町大字藤岡 署長 九 入官更石田 素 十</p> <p>○富岡收稅署 北甘樂郡富岡町大字富岡 署長 九 入官更根本 泰藏 十</p> <p>○安中收稅署 碓氷郡安中町大字安中 署長 六 入官更佐藤甚太郎 十</p>
<p>○中之條收稅署 吾妻郡中之條町大字中之條 署長 七 榎本 英</p> <p>○沼田收稅署 利根郡沼田町大字沼田 署長 九 入官更高橋宇志藏 十</p> <p>○桐生收稅署 山田郡桐生町大字桐生 署長 八 今任收入官藤井林太郎 十</p> <p>○太田收稅署 新田郡太田町大字太田 署長 九 入官更橋本正次郎 九</p> <p>○館林收稅署 邑樂郡館林町大字館林 署長 九 入官更荒井八郎 九</p>	<p>○伊勢崎收稅署 佐位郡伊勢崎町大字伊勢崎 署長 九 入官更高岡 吉次 九</p> <p>○監獄署 典獄福原 三 儀</p> <p>○東群馬郡役所 前橋市野町 郡長七 近藤 忠一 九</p> <p>○南群馬郡役所 前橋市野町 郡長七 市川 喬松 十</p>	<p>○西群馬郡役所 西群馬郡高崎町大字連雀 署長七 水谷 高 七</p> <p>○片岡郡役所 西群馬郡高崎町大字連雀 署長七 出陣官更深谷 徳三郎 十</p> <p>○東群馬郡役所 東群馬郡村長 署長七 上川 淵 八</p> <p>○南群馬郡役所 南群馬郡村長 署長七 金子伊平治 十</p> <p>○富岡郡役所 北甘樂郡富岡町大字富岡 署長七 石田 素 十</p> <p>○安中郡役所 碓氷郡安中町大字安中 署長六 入官更佐藤甚太郎 十</p>

<p>○中之條收稅署 吾妻郡中之條町大字中之條 署長 七 榎本 英</p> <p>○沼田收稅署 利根郡沼田町大字沼田 署長 九 入官更高橋宇志藏 十</p> <p>○桐生收稅署 山田郡桐生町大字桐生 署長 八 今任收入官藤井林太郎 十</p> <p>○太田收稅署 新田郡太田町大字太田 署長 九 入官更橋本正次郎 九</p> <p>○館林收稅署 邑樂郡館林町大字館林 署長 九 入官更荒井八郎 九</p>	<p>○伊勢崎收稅署 佐位郡伊勢崎町大字伊勢崎 署長 九 入官更高岡 吉次 九</p> <p>○監獄署 典獄福原 三 儀</p> <p>○東群馬郡役所 前橋市野町 郡長七 近藤 忠一 九</p> <p>○南群馬郡役所 前橋市野町 郡長七 市川 喬松 十</p>	<p>○西群馬郡役所 西群馬郡高崎町大字連雀 署長七 水谷 高 七</p> <p>○片岡郡役所 西群馬郡高崎町大字連雀 署長七 出陣官更深谷 徳三郎 十</p> <p>○東群馬郡役所 東群馬郡村長 署長七 上川 淵 八</p> <p>○南群馬郡役所 南群馬郡村長 署長七 金子伊平治 十</p> <p>○富岡郡役所 北甘樂郡富岡町大字富岡 署長七 石田 素 十</p> <p>○安中郡役所 碓氷郡安中町大字安中 署長六 入官更佐藤甚太郎 十</p>
<p>○中之條收稅署 署長 七 榎本 英</p> <p>○沼田收稅署 署長 九 入官更高橋宇志藏 十</p> <p>○桐生收稅署 署長 八 今任收入官藤井林太郎 十</p> <p>○太田收稅署 署長 九 入官更橋本正次郎 九</p> <p>○館林收稅署 署長 九 入官更荒井八郎 九</p>	<p>○伊勢崎收稅署 署長 九 入官更高岡 吉次 九</p> <p>○監獄署 署長 典獄福原 三 儀</p> <p>○東群馬郡役所 署長七 近藤 忠一 九</p> <p>○南群馬郡役所 署長七 市川 喬松 十</p>	<p>○西群馬郡役所 署長七 水谷 高 七</p> <p>○片岡郡役所 署長七 出陣官更深谷 徳三郎 十</p> <p>○東群馬郡役所 署長七 上川 淵 八</p> <p>○南群馬郡役所 署長七 金子伊平治 十</p> <p>○富岡郡役所 署長七 石田 素 十</p> <p>○安中郡役所 署長六 入官更佐藤甚太郎 十</p>





教諭

小學校教諭甲種 前橋市南曲輪町 林三郎

小學校教諭乙種 六十五番地 渡邊金次郎

小學校教諭丙種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭丁種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭戊種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭己種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭庚種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭辛種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭壬種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭癸種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭甲種 前橋市南曲輪町 友次郎

小學校教諭乙種 前橋市南曲輪町 友次郎

書記

前橋市役所 前橋市南曲輪町 友次郎

市長(兼書記) 友次郎

助役(兼書記) 友次郎

名譽職市參事會員 友次郎

生形柳太郎

江原桂三郎

喜多正雄

藤井新兵衛

勝山牧次郎

田口永八郎

友次郎

友次郎

千葉縣

知事 正 齋 藤 秋 夫

書記官 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

收稅長 齋 藤 秋 夫

參事官 齋 藤 秋 夫

典獄 齋 藤 秋 夫

知事官房 齋 藤 秋 夫

小學校教諭甲種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭乙種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭丙種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭丁種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭戊種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭己種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭庚種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭辛種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭壬種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭癸種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭甲種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭乙種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭丙種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭丁種 齋 藤 秋 夫

內務部

部長 齋 藤 秋 夫

第一課長 齋 藤 秋 夫

第二課長 齋 藤 秋 夫

第三課長 齋 藤 秋 夫

書記官 齋 藤 秋 夫

參事官 齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

齋 藤 秋 夫

知事官房

知事官房 齋 藤 秋 夫

小學校教諭甲種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭乙種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭丙種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭丁種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭戊種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭己種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭庚種 齋 藤 秋 夫

小學校教諭辛種 齋 藤 秋 夫

警察部

部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

警部長 齋 藤 秋 夫

八 八幡分署長谷 豐太郎 九 按川大鐘 朝走  
 九 八幡分署長河野 利光 九 大和町今村 虎藏  
 十 八幡分署長中山 彌平 十 足立 斐

○北條警察署 安房郡北條町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○茂原警察署 長柄郡茂原町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○大多喜警察署 夷隅郡大多喜町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○松戸警察署 東葛飾郡松戸町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○水更津警察署 望陀郡水更津町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○東金警察署 山邊郡東金町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○銚子警察署 海上郡銚子町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○佐倉警察署 印旛郡佐倉町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○松戸收稅署 東葛飾郡松戸町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○佐倉收稅署 印旛郡佐倉町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○佐原收稅署 香取郡佐原町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○銚子收稅署 海上郡銚子町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○木更津收稅署 望陀郡水更津町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○大多喜收稅署 夷隅郡大多喜町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○茂原收稅署 長柄郡茂原町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○東金收稅署 山邊郡東金町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○北條收稅署 安房郡北條町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○監獄署 典獄千石 學  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 監獄書記 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○看守長 典獄千石 學  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 看守長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○船橋警察署 東葛飾郡船橋町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 警部 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○收稅部 收稅長立石 包正  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○千葉收稅署 千葉郡千葉町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○松戸收稅署 東葛飾郡松戸町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○佐倉收稅署 印旛郡佐倉町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治

○佐原收稅署 香取郡佐原町  
 署長 八 小見川 儀助 九 出羽 清治  
 收稅屬 八 小見川 儀助 九 出羽 清治





加藤 成美 (月一三) 古澤 貞造  
助教諭心得(月一〇) 竹内錦四郎  
書記(月一〇) 上原 保俊

○千葉病院 千葉郡千葉町

院長 第一高等學長 尾 精一  
校教授正大  
司療醫長  
第一高等學校教授 長尾 精一  
第一高等學校教授 生 錄造  
第一高等學校教授 三 輪 德寬  
第一高等學校教授 大 瀨 昌者  
第一高等學校教授 大 西 克孝  
第一高等學校教授 正七 筒井 八百珠  
司療醫  
荒野 力雄 (月三三) 堀井 宗一  
司療醫心得(月一八) 黒田 計吉  
當直醫  
平田 繁平 (月一〇) 杉山 直吉  
關根 庄藏 (月二二) 小林久太郎  
行山辰四郎  
藥室長 第一高等學 池口 慶三  
校教授 七  
調劑監(月一七) 黒川 煙  
藥室員(月一〇) 長表  
調劑生(月八) 高倉喜徳治  
調劑生見習(月三) 小宮英次郎  
事務員(月三〇) 吉野 貴道  
病室取締 板倉吉右衛門 (月二二) 田邊左衛門  
鈴木 太郎 (月九) 長谷川高忠

○茨城縣

水戸市大字上

知事

正五、勳五 高崎 親章  
水戸市大字上市  
南三ノ丸

書記官

官報報告主任 文官普  
通試験委員長 神職尋  
常試験委員長 主任 渡邊 孝  
入官吏議入議出外現  
金出納官 吏正 大 北三ノ丸

警部長

文官普通試験委員 川上 親義  
陸軍憲兵少尉 正七  
水戸市大字上市  
南三ノ丸官舎

收稅長

文官普通試験  
委員主任 收入 永田 盛信  
官吏 吏正 六 水戸市大字上市  
泉町片町

參事官

文官普通試験  
委員 小學校教員 竹内 熊二  
員 銚衛委員 正七  
水戸市大字上市  
天王町

技師

從七 野田 六次  
水戸市大字上市  
梅香

典獄

正八 古城 彌二郎  
水戸市大字上市  
北三ノ丸官舎

○知事官房

文官普通 留三郎 七  
文官普通 清水 惠敏  
三木芳太郎 九  
清水大次郎 七  
澤政常 十  
小川守道 十  
大津 幸信

○內務部

部長 政載 五  
參事官 竹内 熊二 孝  
書記官 渡邊 孝  
第三課長 園部 實  
第一課長 和知 忠順  
第二課長 一色 範叙  
第三課長 中島 泰雄  
第四課長 倉田亮次郎  
第五課長 手塚 應進  
第六課長 根本 尙明  
第七課長 根本 尙明  
第八課長 根本 尙明  
第九課長 根本 尙明  
第十課長 根本 尙明  
第十一課長 根本 尙明  
第十二課長 根本 尙明  
第十三課長 根本 尙明  
第十四課長 根本 尙明  
第十五課長 根本 尙明  
第十六課長 根本 尙明  
第十七課長 根本 尙明  
第十八課長 根本 尙明  
第十九課長 根本 尙明  
第二十課長 根本 尙明

○警察部

部長 川上 親義

警部 鈴木 匡曹 七  
外岡 貳定 九  
平井 政先 十  
警部 鈴木 匡曹 七  
外岡 貳定 九  
平井 政先 十  
警部 鈴木 匡曹 七  
外岡 貳定 九  
平井 政先 十

八下町警署長 山 四郎 九 櫻井警署長 小川 元利 進  
 九 五 櫻井警署長 能知 九 櫻井警署長 吉弘 元利 進  
 十 櫻野長太郎

○土浦警察署 新治郡土浦町  
 署長 櫻野長太郎  
 五 入官更任 入官更任 入官更任  
 六 入官更任 入官更任 入官更任  
 七 入官更任 入官更任 入官更任

○石岡警察署 新治郡石岡町  
 署長 坂井 勳  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○下妻警察署 眞壁郡下妻町  
 署長 眞壁 光正  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○下館警察署 眞壁郡下館町  
 署長 眞壁 立花三七郎  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○太田警察署 久慈郡太田町  
 署長 久慈 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○龍ヶ崎警察署 河内郡龍ヶ崎町  
 署長 龍ヶ崎 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○菅谷警察署 那珂郡菅谷村  
 署長 菅谷 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○水海道警察署 豐田郡水海道町  
 署長 水海道 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○結城警察署 結城郡結城町  
 署長 結城 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○境警察署 猿島郡境町  
 署長 境 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○谷田部警察署 筑波郡谷田部町  
 署長 谷田部 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○江戶崎警察署 信太郡江戶崎町  
 署長 江戶崎 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○磐谷警察署 那珂郡磐谷村  
 署長 磐谷 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○麻生警察署 行方郡麻生町  
 署長 麻生 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○取手警察署 北相馬郡取手町  
 署長 取手 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○笠間警察署 西茨城郡笠間町  
 署長 笠間 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○古河警察署 西葛飾郡古河町  
 署長 古河 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○松原警察署 多賀郡松原町  
 署長 松原 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○鉾田警察署 鹿島郡鉾田町  
 署長 鉾田 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○茨城警察署 茨城郡茨城町  
 署長 茨城 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○龍ヶ崎警察署 河内郡龍ヶ崎町  
 署長 龍ヶ崎 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○水戸警察署 水戸市大字上市  
 署長 水戸 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○笠間警察署 西茨城郡笠間町  
 署長 笠間 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○松原警察署 多賀郡松原町  
 署長 松原 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○菅谷警察署 那珂郡菅谷村  
 署長 菅谷 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○太田警察署 久慈郡太田町  
 署長 太田 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○谷田部警察署 筑波郡谷田部町  
 署長 谷田部 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○土浦警察署 新治郡土浦町  
 署長 土浦 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○麻生警察署 行方郡麻生町  
 署長 麻生 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○取手警察署 北相馬郡取手町  
 署長 取手 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○茨城警察署 茨城郡茨城町  
 署長 茨城 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○龍ヶ崎警察署 河内郡龍ヶ崎町  
 署長 龍ヶ崎 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○水戸警察署 水戸市大字上市  
 署長 水戸 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○笠間警察署 西茨城郡笠間町  
 署長 笠間 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○松原警察署 多賀郡松原町  
 署長 松原 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○菅谷警察署 那珂郡菅谷村  
 署長 菅谷 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○太田警察署 久慈郡太田町  
 署長 太田 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○谷田部警察署 筑波郡谷田部町  
 署長 谷田部 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○土浦警察署 新治郡土浦町  
 署長 土浦 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○麻生警察署 行方郡麻生町  
 署長 麻生 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○取手警察署 北相馬郡取手町  
 署長 取手 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○茨城警察署 茨城郡茨城町  
 署長 茨城 信邦  
 八 入官更任 入官更任 入官更任  
 九 入官更任 入官更任 入官更任

○江戸崎收稅署 信太郎江月崎町

收稅屬 桑原 道三 十 豐島 邦昌 九 菅沼 定隆 十 寺門 力 九 岡田本一 一 八 鈴木 龍 十

○下館收稅署 眞壁郡下館町

收稅屬 關澤 高功 八 酒井 亮 九 山下 政俊 九 細谷 忠男 十 中根八太郎 十 小原 信敬 十 村瀬 鐵衛 十

○宗道收稅署 豐田郡宗道町

收稅屬 猪早 秀 七 高田菊一郎 十 堀越 盛吉 十 寺門 德壽 十 白土民三郎 十

○境收稅署 猿島郡境町

收稅屬 矢野 義作 八 船橋 鐘次郎 十

○監獄署 水戸市大字上市

監獄書記 彌二郎 七 第一部長 石河 幹正 九 第二部長 伊藤長太郎 九 第三部長 服部 敬一 九 第四部長 大沼 正長 九 第五部長 永井 衛敬 九 第六部長 尾崎 抱一 九 第七部長 加藤 望彦 九 第八部長 人見 直 九 第九部長 紀堅 九 第十部長 好義 九

○土浦監獄支署 新治郡土浦町

監獄書記 小林 好義 十 支署長 小松崎 一 十

○下妻監獄支署 眞壁郡下妻町

支署長 藤田 爲徳 十 監獄書記 打越 政憲 十 中嶋 友彦 十

○東茨城郡役所 水戸市大字下市

郡長 加藤 木 八 郡書記 高橋 純 九 大關 義方 九 森山 元光 九 藤川 正 九 高橋 純 九 大關 義方 九 森山 元光 九 藤川 正 九

○西茨城郡役所 西茨城郡笠間町

郡長 牧野 正倫 七 郡書記 加藤 淳風 八 菅谷 量造 九 上野長三郎 九 片岡 義弘 九 青木 教右衛門 九 大關 奇八郎 九 鈴木 藤一 九

○那珂郡役所 那珂郡菅谷村

郡長 井 弘 七 郡書記 多治見 國明 九 木名瀬 芳太郎 九

○久慈郡役所 久慈郡太田町

郡長 田 滋 七 郡書記 山中 幸教 九 大森 尙文 九 横田 誠 九 柿崎 景隆 九

○多賀郡役所 多賀郡松原町

郡長 有 隣 八 郡書記 古澤 重壽 九 山崎 平 九 太田 長 九 小室 義爲 九

○久慈郡役所 久慈郡太田町

郡長 田 滋 七 郡書記 山中 幸教 九 大森 尙文 九 横田 誠 九 柿崎 景隆 九

○多賀郡役所 多賀郡松原町

郡長 有 隣 八 郡書記 古澤 重壽 九 山崎 平 九 太田 長 九 小室 義爲 九





郡書記

郡書記 八 外池 吉藏 八 糸井 周平
九 永井 秀行 十 安積 健
(月一〇) 秋庭 正之 (月九) 長澤 近之
(月八) 岩谷 雅一 (月七) 川崎 啓之助
(月七) 西葛 郡町長 古河 大澤 理右衛門

北相馬郡役所

北相馬郡取手町 正和 田 忠
郡書記 八 岡田 德 九 寺田 隆二
九 上野山 鬼三郎 十 伊藤 孝太郎
大崎 太助 (月一〇) 中崎 福次郎
根本 守 (月七) 長塚 公一

栃木縣

町 河内郡宇都宮

知事

正五 藤 佐 暢
栃木縣官舎甲第一番

書記官

官報報告主任 文 坂本 俊健
官普通試験委員 長國稅外諸收入 栃木縣官舎乙第一番
主任收入官吏 大 藤木 康之

警部長

文官普通試驗委員 竹下 康之
驗委員 七 栃木縣官舎乙第二番

收稅長

文官普通試驗委員 武田 直道
主任收入官吏 二 栃木縣官舎乙第二番

參事官

文官普通試驗委員 松本 郁朗
定員 小學校教員檢査員 三 栃木縣官舎乙第二番
教員檢査員 七

典獄長

監獄署長 甲 斐 秀成
三十八番 栃木縣官舎乙第二番

農藝教師

非職農商 東條 平一郎
河内郡宇都宮町 大字江野町二十番地

郡書記

郡書記 八 大野 平藏 布川 海老原 平作
九 佐賀 安助 長崎 井澤 古谷 浩夫
(月一〇) 青 芳 中久 木 三郎 石坂 勝右衛門
(月九) 高 須 吉田 常三郎 飯田 力作
(月八) 高 須 吉田 常三郎 飯田 力作
(月七) 高 須 吉田 常三郎 飯田 力作

尋常師範學校

水戸市舊城內

校長

水戸市大字上市 直

助教諭

水戸市大字上市 直

教諭

水戸市大字上市 直

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

知事官房

正五 藤 佐 暢
栃木縣官舎甲第一番

書記官

官報報告主任 文 坂本 俊健
官普通試験委員 長國稅外諸收入 栃木縣官舎乙第一番
主任收入官吏 大 藤木 康之

警部長

文官普通試驗委員 竹下 康之
驗委員 七 栃木縣官舎乙第二番

收稅長

文官普通試驗委員 武田 直道
主任收入官吏 二 栃木縣官舎乙第二番

參事官

文官普通試驗委員 松本 郁朗
定員 小學校教員檢査員 三 栃木縣官舎乙第二番
教員檢査員 七

典獄長

監獄署長 甲 斐 秀成
三十八番 栃木縣官舎乙第二番

農藝教師

非職農商 東條 平一郎
河内郡宇都宮町 大字江野町二十番地

郡書記

郡書記 八 林 豐次郎 五 高田 捨吉
九 藤島 猪之助 (月六〇) 河野 通章
(月五〇) 藤島 猪之助 (月三〇) 土居 嘉四郎
(月三〇) 藤島 猪之助 (月三〇) 土居 嘉四郎

尋常中學校

水戸市大字上市

校長

水戸市大字上市 讓

助教諭

水戸市大字上市 讓

教諭

水戸市大字上市 讓

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

水戸市役所

市長 小宅 時正
助役 栗原 敬恭

知事官房

正五 藤 佐 暢
栃木縣官舎甲第一番

書記官

官報報告主任 文 坂本 俊健
官普通試験委員 長國稅外諸收入 栃木縣官舎乙第一番
主任收入官吏 大 藤木 康之

警部長

文官普通試驗委員 竹下 康之
驗委員 七 栃木縣官舎乙第二番

收稅長

文官普通試驗委員 武田 直道
主任收入官吏 二 栃木縣官舎乙第二番

參事官

文官普通試驗委員 松本 郁朗
定員 小學校教員檢査員 三 栃木縣官舎乙第二番
教員檢査員 七

典獄長

監獄署長 甲 斐 秀成
三十八番 栃木縣官舎乙第二番

農藝教師

非職農商 東條 平一郎
河内郡宇都宮町 大字江野町二十番地

九日元警長野間爲兵衛 九日元警長八重野知義  
九日元警長齋藤吉彌 十 佐藤代五郎

○眞岡警察署 芳賀郡眞岡町

署長 入官更中森 茂八  
九日元警長脇田 丕 九 池田 重政

○栃木警察署 下都賀郡栃木町

署長 入官更島山 常正  
八日元警長藤山才之助 九 藤原小長川上 彦二  
九 吉田 耕 十 藤原國田 雅尼

○矢板警察署 鹽谷郡矢板村

署長 入官更基太村經義  
七 喜連川小警長諏訪只五郎

○大田原警察署 那須郡大田原町

署長 入官更岩井岩次郎  
八 島山小警長松本 修道 九 野野島長渡邊 直武  
九 川西小警長大野國次郎 九 小笠原長康

○佐野警察署 安蘇郡佐野町

署長 新納 具壽  
七 田沼小警長寺師 栗形

○足利警察署 足利郡足利町

署長 入官更深田 錠八  
九 野間小警長牧野 惟明

○收稅部 收稅長武田 直道

第一課長 高橋德三郎  
第二課長 林 金一郎  
第三課長 齋藤 武  
第四課長 岩間 正行  
第五課長 水野 常政  
第六課長 石井 純孝  
第七課長 藤井邦三郎  
第八課長 瓜田安次郎

○宇都宮收稅署 河内郡宇都宮町

署長 入官更智周 九  
九 外記吉三郎 九  
九 小林寅四郎 九

○鹿沼收稅署 上野郡鹿沼町

署長 入官更全明 九  
八 御園生蓮吉 十  
八 森山 鉄吉 十  
八 横山 隆吉 十

○大田原收稅署 那須郡大田原町

署長 入官更安東 正一 八  
十 森谷 幸多 十  
十 村上 俊夫 十

○大田原收稅署 那須郡大田原町

署長 入官更石川 殿吉 十  
九 大賀 光信 十

○河内郡役所 河内郡宇都宮町

郡長 七 小山 滿峻

郡書記 入官更近藤 美之 八  
八 村井宗太郎 八  
八 濱野傳十郎 九  
九 中村 得松 十  
九 大塚 榮三 十  
八 河合 榮三 十  
八 神田 至幸 十

○芳賀郡役所 芳賀郡眞岡町

郡長 七 大氏 家直綱

郡書記 入官更長田 明二 九  
九 早乙女源吉 九  
九 田中 忠胤 十  
九 廣瀬 清一 十  
九 塚田作太郎 十  
九 坂入 重郎 十  
九 坂本 達三 十  
九 飯塚 耕十郎 十  
九 飯水 武司 十  
九 古内 藤作 十  
九 大和 藤作 十  
九 戸室 彌十郎 十  
九 手塚 重平 十

○上都賀郡役所 上都賀郡鹿沼町

郡長 七 近 知

郡書記 入官更鈴木源三郎 八  
八 伊藤 五郎 九  
八 高村爲五郎 九  
八 石川 光教 九  
八 長 諸次郎 九

○監獄署 河内郡宇都宮町

典獄甲 斐 秀成

監獄書記 第一課長 梅村 寛逸  
第二課長 木田 豐重  
第三課長 正彦 正彦  
第四課長 外山 正彦  
第五課長 山内 種樹  
第六課長 越路代次郎  
第七課長 小關 次郎

○栃木監獄支署 下都賀郡栃木町

監獄書記 三浦 貫  
淺野虎三郎

○下都賀郡役所 下都賀郡栃木町

郡長 六等

須 均

郡書記 飯塚三樹三 八 入任寺内精四郎  
 九 星野 泰二 九 清水 貞元  
 十 齋藤康次郎 九 關口 一郎  
 十一 堀内 毅一 十 飯村 正雄  
 十二 渡邊 敏 (月八) 野口福三郎  
 十三 佐々木次郎太 (月六) 飯塚金一郎  
 十四 市川 恭藏 (月六)

町長 大塚惣十郎 藤岡 森 宗吉  
 小長 田村達三郎 石橋 伊澤 林造  
 壬生 大山 嘉七  
 皆川 幸島 孝平 寺尾 寺内 松治  
 吹上 飯塚勝三郎 赤津 藤平佐八郎  
 家中 中島邦三郎 大宮 岸 音吉  
 國府 國保 能正 豐田 生井茂一郎  
 瑞穂 殿塚 榮多 中 神山 多吉  
 富山 杉田啓三郎 水代 森田 貞治  
 岩舟 富山 駒吉 小野寺 池田謙太郎  
 三嶋 福地 新八 谷中 秋山 春房  
 赤麻 高際 勲治 部屋 佐山彌一郎  
 寒川 大久保源吾 生井 大橋 代藏  
 野木 菅谷彌一郎 関々田 谷内清一郎  
 大谷 石塚善次郎 関分寺 大橋 東太  
 桑 大和 傳吉 國分寺 大越 久平

○鹽谷郡役所 鹽谷郡矢板村

郡長 八等

長井 高明

郡書記 篠田 直亨 九 入任手塚 始  
 十 横井美保治 十 高柳興一郎  
 十一 大久保三彌 (月一〇) 岡村 亮一  
 十二 加藤 國松 (月八) 阿久津幸平  
 十三 小林 康吉

町長 村上 謙吉 喜連川 黒駒 清直  
 氏家 大桶直一郎 泉 鈴木金四郎  
 村長 矢板 特根 東泉 嘉瑞 梁山 井狩 利祐  
 藤原 藤原 園部民十郎 船生 植木 文平  
 五生 玉生理一郎 大宮 石川庄一郎  
 阿久津 小池興一郎 北高根澤 赤羽 宥松  
 熱田 鈴木 真一

○安蘇郡役所 安蘇郡佐野町

郡長 八等

島田 静一郎

郡書記 入任 鈴木 八郎 九 志村金太郎  
 十 矢島 國治 十 片岡 新  
 十一 野山 好文 (月一〇) 大川才次郎  
 十二 金居勤太郎 (月七) 木山 元忠

町長 若色 真讓 佐久山 福原伊八郎  
 大田原 鳥山 石川 庚 馬頭 大森 誠六  
 川西 益子 元 黒羽 矢野 保  
 村長 荒井 規矩 野崎 伊藤喜一郎  
 親園 藤田保太郎 下江川 赤羽清四郎  
 上江川 藤谷 聖 向田 岡本 長夫  
 荒川 堀山 清藏 七合 長谷川鐵五郎  
 境 西武茂 磯野元之助 大内 河野鐵太郎  
 大山田 長谷川千次郎 那珂 佐藤 康  
 湯津上 杉井 學時 須賀川 金澤金太郎  
 兩郷 大塚 英吉 伊王野 關戸 清太  
 那須 鈴木最三郎 鍋掛 中川 殿  
 金田 松田 正義 東那須野 磯 庄三郎  
 狩野 吉原源次郎 西那須野 齋藤半次郎  
 高林 君島長五郎

○足利郡役所 足利郡足利町

郡長 七等

榊山 喜平次

郡書記 青木浦次郎 九 山本文一郎  
 七 鈴木 豐三 十 服部 信雄  
 八 榊原富太郎 (月九) 酒巻菊太郎  
 九 直井 伸 (月一〇)

町長 龜田朋次郎 堀米 高橋 勲藏  
 犬伏 山崎欣三郎 田沼 金子 彦造  
 結生 片柳賢三郎  
 植野 新井保太郎 界 糸井藤次郎  
 常盤 關野松一郎 氷室 廣瀬勝三郎  
 野上 小平彦一郎 三好 横塚謙三郎  
 飛駒 森下 新七 赤見 長竹 真吉  
 旗川 兵藤長五郎

町長 川島 豊吉 富田 武井喜三郎  
 毛野 龜田 佐平 北郷 相場 富八  
 吾妻 岡田 太郎 三和 石川金十郎  
 三重 萩原健太郎 葉鹿 青木五郎衛  
 小俣 細川 乾二 梁田 長 純一郎  
 久野 稻村 忠藏 御厨 秋田善太郎  
 筑波 八木橋興三郎 山邊 早川和三郎

○尋常師範學校 河内郡宇都宮町

校長

勝次郎

小學校教員檢定委員 小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員檢定委員 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員檢定委員 兼合監小學校教員 矢野 里村

教諭 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

助教諭 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

○尋常中學校 河内郡妻川村

校長

根 明

教諭 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

助教諭 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

書記 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

○高等女學校 尋常中學校構内

校長

根 明

教諭 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

助教諭 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

書記 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村  
 兼合監小學校教員 矢野 里村

助教諭

助教諭 大木貞三郎 (一〇) 三輪 ヨシ  
大木貞三郎 (一〇) 三輪 ヨシ  
大木貞三郎 (一〇) 三輪 ヨシ

書記

書記 志賀 佐治 (一〇) 井坂 豊後  
志賀 佐治 (一〇) 井坂 豊後  
志賀 佐治 (一〇) 井坂 豊後

宇都宮病院

宇都宮病院 河内郡宇都宮町  
院長 (月三〇) 中山 忠亮  
副院長 (月五〇) 小泉 徳之助

醫師

醫師 神野 勇三郎 (月二五) 烏谷 爲英  
増子 貞康 (一〇) 永江 貞之  
竹尾 元隆 (一〇) 岡田 千次郎  
岡本 順平 (月二二) 須貝 藤作  
調劑局長 (一〇) 市村 鉄外  
調劑員 市村 鉄外

監事

監事 大橋 國太郎 (月九) 山口 仙三郎  
田中 賢 戸田 龍吉

書記

書記 丸山 己之松 (月八) 渡邊 平四郎  
長澤 貞則 (月八) 渡邊 平四郎

衛生試驗場

衛生試驗場 宇都宮病院内  
主事 (月三三) 市村 鉄外  
助手 (月三三) 大野 麟三 (月三三) 大橋 國太郎

奈良縣

添上郡奈良町 大字登大路

知事

知事 帝國奈良博物館古 澤 滋  
評議委員 澤 滋  
添上郡奈良町 大字登大路

書記官

書記官 官報報告主任文 山田 春三  
官普通試驗委員 山田 春三  
長主任收入官吏 山田 春三  
出納官吏 山田 春三  
添上郡奈良町 大字登大路

警部長

警部長 文官普通試驗委員 川上 親晴  
添上郡奈良町 大字登大路

收稅長

收稅長 文官普通試驗委員 荒井 賢太郎  
添上郡奈良町 大字登大路

參事官

參事官 文官普通試驗委員 福原 謙二郎  
小學教員甲種檢定委員 福原 謙二郎  
小學教員小學校教員檢定委員 福原 謙二郎  
添上郡奈良町 大字登大路

技師

技師 添上郡奈良町 大字登大路

典獄

典獄 文官普通試驗委員 高本 承孝  
添上郡奈良町 大字登大路

知事官房

知事官房 第六土方 直行 (月一〇) 江川 眞良  
山田 正己 (月八) 生野 元義  
中御門胤隆 (月七) 勝木 壽次郎

內務部

內務部 書記官 山田 春三  
參事官 福原 謙二郎  
技師 杉 文三

警部

警部 警部長 川上 親晴  
添上郡奈良町 大字登大路

技手

技手 松本 義一 (月七) 上田 環太郎  
稻葉 鉄三郎 (月九) 在田 嘉久郎

奈良警察署

奈良警察署 警部長 井田 倫行  
添上郡奈良町 大字登大路

郡山警察署

郡山警察署 警部長 藤掛 永安  
添下郡郡山町 大字登大路

警部

警部 警部長 石坂 外次郎



舟倉 北村 敬治 越智岡 谷村 市三  
 葛上郡町長 越智善八郎 御所 島津雄太郎  
 同村長 西村元十郎 北田 高橋彌十郎  
 葛城 上田 喜市 秋津 永原平八郎  
 葛下郡村長 松村嘉平治 七間村 宗謙  
 新庄 吉川 秀夫 浮孔 吉村 樹三郎  
 野田 小川 善五郎 二上 西 坂口 松太郎  
 五位堂 西島 伊一郎 上牧 米田 松太郎  
 志津美 安井 吉太郎 王寺 保井 仙吉  
 磐城 安井 吉太郎 忍海 松井 佐平  
 忍海郡村長 忍海 安川 正造

○宇智郡役所 宇智郡五條町  
 郡長 山崎 八郎 出納官吏 八島 山 國憲

○吉野郡役所 吉野郡上市町  
 郡長 吉野 吉田 正義 出納官吏 吉野 吉田 正義

○尋常師範學校 添上郡奈其町大  
 校長 添上郡奈其町大 字登大路  
 教諭 友高 善嗣 添上郡奈其町大 地大豆山十三番

○尋常中學校 添下郡山町大字南  
 校長 添下郡山町大字南 兼教諭 正水 直彦

○大泉原警察署 員辨郡大泉原村  
 署長 梅村吉次郎

○桑名警察署 桑名郡桑名町字京町  
 署長 藤田 吉直

○警察部 警部長 岩下 敬藏

○大泉原警察署 員辨郡大泉原村  
 署長 梅村吉次郎

○桑名警察署 桑名郡桑名町字京町  
 署長 藤田 吉直

○警察部 警部長 岩下 敬藏

○三重縣 津市中茶屋町  
 知事 成川 尙義 津市中茶屋町二 十二番屋敷

書記官 永 端 津市北堀端三十 一番屋敷

警部長 敬藏 津市中茶屋町三 番屋敷

收稅長 昭智 津市西新町三十 一番屋敷

參事官 木 隆 津市西堀校町一 番屋敷

典獄 駒五郎 津市佐伯町十三 番屋敷

○知事官房 津市西堀校町一 番屋敷

○內務部 書記官 永 端

○警察部 警部長 岩下 敬藏

○大泉原警察署 員辨郡大泉原村  
 署長 梅村吉次郎

○桑名警察署 桑名郡桑名町字京町  
 署長 藤田 吉直

○警察部 警部長 岩下 敬藏

<p>○四日市警察署 三重郡四日市町字北町 署長 山森德三郎 八 署員 山森三郎 勝司 八 署員 山森三郎 勝司</p> <p>○關警察署 鈴鹿郡關中町 署長 友田 辰雄 九 署員 友田 辰雄</p> <p>○神戸警察署 河曲郡神戸町字新町 署長 友田 辰雄 九 署員 友田 辰雄</p> <p>○津警察署 津市大門町 署長 友田 辰雄 九 署員 友田 辰雄</p> <p>○安濃警察署 津市大門町 署長 友田 辰雄 九 署員 友田 辰雄</p> <p>○久居警察署 一志郡久居町 署長 友田 辰雄 九 署員 友田 辰雄</p> <p>○松坂警察署 飯高郡松坂町 署長 友田 辰雄 九 署員 友田 辰雄</p>	<p>○相可警察署 多氣郡相可村 署長 山内猪之助 八 署員 山内猪之助</p> <p>○宇治山田警察署 度會郡宇治山田町 署長 玉置 仙彌 九 署員 玉置 仙彌</p> <p>○上野警察署 阿拜郡上野町 署長 長東 彌人 九 署員 長東 彌人</p> <p>○名張警察署 名張郡名張町 署長 丹羽 宇 八 署員 丹羽 宇</p> <p>○鳥羽警察署 答志郡鳥羽町 署長 平田 行雄 八 署員 平田 行雄</p> <p>○尾鷲警察署 北牟婁郡尾鷲町 署長 大池永相七郎 九 署員 大池永相七郎</p> <p>○木本警察署 南牟婁郡木本町 署長 大村福五郎 八 署員 大村福五郎</p>	<p>○收稅部 收稅長市岡 昭智</p> <p>○桑名收稅署 桑名郡桑名町字三之九 署長 小島猪之介 六 署員 小島猪之介</p> <p>○大泉原收稅署 員辨郡大泉原村字楚原 署長 丸林勝三郎 九 署員 丸林勝三郎</p> <p>○四日市收稅署 三重郡四日市町字八幡 署長 伊藤 亮 八 署員 伊藤 亮</p>
---	--	---

<p>○龜山收稅署 鈴鹿郡龜山町字西九 署長 大森龜之助 十 署員 大森龜之助</p> <p>○白子收稅署 奄美郡白子町字江島 署長 德男 七 署員 德男</p> <p>○津收稅署 津市字榮町 署長 津市字榮町 六 署員 津市字榮町</p> <p>○久居收稅署 一志郡久居町字東塚跡町 署長 義之助 七 署員 義之助</p>	<p>○松坂收稅署 飯高郡松坂町字新町 署長 正隆 五 署員 正隆</p> <p>○相可收稅署 多氣郡相可村大字相可 署長 清民 七 署員 清民</p> <p>○宇治山田收稅署 度會郡宇治山田町 署長 一貫 十 署員 一貫</p> <p>○上野收稅署 阿拜郡上野町字西町 署長 義 四 署員 義</p> <p>○名張收稅署 名張郡名張町 署長 多計志 八 署員 多計志</p>	<p>○鳥羽收稅署 答志郡鳥羽町 署長 松平友三郎 七 署員 松平友三郎</p> <p>○尾鷲收稅署 北牟婁郡尾鷲町大字中井 署長 高田 官吾 八 署員 高田 官吾</p> <p>○木本收稅署 南牟婁郡木本町字木本 署長 青木 貴良 八 署員 青木 貴良</p> <p>○監獄署 典獄新妻 駒五郎</p>
--	--	--



看守長

七 佐々木 三郎 九 川合 八次郎
八 伊藤 孝之 九 野本 恒一
九 白井 亦太郎 (月一五) 寺田 健之助
(月二二) 松岡 俊造 (月二二) 楓井 亨太郎
(月八) 一森 彦四郎 (月八) 雲 虎雄

桑名郡役所

町長 桑名郡桑名町字京
郡書記 町長 利彌
正七郎大松岡

郡書記

八 山田 光壽 九 入會 都筑 敦厚
九 廣田 則孝 九 松岡 喜胤
十 佐藤 正時 十 太田 友次郎
(月一〇) 河合 庄吉 (月一〇) 大橋 三造
(月九) 早川 興三郎 (月七) 木村 重威

員辨郡役所

町長 員辨郡大泉原村大字
郡書記 町長 雷藏
正七郎田邊

奄藝郡役所

町長 奄藝郡白子町
郡書記 町長 義忱
正八石井

河曲郡役所

町長 河曲郡白子町
郡書記 町長 義忱
正八石井

安濃郡役所

町長 安濃郡新町
郡書記 町長 具致
正七柚原

郡書記

八 小野 鐵男 十 藤林 方之
十 中村 興五郎 十 中村 善藏
十 佐地 田藏 十 中尾 一規
十 吉川 末男 (月一〇)

郡書記

八 水原 平三郎 八 清水 成美
十 岡本 周太郎 八 大塚 喜一郎
(月一〇) 市川 直親 (月九) 矢田 吟八
(月七) 池田 新六郎 (月七) 石垣 吟八

三朝郡役所

町長 三朝郡四日市町字北
郡書記 町長 禮一
正七郎大酒井

郡書記

八 山本 兄弟 八 毛利 吉次郎
九 品川 直方 九 木村 一太郎
九 味岡 格太郎 九 眞崎 頼次郎
十 千代田 次郎 十 眞崎 頼次郎
(月一〇) 石川 學太郎 (月九) 眞崎 頼次郎

一志郡役所

町長 一志郡久居町字木町
郡書記 町長 藤夫
正七郎日置

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

飯高郡役所

八 飯高 郡役所
郡書記 町長 如水
正七山本

鈴鹿郡役所

町長 鈴鹿郡龜山町字西ノ
郡書記 町長 光大
正七郎中山

郡書記

八 清水 昌連 八 三田 靜止
九 安永 其政 十 八島 治嘉造
(月九) 鈴木 小太郎 (月九) 八島 治嘉造
(月九) 木村 鈴太郎 (月九) 八島 治嘉造

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

飯高郡役所

町長 飯高郡松坂町字殿町
郡書記 町長 如水
正七山本

多氣郡役所

郡長 水島 雪江

郡書記

郡書記 高木 一 野呂 正 平木 敬次郎

度會郡役所

郡長 勇之助

郡書記

郡書記 朝倉 寛一 政 藤村 芳次郎 龍 三郎

阿拜郡役所

郡長 尾 信夫

郡書記

郡書記 野村 甲子郎 小森 順次郎 上野 服部 平太郎

名張郡役所

郡長 茂通

郡書記

郡書記 野村 甚平 富永 正毅 若山 義哉

英虞郡役所

郡長 政次郎

郡書記

郡書記 渡邊 新 雄 高津 忠光

北牟婁郡役所

郡長 武次郎

郡書記

郡書記 中野 亮太郎 池田 利助 松岡 益知

南牟婁郡役所

郡長 貞信

郡書記

郡書記 赤羽 加藤 柳平 加藤 柳平

尋常師範學校

津市丸ノ内

學校長

倉 雄平

助教諭

阿保友一郎

助教諭

大原 近義

助教諭

菊田茂之丞

助教諭

小谷 光貞

助教諭

島田里喜藏

助教諭

吉田 貞

尋常中學校

安濃郡新町

學校長

山崎 旨重

助教諭

石井 祐齊

助教諭

梅村 甚太郎

助教諭

谷 保太郎

助教諭

宇治 益次郎

助教諭

牧田 宗太郎

助教諭

牧田 宗太郎

助教諭

松田 豐

助教諭

吉村 賢藏

助教諭

伊藤 尚藏

助教諭

野村 摺郎

多氣郡役所

郡長 水島 雪江

郡書記

郡書記 高木 一 野呂 正 平木 敬次郎

度會郡役所

郡長 勇之助

郡書記

郡書記 朝倉 寛一 政 藤村 芳次郎 龍 三郎

阿拜郡役所

郡長 尾 信夫

郡書記

郡書記 野村 甲子郎 小森 順次郎 上野 服部 平太郎

名張郡役所

郡長 茂通

郡書記

郡書記 野村 甚平 富永 正毅 若山 義哉

英虞郡役所

郡長 政次郎

郡書記

郡書記 渡邊 新 雄 高津 忠光

北牟婁郡役所

郡長 武次郎

郡書記

郡書記 中野 亮太郎 池田 利助 松岡 益知

南牟婁郡役所

郡長 貞信

郡書記

郡書記 赤羽 加藤 柳平 加藤 柳平

尋常師範學校

津市丸ノ内

學校長

倉 雄平

助教諭

阿保友一郎

助教諭

大原 近義

助教諭

菊田茂之丞

助教諭

小谷 光貞

助教諭

島田里喜藏

助教諭

吉田 貞

尋常中學校

安濃郡新町

學校長

山崎 旨重

助教諭

石井 祐齊

助教諭

梅村 甚太郎

助教諭

谷 保太郎

助教諭

宇治 益次郎

助教諭

牧田 宗太郎

助教諭

牧田 宗太郎

助教諭

松田 豐

助教諭

吉村 賢藏

助教諭

伊藤 尚藏

助教諭

野村 摺郎



五 山田 正七 細井信次郎  
八 吉本 健吉 八 細谷 裕馬  
八 田中 從義 九 濱島 尹松  
十 安藤 健太郎

○名古屋警察署 名古屋市新柳町  
署長 小久保貞義  
一 阿部 桂次郎  
二 戸田 清恒  
三 渡邊 國五郎  
四 大島 竹次郎  
五 西村 彌五郎  
六 松原 平次  
七 加藤 鋼作  
八 伊藤 爲憲  
九 松永 親則

○熱田警察署 愛知郡熱田町  
署長 寺内 悠慶  
一 鷗見 專太郎

○半田警察署 知多郡半田町  
署長 倉橋 水太郎  
一 入官更 飯田 重久  
二 入官更 杉村 菊藏

○彌富警察署 海西郡彌富村  
署長 入官更 岩元 義行

○津島警察署 海東郡津島町  
署長 安田 利致  
一 渡邊 新三郎

○一宮警察署 中島郡一宮町  
署長 武村 鐵太郎  
一 柳川 廣太郎

○小折警察署 丹羽郡布袋町  
署長 日比野 賢吉  
一 夫馬 貞好

○大田島警察署 葉栗郡大田島村  
署長 入官更 近藤 實秀  
一 入官更 山本 充孝

○西枇杷島警察署 西春日井郡西枇杷島町  
署長 及部 政人

○勝川警察署 東春日井郡勝川村  
署長 入官更 加藤 泰儀

○知立警察署 豐海郡知立町  
署長 手塚 千尋  
一 田中 鉦太郎

○西尾警察署 轄豆郡西尾町  
署長 山本 充孝  
一 廣瀬 壽太郎

○岡崎警察署 額田郡岡崎町  
署長 伊東 清人  
一 森岡 昇太郎

○舉母警察署 西加茂郡舉母町  
署長 入官更 伊藤 英

○足助警察署 東加茂郡足助町  
署長 入官更 小笠原 鋼太郎

○御油警察署 寶飯郡御油町  
署長 入官更 近藤 勝男  
一 加藤 實一

○豐橋警察署 瀨美郡豐橋町  
署長 入官更 市川 信順  
一 中島 官太郎

○富岡警察署 八名郡富岡村  
署長 入官更 井上 安定

○新城警察署 南設樂郡新城町  
署長 入官更 小川 堅保

○田口警察署 北設樂郡田口村  
署長 入官更 田中 真吉

○收稅部  
部長 收稅長 岩崎 奇一  
一 松浦 正重  
二 井深 基  
三 久喜 豐彦  
四 平澤 常藏  
五 松村 德太郎  
六 岡地 三郎  
七 川村 靜彦  
八 池田 宇市  
九 島田 東裕  
十 村瀬 康男

○名古屋收稅署 名古屋市長町  
署長 今木 健  
一 入官更 村井 忠恭  
二 熊野 瑞枝  
三 長谷川 義昭  
四 石川 直介  
五 小川 幸雄

○熱田收稅署 愛知郡熱田町  
署長 加藤 榮雄  
一 佐藤 牛之丞  
二 谷口 牛三郎  
三 池田 辰三

○勝川收稅署 東春日井郡勝川町  
署長 阪 清十郎  
一 波多野 美辰  
二 塚本 高康  
三 原 桂次郎

○西枇杷島收稅署 西春日井郡西枇杷島町  
署長 吉田 繁太郎  
一 秋須 次郎  
二 吉井 金次郎

○小折收稅署 丹羽郡布袋町  
署長 小野 清次郎  
一 森島 次郎  
二 櫻井 左傳次  
三 松本 三郎  
四 後藤 政治郎

○稻澤收稅署 中島郡稻澤町  
署長 增田 秀守  
一 飯田 一哉  
二 吉村 秀三郎  
三 橫地 逸治郎

○津島收稅署 海東郡津島町  
署長 渡邊 常三郎  
一 佐尾 信太郎  
二 齊藤 重利  
三 長助 太郎  
四 小栗 金三郎

○半田收稅署 知多郡半田町  
署長 入官更 神谷 鐵次郎  
一 石川 恒和  
二 加藤 義太郎  
三 出村 幸  
四 中西 安之助  
五 近藤 伊吉  
六 光田 英治郎

○知立收稅署 豐海郡知立町  
署長 入官更 橫地 龍之丞